

AQUOS ケータイ SH-01J

取扱説明書 '16.9

はじめに

「SH-01J」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド（本体付属品）

基本的な機能の操作について説明しています。

取扱説明書（本端末のアプリ）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [取扱説明書]

取扱説明書（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

ドコモのホームページでダウンロード

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/sh01j/index.html>

※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に記載しているキーは、実際のデザインとは異なります。
- 本書では、主に本体色「Blue Black」の場合で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SH-01J」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



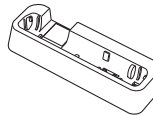
SH-01J本体（保証書付き）



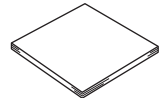
リアカバー SH76



電池パック SH44



卓上ホルダ SH49



クイックスタートガイド

- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

本端末のご利用について	2
安全上のご注意（必ずお守りください）	3
取り扱い上のご注意	8
防水／防塵／耐衝撃性能	11

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	14
基本操作	15
ドコモnanoUIMカード	21
電池バック	22
充電	23
電源を入れる／切る	25
文字入力	25
初期設定	28

電話

電話をかける	32
電話を受ける	34
通話中の操作	35
リダイヤル／着信履歴	36
音声・伝言メモ	36
発信・通話設定	37
電話帳	38

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール	40
SMS	41
PCメール	42
ウェブブラウザ	43

カメラ

カメラをご利用になる前に	46
静止画の撮影	47
動画の撮影	48
バーコードリーダー	49

ツール／アプリ

テレビ（ワンセグ）	50
ミュージック	51
LINE	52
電卓	52
アラーム	53
タイマー	53
ストップウォッチ	54
世界時計	54
スケジュール	54
メモ	55
地図	55
歩数計	55
PASSNOW（タブレット連携）	56
データ引継	58
SDカードバックアップ	59
ケータイデータお預かりサービス	60
取扱説明書	60
ウィジェットシート	60
おサイフケータイ	60

本体設定

設定メニュー	62
壁紙・ディスプレイ	62
音・バイブ	63
セキュリティ	63
省エネ・電池	66
ネットワーク	66
ドコモサービス	67
位置情報	68
その他	68
オールリセット	70

データ管理

本体メモリ（内部ストレージ）	71
microSDカード（外部ストレージ）	71
ファイル操作	73
パソコンとの接続	74

データ通信

赤外線通信	75
Bluetooth®通信	76
NFC通信	78

安心・安全サービス

災害用伝言板	79
災害用音声お届けサービス	79
緊急速報「エリアメール」	79
あんしんモード	80
家族あんしん通知	80
長エネスイッチ	80
あんしんスキャン	80
あんしんナンバーチェック	80

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要	81
海外で利用可能なサービス	81
海外でご利用になる前に	81
海外で利用するための設定	81
滞在先で電話をかける／受ける	82
国際ローミングの設定	83
帰国後の確認	83

付録／索引

メニュー一覧	84
トラブルシューティング（FAQ）	86
保証とアフターサービス	89
ソフトウェア更新	90
主な仕様	92
携帯電話機の比吸収率（SAR）について	93
CAUTION	95
Inquiries	95
輸出管理規制	96
知的財産権について	96
SIMロック解除	97
索引	98

本端末のご利用について

- 本端末はLTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご利用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声でデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様で自身で本端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ、音声・伝言メモなど）は、定期的にメモをとったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してください。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分に確認の上ご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末はiモードのサイト（番組）への接続、iアプリなどには対応していません。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしていません。
- お客様の電話番号（局番番号）は、待受画面で☎▶【プロフィール】で確認できます。
- 公共モード（ドライブモード）には対応していません。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声（カメラのシャッター音など）は消音されません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi接続中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます（☎P.90「ソフトウェア更新」）。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては☎P.70「端末情報」
- 紛失に備え、画面のロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（☎P.63「セキュリティ」）。

- 万が一紛失した場合は、SNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google™が提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の7項目に分けて説明しています。

- 本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモNanoUIMカードの取り扱いについて（共通）……………P.3
- 本端末の取り扱いについて……………P.4
- 電池パックの取り扱いについて……………P.5
- アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて……………P.6
- ドコモNanoUIMカードの取り扱いについて……………P.7
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて……………P.7
- 材質一覧……………P.7

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモNanoUIMカードの取り扱いについて（共通）

	
	高温になる場所や熱のごもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜など的高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。 防水/防塵性能については以下をご参照ください。 ☞P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」
	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参照ください。 ☞P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」
	分解、改造をしないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 ☞P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」
	充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 防水性能については以下をご参照ください。 ☞P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」
	オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	
	落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
	充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。 火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
ガソリンスタンド構内などおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください(おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)。



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
●電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
●本端末の電源を切る。
●電池パックを本端末から取り外す。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️注意



破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレック設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水/防塵性能については以下をご参照ください。
【P.11「防水/防塵/耐衝撃性能」】



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。
眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠️危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠️警告



赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。



赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



本端末内のドコモnanoUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

リアカバーを取り外す際は、必要以上に力を入れないでください。

リアカバーが破損し、けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを取り付けるときは、指を挟まないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

リアカバーを外したまま使用しないでください。

やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

【P.7「材質一覧」】



指示

本端末を開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。

けがなどの原因となります。



指示

本端末の受話口／スピーカー部、カメラ部に磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠️ 危険



禁止

金属片（ネックレスやヘアピンなど）や導電性異物などと接続端子が触れないようにしてください。また、それらのものと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電池パックを本端末にうまく取り付けできない場合は、無理に取り付けけないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きが正しいかを確認してください。

誤った向きで取り付けると、電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パック内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

電池パック内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。

⚠️ 警告



禁止

異臭、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は、使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意



禁止

電池パック内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。

濡れ手禁止 火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。
けがすけに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠️注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠️警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携帯および使用してください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
外装（メインディスプレイ面）	アクリル樹脂+PC樹脂／ハードコート
外装（サブディスプレイ面）	アクリル樹脂／ハードコート
外装（ディスプレイ面の側面）	PA樹脂（ガラス入り）／塗装、ハードコート
外装（キー面）	UV硬化樹脂
外装（キー面の側面）	PA樹脂（ガラス入り）／塗装、ハードコート
外装（ヒンジ部）	上側：PA樹脂（ガラス入り）／塗装、ハードコート 下側：PC樹脂+ABS樹脂／塗装、ハードコート
外装（ヒンジ部の側面）	PC樹脂+ABS樹脂／塗装、ハードコート
外装（アンテナ部）	PC樹脂+ABS樹脂（ガラス入り）／金メッキ+塗装
外装（ネジ）	SUS
外装（電池収納面シール）	PET樹脂
外装（電池収納面金属部）	洋白
カメラパネル	アクリル樹脂／ハードコート
操作キー（節りを含む）	UV硬化樹脂

使用箇所	材質／表面処理
サイドキー	PC樹脂／塗装、ハードコート
クイックオープンボタン（樹脂部）	PC樹脂
クイックオープンボタン（金属部）	アルミニウム／アルマイト処理
充電端子	SUS／金メッキ
外部接続端子（樹脂部）	PA樹脂
外部接続端子（金属部）	SUS+銅合金／錫メッキ、金メッキ
赤外線ポート	アクリル樹脂
microSDカードスロットカバー	SUS
microSDカードスロット（金属部）	銅合金／金メッキ
microSDカードスロット（樹脂部）	LCP樹脂
ドコモnanoUIMカードスロットカバー	SUS
ドコモnanoUIMカードスロット（金属部）	銅合金／金メッキ
ドコモnanoUIMカードスロット（樹脂部）	LCP樹脂
電池端子（コネクタ本体）	PA4T
電池端子	銅合金／金メッキ
当たりカバー	UV硬化樹脂
外装（電池収納部）	PA樹脂（ガラス入り）

リアカバー SH76

使用箇所	材質／表面処理
リアカバー本体（バックシム含む）	PC樹脂（ガラス入り）+シリコンゴム／塗装、ハードコート、印刷

電池パック SH44

使用箇所	材質／表面処理
電池パック本体	PC樹脂
端子部	銅合金／金メッキ
水濡れシール	上質紙／PET樹脂
ラベル	PET樹脂／マットニス印刷

卓上ホルダ SH49

使用箇所	材質／表面処理
卓上ホルダ本体（上ケース／下ケース）	ABS樹脂
取り付けラベル	ポリエステル樹脂／印刷+PET樹脂
端子レバー	POM樹脂
ロックレバー	POM樹脂
充電端子	銅合金／金メッキ
接続端子の金属部	SUS+銅合金／錫メッキ、金メッキ
ネジ	鉄／メッキ
ゴム足	ウレタン樹脂
製造ロットラベル	紙／印刷+PET樹脂

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-01Jは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所での使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
- また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかかりたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定のオプション品以外を使用した場合、破損、故障の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご利用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してくださいようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、本端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご利用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールやラベルなどを貼らないでください。
本端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、本端末の電源を切らないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りますやすくなっておりますので、ご注意ください。

電池パックについてのごお願い

- 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
本端末が電池パックの膨らみによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・ 電池残量近しの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をおすすめします。
- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生してしまう場合もあります。責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
Bluetooth機能が利用する周波数帯は、待受画面で▶【設定】▶【その他】▶【端末情報】▶【認証】で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
 - ② FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
 - ③ 1：想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
 - ④ XX：変調方式がその他の方式であることを示します。
 - ⑤ 4：想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑥ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。
- Bluetooth機器使用上の注意事項
本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
 1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
 3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのごお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります (特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[端末情報]** ▶ **[認証]** で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
 - ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
 - ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
 - ④ 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑤ ■■■■■ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 本端末の無線LANで設定できるチャネルは1～13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
- 利用可能なチャネルは国により異なります。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など (例えば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の銘板シールに表示しております。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
待受画面で  ▶ **[設定]** ▶ **[その他]** ▶ **[端末情報]** ▶ **[認証]**
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のFeliCaリーダーおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能

SH-01Jは、リアカバーを取り付けた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSH-01Jを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかかばんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。
- ※4 MIL規格準拠
米国国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.7：Shock-ProcedureIVに準拠した規格において、高さ1.22mから合板（ラワン材）に製品を26方向で落下させる試験を実施しています。
 - すべての衝撃に対して保証するものではありません。日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

SH-01Jが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流（6リットル/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。リアカバーを取り付けた状態で、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください（※P.12「水に濡れたときの水抜きについて」）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

ご利用にあたって

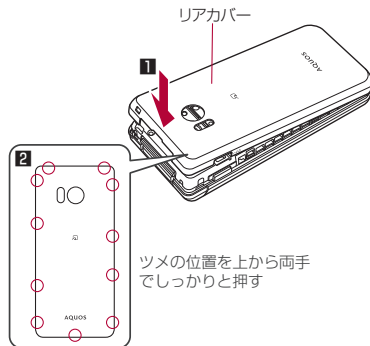
防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- リアカバーをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- リアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、リアカバーはしっかりと閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

■ リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して本端末に合わせるように装着し(1)、○部分をしっかりと押す(2)

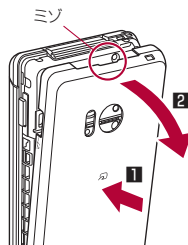
- リアカバーの裏側に、11箇所に取り付け用のツメが付いています。本端末とリアカバーにすき間が生じないように、ツメの位置を上から両手でしっかりと押し付けてください。



■ リアカバーの取り外しかた

1 リアカバーの中央部を押さえながら(1)、リアカバーのミゾに指先をかけ、取り外す(2)

- リアカバーはしっかりと閉じる構造となっております。取り外しにくい場合は、本体とリアカバーのすき間に指先をかけてリアカバーを持ち上げ、すき間を広げてから取り外してください。



- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外しはしないでください。
- リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- リアカバーと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- リアカバーのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に液体や粉塵が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水中で端末を使用（開閉、キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（6リットル/分を超える）を直接当てないでください。SH-01JはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、空気穴、外部接続端子などを尖ったものでつつかないでください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。付属の卓上ホルダに端末を差し込んだ状態の場合、ACアダプタ（別売）を接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん／
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



砂／泥

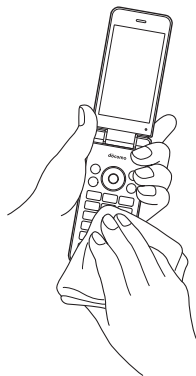
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

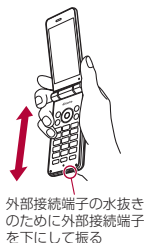
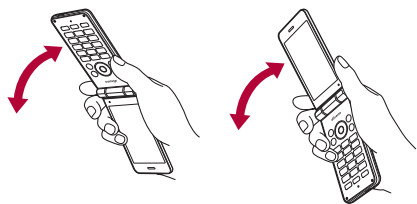
端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

- ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしってください。



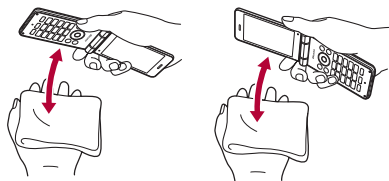
2 端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



外部接続端子の水抜きのために外部接続端子を下にして振る

3 送話口／マイク、受話口／スピーカー、キー、空気穴、ヒンジ部、外部接続端子、ストラップ取り付け口などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、しばらく自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらくなりますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、しばらく自然乾燥させてから、卓上ホルダに差し込んでください。

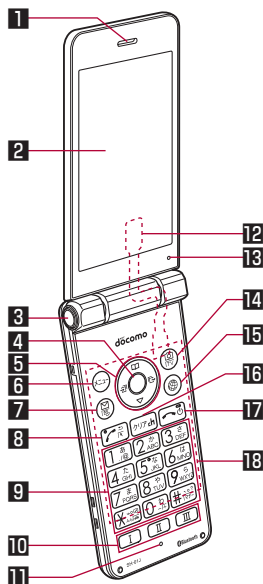
警告

端末が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプタ（別売）は防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でmicroUSBプラグを挿入すると、端末やmicroUSBプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



1 受話口／スピーカー

- 通話中の相手の声や、着信音や音楽、ハンズフリー通話中の相手の声などが聞こえます。
- 本製品は受話口とスピーカーを兼用しています。通話中のスピーカーホン切替後もしくは通話終了後に、耳元でスピーカーから大きな音が鳴らないよう、徐々に設定した音量まで上がります。

2 メインディスプレイ

3 クイックオープンボタン

- ボタンを押すと端末を開くことができます。

4 ●：決定キー

- 項目を選択／決定します。
- 待受画面で押すと、フォーカスモードになります。

5 ●●●●●：方向キー

- カーソルを移動して項目を選びます。
- 操作の説明では、●●、●●、●●と表記する場合があります。
- 待受画面で次のキーを押すと以下の機能を起動できます。
 - ●●：着信履歴一覧画面の表示
 - ●●：リダイヤル一覧画面の表示
 - ●●：電話帳の表示
 - ●●：フォーカスモードの利用

6 ●●●：メニューキー

- メニューの表示や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。

7 ●●：メールキー

- メール起動や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。
- 待受画面で1秒以上押すと、メールの問い合わせを行います。

8 ●●：発信キー

- 電話をかけたり、受けたりします。
- 待受画面で押すと、電話番号入力画面を表示します。
- 対応する機能やアプリを起動中に1秒以上押すと、タッチクルーザーEXの有効／無効を切り替えます。

9 ①～⑨、✖、①、②：ダイヤルキー

- 電話番号や文字を入力します。
- ノーマルメニューの場合は、メニューの項目番号（①、②、③など）に対応するダイヤルキーを押すと機能やアプリを選択できます。
- 待受画面で✖キーを1秒以上押すと、ドライブマナーを設定／解除できます。
- 待受画面で①キーを1秒以上押すと、「+」を入力できます。
- 待受画面で②キーを1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除できます（※P.63「マナーモード設定」）。

10 ①②③：クイック起動キー

- クイック起動キーについては※P.31「クイック起動キーの利用」

11 送話口／マイク

- 通話中に自分の声を伝えたり、音声の録音時に使用したりします。

12 テレビアンテナ*

13 空気穴

- 端末内の余分な空気を抜くための穴です。

14 ●●：カメラキー

- カメラの起動や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。

15 ●●：ブラウザキー

- Webメニューの表示や、操作ガイダンスに表示されるメニューの機能を利用します。

16 ●●●：クリアキー

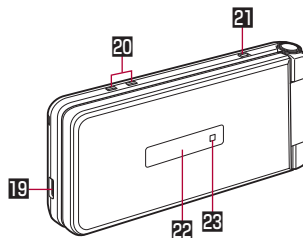
- 入力した文字や番号を削除したり、1つ前の画面に戻します。
- 待受画面で押すと、iチャンネルのチャンネル一覧を表示します。

17 ●●：電源／終了キー

- 2秒以上押して電源を入れます（※P.25「電源を入れる／切る」）。
- 1秒以上押して電源を切る／再起動の操作（※P.25「電源を入れる／切る」）、機内モード（※P.66「機内モード」）やマナーモードの設定／解除（※P.63「マナーモード設定」）を行います。
- 起動中の機能を終了して待受画面を表示します。

18 タッチエリア（タッチクルーザーEX）

- タッチエリア（タッチクルーザーEX）については※P.19「タッチクルーザーEXの利用」



19 外部接続端子

- 充電時やイヤホンマイク、パソコンなどの接続時に使用します。
- 接続するイヤホンマイクによっては、イヤホン変換アダプタQ2（別売）が必要な場合があります。

20 充電端子

- 付属の卓上ホルダで充電するときに使用します。

21 ストラップ取り付け口

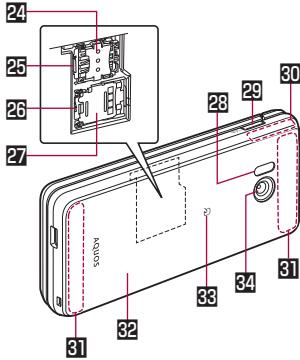
- ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを取り外してから（※P.11「リアカバーの取り外し方法」）、ストラップ取り付け口にストラップを通し、中のフックにストラップを掛けてリアカバーを取り付けてください（※P.11「リアカバーの取り付け方法」）。

22 サブディスプレイ

- サブディスプレイについてはP.18「サブディスプレイの見かた」

28 着信／充電ランプ

- 着信中や充電中などに点灯／点滅してお知らせします。



24 ドコモnanoUIMカードスロットカバー

25 ドコモnanoUIMカードスロット

26 microSDカードスロット

27 microSDカードスロットカバー

28 赤外線ポート

- 赤外線通信を利用するときに使用します。

29 〇：サイドキー

- 最近使用したアプリの履歴を表示します（P.30「アプリ使用履歴の利用」）。
- 端末を閉じた状態で押すと、サブディスプレイに時計や電池残量、歩数、通知情報などを表示します。
- 端末を閉じた状態で1秒以上押すと、マナーモードの設定／解除を行います。設定する場合は、直前に設定していたマナーモードに切り替えます。

30 GPS／Bluetooth／Wi-Fiアンテナ※

31 LTE／FOMAアンテナ※

32 リアカバー

- リアカバーの内側にある黒いシールは、はがさないでください。シールをはがすと、おサイフケータイをご利用いただけません。

33 〇マーク

- ICカードが搭載されています（取り外しはできません）。

34 カメラ

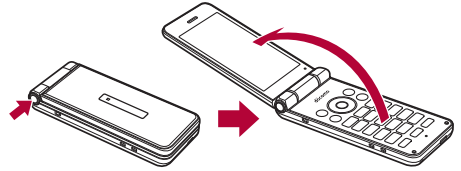
- 静止画や動画を撮影するときに使用します。

※ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

クイックオープンボタン

ボタンを押すと端末を開くことができます。

- ボタンを使用しないで、開くこともできます。



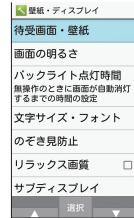
- 端末を手に持って操作してください。端末を開くときに自分の顔、人や物などの近くで端末を開かないでください。また、開くときの反動で端末を落としたりしないようにご注意ください。
- 端末の向きによっては、クイックオープンボタンを押しても完全に開かない場合があります。
- 端末を閉じるときは手で閉じてください。閉じられない場合は、端末を完全に開いた状態にしてから、もう一度閉じてください。

基本操作

項目の選択やメニューの操作、ディスプレイやアイコンの見かたなど、端末の操作について説明します。

■ 項目の選択（カーソルの合わせかた）

☒ で項目にカーソルを合わせて ☉ を押すと選択できます。カーソルを合わせている項目には枠が表示されたり、色が変わったりします。



- 操作手順の表記と意味は次のとおりです。

表記	意味
待受画面で ☒ ► [設定] ► [壁紙・ディスプレイ]	待受画面で ☒ を押す ► ☒ で [設定] にカーソルを合わせて ☉ を押す ► ☒ で [壁紙・ディスプレイ] にカーソルを合わせて ☉ を押す

- 項目を選択／入力して ☉ を押す操作において、本書では最後に ☉ を押す操作を省略しています。

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。

■ メニューの操作

- 待受画面で $\square$ を押すとノーマルメニュー／シンプルメニューが表示され、機能の設定や変更、アプリの起動を行うことができます。
- メニューについてはP.84「メニュー一覧」
 - $\square$ で選択するか、ノーマルメニューの場合はメニューの項目番号（1、2、3など）に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
 - $\square$ を押すと1つ前の画面に戻ります。
 - $\square$ を押すと待受画面に戻ります。

メニュー画面の切替

メニュー画面をノーマルメニュー／シンプルメニューに切り替えます。

1 待受画面で $\square$ ▶ $\square$ ▶[はい]

2 [はい]／[いいえ]

- 文字サイズの確認画面が表示された場合は選択してください。



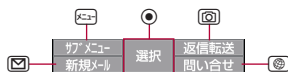
ノーマルメニュー



シンプルメニュー

■ 操作ガイダンスについて

- 操作ガイダンスには、機能キー（ $\square$ 、 $\square$ 、 $\square$ 、 $\square$ ）や決定キー（ $\square$ ）を押して操作できるメニューや機能が表示されます。
- 表示される内容は画面によって異なります。



- 主に表示されるメニューや機能は次のとおりです。

- 決定：選択した項目を決定
- サブメニュー：サブメニュー（使用できる機能）を表示
- 戻る：1つ前の画面に戻る
- 閉じる：サブメニュー画面などを閉じる
- 全選択／全解除：選択できる項目のすべてを選択／解除
- 表示：選択した画像などを表示
- 再生／停止：動画や音楽などを再生／停止
- 全画面：選択した画像などをメインディスプレイいっぱいに表示
- 送信：メールやSMSを送信
- 中断：メール受信などの動作を中止
- ▲ページ／▼ページ、▲／▼、↑／↓：ページ単位でスクロール表示
- 新規作成：メモやスケジュール、SMSなどを新規作成
- 設定：設定項目を表示

■ 待受画面の見かた

待受画面では、現在の状態（ステータス）や新着情報などを確認できます。



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

1 ステータスバー

- 端末の状態やお知らせなどのさまざまな情報が表示されます。

2 通知アイコン

- 不在着信や新着メールなどのお知らせがあると表示されます。

3 時計／カレンダー

- カレンダーは、カレンダーの表示を設定すると表示されます。待受画面で $\square$ ▶[設定]▶[壁紙・ディスプレイ]▶[待受画面・壁紙]▶[カレンダー表示]▶[カレンダーの表示]で設定できます。

4 マチキャラ

5 歩数計

- 歩数計の表示を有効にすると表示されます。待受画面で $\square$ ▶[設定]▶[壁紙・ディスプレイ]▶[待受画面・壁紙]▶[歩数計]で設定できます。

6 iチャネルドロップ

- iチャネルを契約して情報を受信すると、自動的にiチャネル情報が流れます。
- iチャネル表示が無効の場合に、クイック起動キーの表示を有効にしていると、クイック起動キーに登録された機能が表示されます。クイック起動キーの表示は、待受画面で $\square$ ▶[設定]▶[壁紙・ディスプレイ]▶[待受画面・壁紙]▶[クイック起動キー]で設定できます。

■ フォーカスモードの利用

待受画面に表示されているステータスバーやカレンダー、マチキャラ、歩数計、通知アイコンを選択すると、対応するアプリの起動や情報の確認などができます。

1 待受画面で $\square$ ／ $\square$

- フォーカスモードになります。

2 ステータスバー／カレンダー／マチキャラ／歩数計／通知アイコンを選ぶ

- フォーカスモードの解除： $\square$ ／ $\square$
- フォーカスモード中は、 $\square$ ／ $\square$ ／ $\square$ ／ $\square$ を押してもメニューの表示や機能の起動ができません。



「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

通知アイコンからお知らせ内容を確認

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあるときなどに、待受画面に通知アイコンを表示してお知らせします。

- 主な通知アイコンと、選択した場合の動作は次のとおりです。
 - (伝言メモ)：伝言メモリスト画面が表示されます。
 - (不在着信)：着信履歴一覧画面が表示されます。
 - (留守番電話サービスの伝言メッセージ)：留守番電話接続の確認画面が表示されます。
 - (新着SMS)：SMS一覧画面が表示されます。
 - (新着メール)：受信BOX画面が表示されます。
 - (通知情報)：ステータスパネルが表示されます。
- 通知情報以外の通知アイコンは、内容を確認すると消えます。なお、留守番電話サービスの場合は、伝言メッセージを削除すると消去されます。

■ ステータスバーについて

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン：伝言メモやSMSなどの通知を表します。
 - ステータスアイコン：電池残量や電波状態などの端末の状態を表します。



主なお知らせアイコン一覧

- ：新着SMSあり
- ：メッセージの送信失敗
- ：新着メールあり
- ：新着PCメールあり
- ：新着エリアメールあり
- ：エラー表示
 - 何らかのエラーが発生したときに表示されます。
- ：データ通信が無効
 - データ通信の制限を超えた場合に表示されます。
- ：アラーム鳴動中/スヌーズ中
- ：スケジュールの予定を通知中
- ：テレビ視聴中/テレビ受信
- ：ミュージックで音楽再生中

通話表示

- ：着信中/通話中*/発信中*
- ：不在着信あり
- ：伝言メモあり

microSDカード表示

- ：microSDカード準備中
- ：マウントを解除したとき
- ：本体メモリの空き容量低下
- ：Bluetooth通信のデータ受信要求あり
- ：USB接続 (カードリーダーモード接続時)

データ送受信表示

- ：送信表示
- ：受信表示

- ：iチャネルの情報あり
- ：長エネスイッチの設定要求あり
- ：スクリーンショットで画像を保存
- ：タッチクルーザーEXが有効
- ：タッチクルーザーEXが無効

- ：位置情報測位中
- ：VPN接続
- ：ソフトウェア更新あり
- ：おまかせロック設定中
- ：あんしんマネージャーからの通知あり
- ：表示されていないお知らせアイコンあり

※ 電話帳などの別の画面に切り替わると表示されます。

主なステータスアイコン一覧

- 電池残量表示
 - ：約100%~約16%
 - ：約15%以下
 - ：約5%以下
- 充電中は電池マークに が重なって表示されます。
- 電波状態表示
 - ：レベル4
 - ：レベル3
 - ：レベル2
 - ：レベル1
 - ：レベル0
 - ：圏外
- ：国際ローミング中
- ：おサイフケータイ ロック中
- ：[Reader/Writer, P2P] が有効
- ：機内モード中
- 3Gデータ通信状態表示
 - ：3G使用可能
 - ：3Gデータ受信
 - ：3Gデータ送信
 - ：3Gデータ送受信
- GSMデータ通信状態表示
 - ：GSM使用可能
 - ：GSMデータ受信
 - ：GSMデータ送信
 - ：GSMデータ送受信
- 4G (LTE) データ通信状態表示
 - ：4G (LTE) 使用可能
 - ：4G (LTE) データ受信
 - ：4G (LTE) データ送信
 - ：4G (LTE) データ送受信
- HSPAデータ通信状態表示
 - ：HSPA使用可能
 - ：HSPAデータ受信
 - ：HSPAデータ送信
 - ：HSPAデータ送受信
- 文字入力モード表示
 - ：ひらがな漢字
 - ：半角英字
 - ：半角数字
 - ：半角カタカナ
 - ：全角英字
 - ：全角数字
 - ：全角カタカナ
 - ：区点コード
- マナーモード表示
 - ：通常マナー
 - ：ドライブマナー
 - ：サイレントマナー
- ：電話着信音量を「サイレント」に設定中
- ：ハンズフリーで通話中

: ミュートに設定中

: アラーム設定中

Bluetooth機能表示

: 待機中

: 接続中

Wi-Fi電波状態表示

: レベル4

: レベル3

: レベル2

: レベル1

: レベル0

● インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、 のようにWi-Fi電波状態表示に が重なって表示されます。

テザリング表示

: [USBテザリング] が有効

: [Wi-Fiテザリング] が有効

: [Bluetoothテザリング] が有効

: 複数のテザリングが有効

伝言メモ表示

: 伝言メモ設定中で伝言メモが0件

: 伝言メモ設定中で伝言メモが1～29件

: 伝言メモ設定中で伝言メモが30件

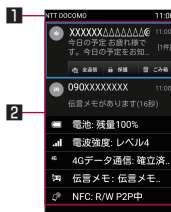
■ ステータスパネルの利用

お知らせアイコンやステータスアイコンの詳細情報を確認したり、対応する機能やアプリを起動できます。

1 待受画面で ステータスバーを選ぶ

2 ステータスパネルを利用する

- ステータスパネルを閉じる: /



1 通信事業者名

2 通知詳細情報

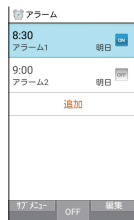
- お知らせアイコンを選択すると、対応する機能やアプリを起動して確認することができます。
 - を押して、[通知1件消去] が表示された場合は、通知情報を消去できます。[通知全件消去] を選択すると、通知情報をすべて消去できます。
 - 通知情報によっては、消去できない場合があります。
 - お知らせアイコンを選択中に を押すと、返信や共有などの操作ができるものもあります。
- ステータスアイコンを選択すると、設定の確認や変更をすることができます。

■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、項目にカーソルを合わせて を押すと設定の有効/無効や、[ON] / [OFF] を切り替えることができます。

- は有効、 は無効の状態です。
- 操作ガイダンスに [全選択] / [全解除] が表示されているときは、該当する機能キーを押すとすべての項目を選択/解除できます。

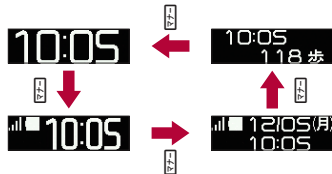
例：全般画面、アラーム画面



■ サブディスプレイの見かた

サブディスプレイには、時間や日付、電波状態や電池残量、不在着信や新着メールなどの通知、着信相手の情報などを表示します。

- 端末を閉じた状態で を押すと表示されます。 を押すたびに表示が切り替わります。



主なアイコン一覧

電波状態表示

: レベル4

: レベル3

: レベル2

: レベル1

: 圏外

- 機内モード設定時は表示されません。

電池残量表示

~ : 電池残量

: 電池残量なし

- 充電中は電池マークに が重なって表示されます。

マナーモード表示

: 通常マナー

: ドライブマナー

: サイレントマナー

: 伝言メモ設定中/伝言メモあり

: アラーム鳴動中/スヌーズ中

: 機内モード中

: 不在着信あり

- 件数、通知アイコンのお知らせ内容が表示されるものもあります。

■ 着信／充電ランプ

- 着信中や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。
 - 赤色点灯：充電中（電池残量約94%以下）
 - 緑色点灯：充電中（電池残量約95%以上）
 - 緑色点滅：着信中／不在着信あり／伝言メモあり
 - 青色点滅：新着メールあり
 - 白色点滅：新着SMSあり
 - 水色点滅：アラーム鳴動中

- メインディスプレイが表示されている場合は、不在着信、伝言メモ、新着メール、新着SMSをお知らせする着信ランプは点滅しません。お知らせアイコンや通知アイコンで確認してください。お知らせアイコンや通知アイコンが表示されないときは、表示される画面で確認してください。

■ スクリーンショットの撮影

☎と□を1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、データBOXの「画像」で確認することができます。

- テレビの表示中などは保存できません。
- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■ 拡大鏡の利用

画面の一部を大きく表示できます。

- あらかじめクイック起動キーに「拡大鏡」を登録しておいてください（※P.31「クイック起動キーの利用」）。

1 拡大鏡を登録した□／□／□▶タッチエリアを指でなぞって拡大鏡を移動

- 長押しに登録した場合は□／□／□を1秒以上押しします。
- 拡大鏡の操作説明画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- 拡大鏡を終了するには、□／□／□を押します（長押しに登録した場合は、1秒以上押しします）。

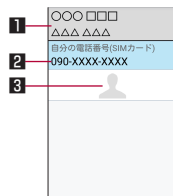
- 待受画面の表示中やアプリによっては利用できない場合があります。

■ プロフィール

ドコモnanoUIMカードに登録されているお客様の電話番号を表示できます。名前やメールアドレスなどを登録することもできます。
● お買い上げ時は、取り付けたドコモnanoUIMカードに登録されている電話番号のみが表示されます。

1 待受画面で☎▶[プロフィール]

2 プロフィールを確認／利用する



1 姓／ふりがな

- 名前を登録すると表示されます。

2 自分の電話番号

3 画像

プロフィールの編集／利用

1 待受画面で☎▶[プロフィール]

2 ☎▶[プロフィール編集]▶各項目を設定▶☎

- 設定できる各項目については※P.38「電話帳の登録」
- プロフィールを送信：☎▶[赤外線送信]／[データ送信（共有）]▶画面の指示に従って操作
- 項目のコピー：コピーしたい項目にカーソルを合わせる▶☎

メールアドレスの確認

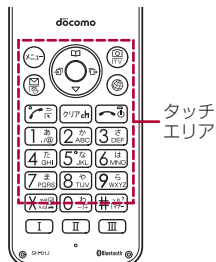
1 待受画面で☎

2 [メール設定]▶[マイアドレス]

- [更新する]を選択すると、マイアドレスの情報を更新できます。

■ タッチクルーザー-EXの利用

カメラ、ブラウザ、データBOX、LINEなどを操作するときに端末のタッチエリアを指で触れることでタッチパッドのように操作できます。タッチクルーザー-EXに対応した機能／アプリを起動しているときにタッチクルーザー-EXを有効にすると、画面に表示される[⌂]（ポインタ）で操作できるようになります。



- タッチクルーザー-EXの操作説明画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- □を1秒以上押すごとにタッチクルーザー-EXの有効／無効を切り替えます。
- タッチクルーザー-EXを無効にすると、タッチクルーザー-EXの自動起動に対応した機能／アプリ（ブラウザ、LINE）を起動してもタッチクルーザー-EXは有効になりません。
- タッチクルーザー-EXが有効の場合でも、キー操作は可能です（一部のアプリを除く）。

タッチエリア利用時のご注意

- タッチエリアは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチエリアに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - シールなどを貼ったままでの操作
 - タッチエリアが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

タップ／ダブルタップ

タッチエリアに軽く触れて指を離すと、【】が重なっている項目やアイコンなどを選択します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

- 静止画表示中などにダブルタップすると、画面を拡大／縮小できます。拡大／縮小の操作は画面に表示されている【】を起点に行います。



ロングタッチ

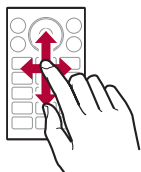
タッチエリアに指を軽く触れたままにすると、【】が【】に切り替わります。利用中の機能や画面によってはメニューが表示されます。

- タッチエリアをタップするか、指を離して数秒間操作をしないと【】は【】に戻ります。



スライド

タッチエリアをロングタッチして【】を【】に切り替え、タッチエリアで目的の方向や位置へ指を動かすと、画面のスクロールやページの切り替えができます。



フリック

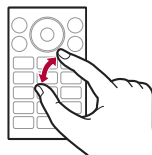
タッチエリアをロングタッチして【】を【】に切り替え、タッチエリアで指を上下左右にはらうように動かすと、画面のスクロールやページの切り替えなどがすばやくできます。



ピンチ

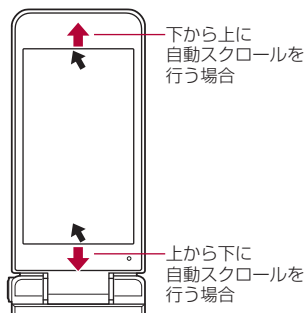
利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチエリアに触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）／閉じたり（ピンチイン）するように動かすと、画面の拡大／縮小ができます。拡大／縮小の操作は画面に表示されている【】を起点に行います。

- ブラウザや静止画などで画面を拡大／縮小できます。



自動スクロール

【】を画面端まで移動させた状態で、さらに画面の外側方向へ指を動かすと、自動で画面のスクロールができます。指を離すと、スクロールが停止します。自動スクロール中に画面のスクロール方向に指を動かすと、スクロールが速くなります。



ドコモnanoUIMカード

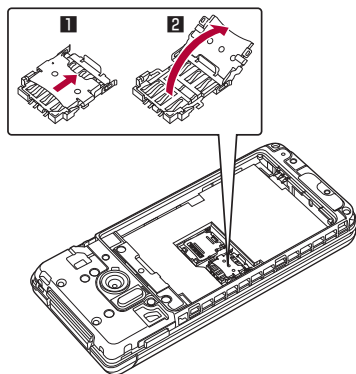
ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- ドコモnanoUIMカードを取り付けないと、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります（※P.65「PINコード」）。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合は、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（※P.11「リアカバーの取り外しかた」）、電池パック（※P.22「電池パックの取り外しかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（※P.11「リアカバーの取り付けかた」）、電池パック（※P.22「電池パックの取り付けかた」）を取り付けてください。

■ ドコモnanoUIMカードの取り付けかた

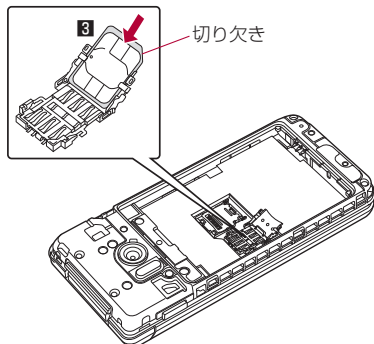
1 ドコモnanoUIMカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)

- カチッと音がするまで、ドコモnanoUIMカードスロットカバーをスライドさせてください。

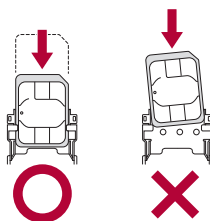


2 ドコモnanoUIMカードのIC(金色)面を上に向けてゆっくりと挿入する(3)

- 切り欠きの方向にご注意ください。

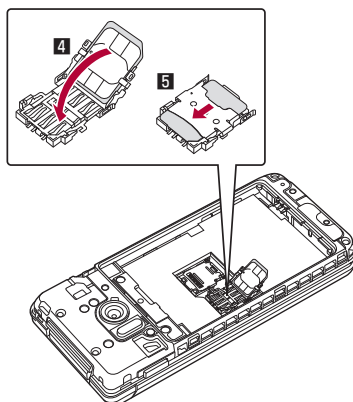


- ドコモnanoUIMカードの上下や表裏が逆の状態が無理に挿し込まないでください。ドコモnanoUIMカードスロットカバーが破損することがあります。



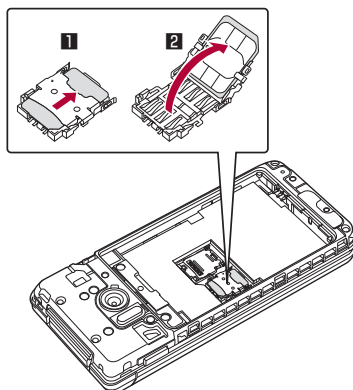
3 ドコモnanoUIMカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)

- カチッと音がするまで、ドコモnanoUIMカードスロットカバーをスライドさせてください。



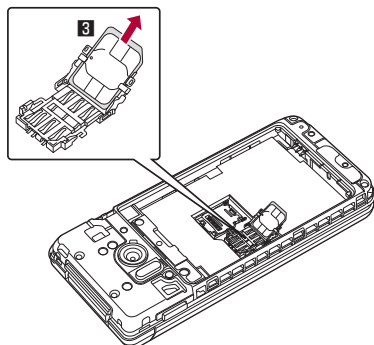
■ ドコモnanoUIMカードの取り外しかた

1 ドコモnanoUIMカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)

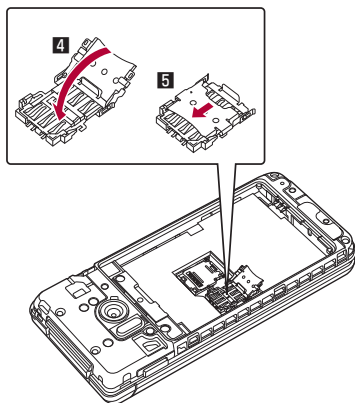


2 ドコモnanoUIMカードを取り外す(3)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



3 ドコモnanoUIMカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)



- ドコモnanoUIMカードを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、IC（金色）に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようしたり、取り外そうとするとドコモnanoUIMカードが破損したり、ドコモnanoUIMカードスロットカバーが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードスロットカバーは、しっかりとロックしてください。ロックしていないと、衝撃などでドコモnanoUIMカードが外れ、端末が自動的に再起動する恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページを参照してください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

電池パック

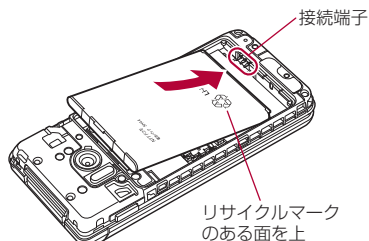
電池パックは、本端末専用の電池パック SH44をご利用ください。

- 電池パックは防水性能を有しておりません。
- 電池パックの取り付け/取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（※P.11「リアカバーの取り外しかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け/取り外しが終わったら、リアカバー（※P.11「リアカバーの取り付けかた」）を取り付けてください。

■ 電池パックの取り付けかた

1 電池パックを取り付ける

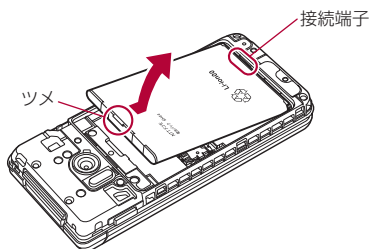
- 電池パックのリサイクルマークのある面を上に向けて、端末の接続端子と電池パックの端子部を合わせて取り付けてください。



■ 電池パックの取り外しかた

1 電池パックを取り外す

- 電池パックには取り外し用のツメが付いています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指先をかけて、接続端子の方向に軽く押しながら上方向に取り外してください。



- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、端末の接続端子が破損することがあります。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

■ 充電時のご注意

- 充電時間の目安についてはP.92「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに「」が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。
- 充電中にテレビの視聴などを行う場合は、端末をACアダプタの電源プラグ部からなるべく離してご使用ください。

■ 十分に充電したときの利用可能時間（目安）

連続通話時間	FOMA/3G 約620分 GSM 約550分 VoLTE（音声通話） 約440分
連続待受時間	FOMA/3G 静止時：約700時間（優先ネットワークモード：4G/3G/GSM（自動）） GSM 静止時：約560時間（優先ネットワークモード：4G/3G/GSM（自動）） LTE 静止時：約610時間（優先ネットワークモード：4G/3G/GSM（自動））
テレビ視聴時間	約430分

- 利用可能時間についてはP.92「主な仕様」

■ 電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらテレビの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。



Li-Ion00

■ ACアダプタ、DCアダプタ

- 詳しくはACアダプタ 05（別売）、DCアダプタ 04（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 05は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

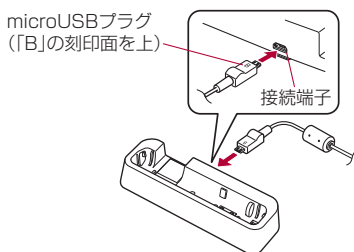
卓上ホルダで充電

[必ずACアダプタ 05（別売）の取扱説明書を参照してください]

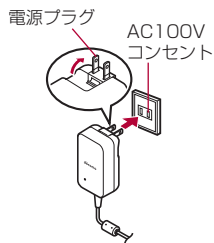
- 付属の卓上ホルダ SH49での充電には、ACアダプタ 05の使用をおすすめします。次の操作はACアダプタ 05を使用して説明しています。
- 端末を閉じた状態でご利用ください。

1 ACアダプタのmicroUSBプラグを「B」の刻印面を上にして、卓上ホルダの接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。

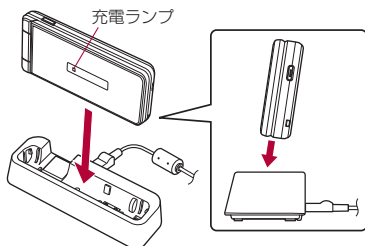


2 ACアダプタの電源プラグを起し、コンセントに差し込む



3 端末を卓上ホルダに置くと、充電ランプが点灯して、充電を開始する

- 端末を卓上ホルダの傾きに合わせて矢印の方向に「カチッ」と音がするように置いてください。



4 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

- 卓上ホルダを押さえながら、端末を持ち上げてください。

5 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

6 ACアダプタのmicroUSBプラグを卓上ホルダの接続端子から水平に抜く

- 無理に差し込んだり抜いたりすると、接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。
- 充電ランプが点灯しないときは、端末が卓上ホルダに正しく置かれていないことがあります。正しく置き直してください。
- 端末を卓上ホルダに置くときは、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

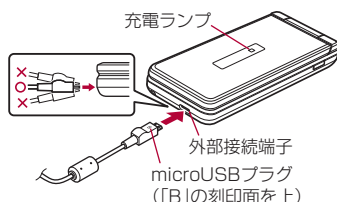
ACアダプタ／DCアダプタで充電

[必ずACアダプタ 05 (別売)、DCアダプタ 04 (別売) の取扱説明書を参照してください]

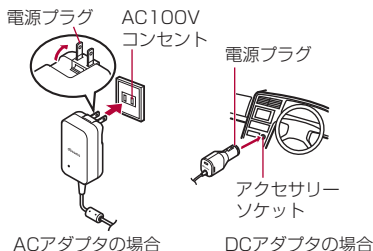
- 次の操作はACアダプタ 05または、DCアダプタ 04を使用して説明しています。

1 ACアダプタ／DCアダプタのmicroUSBプラグを「B」の刻印面を上にして、端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。



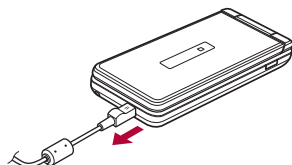
2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む、またはDCアダプタの電源プラグを車のアクセサリソケットに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する



3 充電が完了すると、充電ランプが消灯する

4 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く、またはDCアダプタの電源プラグを車のアクセサリソケットから抜く

5 ACアダプタ／DCアダプタのmicroUSBプラグを端末の外部接続端子から水平に抜く



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

DCアダプタのとき

- DCアダプタはマイナスアース車専用です (DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 詳しくは、DCアダプタ 04の取扱説明書をご覧ください。

microUSB接続ケーブル 01で充電

端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01 (別売) で接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法についてはP.74「端末とパソコンの接続方法」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 (2秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください (☞ P.28 「初期設定」)。

■ 電源を切る／再起動／機内モードの設定／マナーモードの設定

1 (1秒以上)

2 項目を選ぶ

- **電源を切る**：端末の電源を切ります。
- **再起動**：端末を再起動します。
- **機内モード**：機内モードについては☞ P.66 「機内モード」
-  /  /  /  を選ぶと、マナーモードを設定できます (☞ P.63 「マナーモード設定」)。

■ メインディスプレイの表示／非表示

一定時間使用しなかったときは、メインディスプレイの表示が消えます。

メインディスプレイの表示が消えているときに、いずれかのキーを押すと画面が表示されます。

文字入力

電話帳の登録やメールの作成など、文字を入力して利用する機能やアプリがあります。

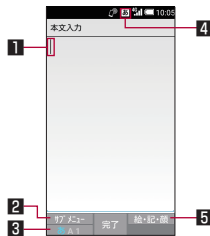
文字入力のしくみ

1つのダイヤルキーに複数の文字が割り当てられています。キーを押すたびに文字が切り替わります。

- 文字の種類には、次の2種類があります。

- 全角文字：漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字、英小文字、数字、記号

- 半角文字：カタカナ、英大文字、英小文字、数字、記号



1 カーソル

- 追加したい位置にカーソルを合わせます。

2 サブメニュー

- 入力設定やユーザー辞書登録などができます (☞ P.25 「文字入力のサブメニュー操作」)。

3 入力モード切替

- 入力モードを変更します。
 - ・  を押すたびに半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。

4 入力モード表示

- 入力モードをステータスアイコンで確認できます。

5 絵文字・記号・顔文字

- 絵文字／デコメ絵文字®／記号／顔文字リストを表示します。
 - ・ アプリによっては、入力できないものがあります。

■ 文字入力のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能やアプリ、条件などにより異なります。

1 文字入力画面で

2 項目を選ぶ

- **コピー他 (範囲選択)**：入力した文字を選択してコピーや切り取り、貼り付けなどの操作ができます (☞ P.27 「文字の編集」)。
- **貼り付け**：コピー／切り取りした文字列を貼り付けます (☞ P.27 「文字の編集」)。
- **貼り付け (履歴)**：コピー／切り取りした文字列の履歴を選択して貼り付けます。
 - 履歴は削除することもできます (☞ P.27 「履歴の削除」)。
- **文字種変更**：文字種を選択して切り替えます。
- **定型文入力**：定型文を選択して入力します (☞ P.27 「定型文入力」)。
 - 定型文を作成して入力することもできます (☞ P.27 「定型文の登録」)。
- **ユーザー辞書登録 (日)**：単語をユーザー辞書に登録します (☞ P.26 「ユーザー辞書に登録」)。
 - 文字入力画面に入力した文字列を選択して、ユーザー辞書に登録することもできます。

■ 変換候補欄

- で選択して入力します。
- ネット変換エンジンを設定している場合は「ネット変換」が表示されます。選択するとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

■ 予測／変換

- 変換候補と予測候補を切り替えることができます。

■ 範囲→

- 変換する文字の区切りを拡大することができます。
- 操作可能な場合のみ表示されます。

■ ▲ページ／▼ページ

- 候補一覧のページを切り替えることができます。

- 候補を選択中に を押すと、ブラウザの検索や引用・連携の利用、学習した候補の削除ができます。引用・連携については [P.27「引用・連携」](#)
- ユーザー辞書やダウンロード辞書を登録すると、候補一覧に表示されるようになります。

■ 定型文入力

あらかじめ登録されている固定定型文や、登録した定型文などを入力できます。

1 文字入力画面で ▶ [定型文入力]

2 定型文を選ぶ

定型文の登録

よく利用する語句などを定型文として登録できます。

1 文字入力画面で ▶ [定型文入力] ▶ [ユーザーオリジナル]

2 ▶ [新規登録] ▶ 定型文を入力 ▶ [保存]

- 編集：定型文にカーソルを合わせる ▶ ▶ [編集] ▶ 定型文を編集 ▶ [保存]
- 1 件削除：定型文にカーソルを合わせる ▶ ▶ [1 件削除] ▶ [はい]
- 全件削除： ▶ [全件削除] ▶ [はい]

■ 引用・連携

コピー履歴、バーコードリーダー、位置情報、定型文、Google 検索を利用して入力できます。

1 文字入力画面で ▶ [引用・連携]

2 項目を選ぶ

- **コピー履歴**：コピー／切り取りした文字列の履歴を入力します。
- **バーコードリーダー**：バーコードリーダーで読み取った内容を入力します。
- **位置情報**：位置情報を取得して座標を入力します。
- **定型文入力**：定型文を入力します。
- **Google 検索**：Google で検索します。

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ「ワイルドカード予測」を有効にしておいてください（[P.26「入力補助・変換」](#)）。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例：「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 ▶ ▶

- を押すたびに「*」が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 予測候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で ▶ [文字種変更] ▶ [区点]

2 区点コードを入力

- 4 桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4 桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 文字入力画面で文字を入力 ▶

- 文字入力画面で ▶ [コピー他（範囲選択）] でも選択できます。

2 開始位置を選ぶ ▶ 終点位置を選ぶ

- 入力したすべての文字を選択：

3 [コピー]／[切り取り]

4 貼り付ける位置を選ぶ

5 ▶ [貼り付け]

- を 1 秒以上押すと、直前でコピー／切り取りした文字列を貼り付けることができます。

履歴の削除

コピー／切り取りした文字列は削除することができます。

1 文字入力画面で ▶ [貼り付け（履歴）]

2 履歴にカーソルを合わせる ▶ ▶ [1 件削除]

- 全件削除： ▶ [全削除]

3 [はい]

- コピー／切り取りした文字列は最大10件まで記憶されます。10件を超えた場合は古い履歴から順に削除されます。

■ スペースの入力

1 文字入力画面の文末で

- 入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは1文字として数えられます。
- 文中に入力：カーソルを移動 ▶ ▶ ▶ 全角／半角スペースを選ぶ

■ 文字の切替

1 文字入力画面で文字を入力▶

- 大文字／小文字の切り替えや、濁点／半濁点の入力ができます。

■ 1つ前の文字を入力

同じキーに割り当てられた文字を1つ前に戻します。

1 文字入力画面で文字を入力▶

■ 元に戻す

直前の操作を取り消したり、確定を解除します。

1 文字入力画面で

- 文字を削除した場合は、直前に削除した文字を5回分元に戻すことができます。

■ 文字の1文字削除

1 文字入力画面で

- カーソルの右側の文字が削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル左側の文字が削除されます。
- 文字にカーソルが当たっているときは、カーソルの文字が削除されます。

■ 文字の削除

1 文字入力画面で (1秒以上)

- カーソルの後ろに文字があるときは、後ろの文字がすべて削除されます。
- カーソルが文末にあるときは、カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

初期設定

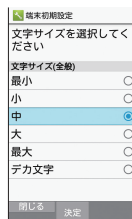
はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 端末エラー情報送信画面やソフトウェア更新画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK] を選択してください。

■ 文字サイズの初期設定

1 端末初期設定画面が表示されたら文字サイズを選択

- 初期設定の終了： /  ▶ [はい]



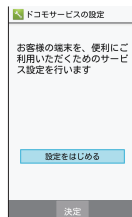
2

- [デカ文字] を選択した場合は、[デカ文字] に対応している機能を利用時に [最大] よりも大きな文字サイズで表示されます。

■ ドコモサービスの初期設定

- ドコモサービスは、待受画面で ▶ [設定] ▶ [ドコモサービス] でも設定できます。

1 ドコモサービスの設定画面が表示されたら[設定をはじめる]



2 初期設定を行う

- 設定項目は次のとおりです。
 - dアカウント (ℹ P.64 「dアカウントのパスワード」)
 - ドコモアプリパスワード (ℹ P.64 「ドコモアプリパスワード」)
 - ドコモ位置情報
 - 遠隔初期化*
- ※ ドコモアプリパスワードを設定していない場合は、表示されません。

3 [OK]

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機器は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。

- [Wi-Fi] をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。dアカウントの設定については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 [Wi-Fiの設定] ▶ ONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード (セキュリティキー) を入力し、[接続] を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:  ▶ [ネットワークを追加] ▶ ネットワーク名を入力 ▶ セキュリティを設定 ▶ [保存]
- WPSに対応しているアクセスポイントは簡単登録ができます。待受画面で  ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi] ▶  ▶ [簡単設定] ▶ [WPSプッシュボタン] / [WPS PIN入力] でアクセスポイントを登録してください。
- 接続したいアクセスポイントが表示されない場合:  ▶ [更新] でアクセスポイントが再スキャンされます。

- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード (セキュリティキー) を入力した場合、[IP設定エラー]、[WiFi接続エラー] または [認証に問題] と表示されます。パスワード (セキュリティキー) をご確認ください。なお、正しいパスワード (セキュリティキー) を入力しても [IP設定エラー] と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- WPS簡単登録の登録処理には、数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定として WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、 が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントに接続するときに詳細設定項目の [接続不良のとき無効にする] を無効にしてください。

■ 詳細設定

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 ▶ [詳細設定]

3 項目を選ぶ

- **スキャンを常に実行する**: [Wi-Fiの設定] がOFFの場合でも位置情報やアプリからネットワークのスキャンを利用するか設定します。
- **ネットワークの通知**: オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fiの設定] をONにしてから設定してください。
- **Wi-Fiのスリープ設定**: ディスプレイの表示が消えたときにWi-Fiを切断するか設定します。
- **接続不良のとき無効にする**: 安定したインターネット接続が可能となるときのみWi-Fi機能を使用するように設定します。
- **ハンドオーバー**: ハンドオーバーを利用するか設定します。
- **証明書のインストール**: 証明書をインストールします。
- **Wi-Fi Direct**: Wi-Fi Directについては  P.29 [Wi-Fi Direct]
- **MACアドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **IPアドレス**: IPアドレスを確認できます。

■ Wi-Fi Direct

アクセスポイントやインターネットを利用せずに、他のWi-Fi Direct規格対応機器とWi-Fi機能で接続できます。

- [Wi-Fi] をONにしている場合に利用できます ( P.29 [Wi-Fiの設定])。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi] ▶ ▶ [詳細設定] ▶ [Wi-Fi Direct]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ 切断

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]

2 接続しているアクセスポイントを選ぶ ▶ [切断]

- パスワードを保持したまま切断します。ディスプレイを表示させた場合など、自動で再接続する場合があります。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やmicroUSB接続ケーブル 01（別売）またはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、microUSB接続ケーブル 01で接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器5台の計16台です。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください（[P.77](#)「Bluetooth機能の利用」）。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [テザリング]

2 項目を選ぶ

- **USBテザリング**：USBテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリング**：Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリングを設定**：ネットワーク名やセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- **Bluetoothテザリング**：Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

[USBテザリング] について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Linuxの場合にご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。
- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

[Wi-Fiテザリング] について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は「[Wi-Fiテザリングを設定]」で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

[Wi-Fiテザリングを設定] について

- お買い上げ時は、ネットワーク名は「SH-01J_AP」、セキュリティは「WPA2 PSK」、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

メールのアカウントの設定

1 待受画面で ▶ [メール] ▶ [PCメール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。
- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。
- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する] / [同意しない] を選択してください。

2 メールアドレスを入力

3 パスワードを入力

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する

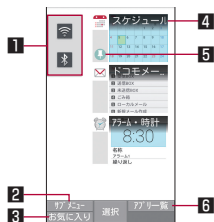
5 アカウントの名前、あなたの名前を入力

アプリ使用履歴の利用

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。また、Bluetooth機能／Wi-Fi機能を有効／無効に設定することができます。

1

- 機能やアプリを利用中に押しても操作できます。



1 Wi-Fi機能／Bluetooth機能

- ：Wi-Fi機能の有効 / ：Wi-Fi機能の無効
- ：Bluetooth機能の有効 / ：Bluetooth機能の無効

2 サブメニュー

- 履歴の削除や画面固定を利用できます。

3 お気に入り

- 機能やアプリを登録して起動することができます（[P.31](#)「お気に入りの利用」）。

4 アプリの使用履歴

- 履歴を選択してアプリを起動することができます。

5 画面の固定

- [画面の固定] がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定については[P.65](#)「高度な設定」
-  ▶ [画面固定] を選択すると、選択したアプリ以外を使用できないようになります。
 - ・ 画面の固定を解除： と  を同時押し

6 アプリ一覧

- アプリ一覧から機能やアプリを選択して起動することができます。

お気に入りの利用

よく使う機能やアプリをお気に入りに登録してすばやく起動することができます。

1

- 機能やアプリを利用中に押しても表示できます。



1 サブメニュー

- 機能やアプリの登録／解除ができます。

2 登録情報

- [1] ～ [0] に機能やアプリを登録できます。

クイック起動キーの利用

よく使う電話番号やお気に入りの機能をクイック起動キーに登録し、キーを押すだけですばやく起動することができます。また、短押しと長押し（1秒以上）の操作に異なる機能を登録することもできます。

■ クイック起動キーに登録

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [クイック起動キー]

2 登録するキー（短押し／長押し）を選ぶ ▶ 登録機能を選ぶ

- 登録の解除：  ▶ [解除]

■ クイック起動キーに登録した機能の利用

1 / /

- 長押しに登録した場合は  /  /  を1秒以上押しします。
- 押したキーに機能が登録されていない場合は、登録確認画面が表示されます。

電話や電話帳を利用したり、音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知に設定して発信できます。
- 最後の1桁を消去：
- すべての桁を消去： (1秒以上)
- カーソルの位置を移動して1桁を消去： 



2

- 発信オプションを利用して発信： ▶ [発信オプション]
▶ 各項目を設定 ▶  / 
- SMSの作成・送信： ▶ [SMS送信] ▶ メッセージを入力 ▶ 
- 電話帳の登録： ▶ 登録先を選ぶ ▶ 各項目を設定 ▶ 

3 通話が終わったら

- 電話番号入力画面で数字を入力すると、「電卓」「タイマー」「アラーム」などの機能をすばやく起動することができます。数字入力後に画面の指示に従って操作してください。利用できる機能は入力した数字により異なります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質でご利用いただけます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリア内であること
 - 優先ネットワークモードが【4G/3G/GSM（自動）】であること（ P.81 「優先ネットワークモード」）
 - 通話モード設定が【VoLTE ON】であること（ P.38 「その他設定」）

プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止（,）／待機（;）を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■ 2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力 ▶ (1秒以上)

2 送信する番号を入力 ▶

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい] を選択すると追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力 ▶ (1秒以上)

2 送信する番号を入力 ▶

3 通話中に[はい]

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した相手にすばやく電話をかけることができます。

- あらかじめ連絡先を登録しておいてください（ P.38 「電話帳の登録」）。

■ スピードダイヤルへの登録

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [スピードダイヤル]

2 登録したい番号の[＜未登録＞] ▶ 連絡先を選ぶ

■ スピードダイヤルで発信

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力 ▶

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。

- 待受画面で未登録のスピードダイヤル番号を入力して  を押すと、スピードダイヤル一覧が表示されます。スピードダイヤル一覧から連絡先を選んで発信したり、新しくスピードダイヤルに連絡先を登録したりできます。

- スピードダイヤルに登録した連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、待受画面でスピードダイヤルの番号を入力して  を押すと、メールの作成ができます。

かんたん発信（音声認識）で電話をかける

かんたん発信（音声認識）を利用すると、スピードダイヤルに登録した相手に音声で電話をかけることができます。

かんたん発信（音声認識）の設定

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [かんたん発信(音声認識)]

2 項目を選ぶ

- **かんたん発信設定**：かんたん発信（音声認識）を利用するか設定します。
- **認識対象の登録（スピードダイヤル）**：スピードダイヤルの一覧を表示し、登録／解除などの操作ができます。
- **音声認識の使い方**：かんたん発信（音声認識）の使いかたを表示します。

[かんたん発信設定] について

- [本体を開いたとき]、[サイドキーを長押ししたとき] を有効にしていると、かんたん発信（音声認識）を利用できます。

かんたん発信（音声認識）で発信

1 端末を開く／端末を開いているときに （1秒以上）

- が表示されます。
- 待受画面やメニュー一覧の状態で作ってください。

2 送話口／マイクに向かって電話したい相手の名前を話す

3 相手の名前を確認 ▶ [はい]

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。
- 同一の名前を複数登録している場合は正しく動作しないことがあります。
- 名前を正しく音声認識させるには、連絡先に登録されている姓、名のふりがながを個別または姓名の順に続けて話す必要があります。正しく認識されない場合は、連絡先に登録されている姓名を確認してください（[P.39「電話帳の確認／利用」](#)）。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
- なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
- また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
- また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否設定を行っている場合に緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信すると、着信拒否設定の項目が「OFF」に設定されます。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

国際電話（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

[通話方法]

- 一般電話へかける場合：010 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 相手先電話番号 ▶
- 携帯電話へかける場合：010 ▶ 国番号 ▶ 相手先携帯電話番号 ▶
- 相手先の携帯電話番号、地域番号（市外局番）が「0」から始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください（イタリヤなど一部の国・地域を除く）。
- 「010」の代わりに「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する



- 2 ● 、①～⑨、✕、⑩、田を押しても電話を受けることができます。

- 3 通話が終わったら

■ 着信音量調節

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2

■ 着信拒否

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2 ▶ [着信拒否]

■ 着信拒否してSMSを送信

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2 ▶ [拒否してSMS送信]

- 3 メッセージを選ぶ

■ 伝言メモで応答

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2 ▶ [伝言メモ]

伝言メモの再生

- 1 待受画面で ▶ 通知アイコン[]を選ぶ
 - 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [音声・伝言メモ] ▶ [伝言メモリスト] でも確認できます。

- 2 伝言メモを選ぶ

■ あやしい電話に代理で応答

着信相手に名前と要件をたずねるメッセージを流し、相手の声を確認してから電話に出ることができます。代理応答中の相手の声は、音声メモとして録音されます。

- 1 電話がかかってくると、着信音が鳴り、着信ランプが点滅する

- 2

- 通常の通話中と同様に相手の声を聞くことができます。
- 通話する場合は、／を押します。通話中も音声メモへの録音が継続されます。
- 通話を拒否するには、を押します。

不在着信表示

かかってきた電話に出られなかったときは、待受画面に通知アイコン[]が表示されます。

- 1 待受画面で ▶ 通知アイコン[]を選ぶ

- 着信履歴一覧画面が表示されます。
- 待受画面で を押しても確認できます。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 相手の名前や電話番号

2 サブメニュー

- リダイヤル／着信履歴一覧画面の表示や、音声メモとして通話の録音などができます。

3 電話帳

- 電話帳を表示できます。

4 高音質表示

- VoLTEを利用した高音質通話中表示されます。
- VoLTE着信中なども表示されます。

5 通話時間

6 ON/OFF

- ハンズフリーのONとOFFを切り替えます。

7 ミュートON/OFF

- ミュートのONとOFFを切り替えます。

8 保留

- 保留／解除にします。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
 - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が入りすぎるなど良好な通話ができないことがあります。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。

■ 通話音量調節

1 通話中に🔊

■ くっきりトークの利用

くっきりトークを有効にすると、相手の声が聞き取りやすくなります。

1 通話中に🔊

- くっきりトークを解除する：🔊

- くっきりトークの聞こえかたは、人によって異なります。
- ハンズフリーで通話中は、くっきりトークを利用できません。

■ 通話を追加

通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

- 通話を追加するにはキャッチホンのご契約が必要です。

例：電話帳を表示して通話を追加するとき

1 通話中に☑▶【電話帳検索】

- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。

2 連絡先にカーソルを合わせる▶🔍

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、発信番号の選択画面が表示されます。
- 通話相手を切り替える場合は、通話中に☑を押してください。

■ リダイヤル／着信履歴一覧画面の表示

1 通話中に☑▶【着信履歴】／【リダイヤル】

- 通話中に🔍を押してもリダイヤルを表示できます。

■ 音声の出力先の切替

Bluetooth機器を接続しているときのみ操作できます。

1 通話中に☑▶【本体通話切替】／【Bluetooth通話切替】

■ 自局番号確認

1 通話中に☑▶【マイプロフィール参照】

■ 音声メモ

1 通話中に☑▶【音声メモ】

- 開始音が鳴り、録音を開始します。

2 🛑

- 停止音が鳴り、録音した音声メモを保存します。

リダイヤル／着信履歴

最新の履歴からそれぞれ50件まで本体メモリに記憶されます。

1 待受画面で②／③

1	発信日時
2	相手の名前／電話番号
3	不在着信の表示

12/05(月) 11:32	携帯 花子	不在
12/05(月) 11:19	090-XXXX-XXXX	不在
12/05(月) 11:03	ドコモ 太郎	不在

着信履歴一覧画面

1	リダイヤル
2	相手の名前／電話番号

12/05(月) 10:57	ドコモ 太郎
12/05(月) 10:43	携帯 花子
12/05(月) 10:25	090-XXXX-XXXX

リダイヤル一覧画面

- 1 発信日時
- 2 相手の名前／電話番号
- 3 不在着信の表示

2 履歴にカーソルを合わせる

- リダイヤル／着信履歴一覧画面の切替：⑤

3

- SMSの作成・送信：⑥▶メッセージを入力▶⑦
- メール作成・送信：⑧▶[メール作成]▶メールを作成▶⑨
- 番号通知などの条件を設定して発信：⑩▶[発信オプション]▶各項目を設定▶⑪／⑫
- 居場所を確認：⑬▶[居場所を確認]
 - ・ [イマドコサーチ] / [イマドコかんたんサーチ] のサイトに接続します。イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
 - ・ ご利用にはパケット通信料がかかります。
- 電話帳の登録：⑭▶[電話帳登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶⑮

リダイヤル／着信履歴の削除

1 待受画面で②／③

2 履歴にカーソルを合わせる▶⑭▶[履歴削除]▶[1件削除]▶[はい]

- 選択削除：⑯▶[履歴削除]▶[選択削除]▶履歴を選ぶ▶⑰▶[はい]
- 全件削除：⑱▶[履歴削除]▶[全件削除]▶[はい]

音声・伝言メモ

音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておく、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

- 伝言メモ／音声メモはそれぞれ30件（1件あたり約5分）まで録音できます。

1 待受画面で②▶[電話機能]▶[音声・伝言メモ]

2 項目を選ぶ

- **伝言メモリスト**：伝言メモの再生や削除、件名の編集、microSDカードへの保存などができます。
- **音声メモリスト**：音声メモの再生や削除、件名の編集、microSDカードへの保存などができます。
- **空き容量確認**：伝言メモ／音声メモの残り登録可能容量、件数を表示します。
- **伝言メモ設定**：伝言メモの動作について設定します。
- **応答メッセージ設定**：伝言メモの応答メッセージについて設定します。
- **応答時間設定**：伝言メモの応答時間について設定します。

- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、再生済みの古い伝言メモから順に削除されます。伝言メモがすべて未再生のときは電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
- 保存した音声メモが最大保存件数を超えた場合は、古い音声メモから順に削除されます。

発信・通話設定

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発信・通話設定]

2 項目を選ぶ

- **ネットワークサービス**：ネットワークサービスについては  P.37 「ネットワークサービス」
- **海外設定**：海外設定については  P.83 「海外設定」
- **着信設定**：着信設定については  P.37 「着信設定」
- **発信設定**：発信設定については  P.37 「発信設定」
- **その他設定**：その他設定については  P.38 「その他設定」

ネットワークサービス

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発信・通話設定]

▶ [ネットワークサービス]

2 項目を選ぶ

- **留守番電話サービス**：電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
- **転送でんわサービス**：電話を転送するサービスです。
- **キャッチホン**：通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。
- **発信者番号通知**：電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。
- **迷惑電話ストップサービス**：いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
- **番号通知お願いサービス**：電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
- **通話中着信設定**：通話中に別の電話がかかってきたことをお知らせするか設定します。
- **着信通知**：着信の情報をSMSでお知らせします。
- **英語ガイダンス**：各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。
- **遠隔操作設定**：留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
- **公共モード（電源OFF）設定**：電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

着信設定

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発信・通話設定]

▶ [着信設定]

2 項目を選ぶ

- **音声・伝言メモ**：音声・伝言メモについては  P.36 「音声・伝言メモ」
- **着信拒否設定**：着信拒否設定については  P.37 「着信拒否設定」
- **呼出動作開始時間設定**：電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、設定した秒数後に着信音が鳴るように設定できます。
- **応答拒否SMS**：拒否してSMS送信に使用する文章を編集します。
- **クイックサイレント**：端末を閉じているときに  を押すと一時的に着信音やバイブレータ、着信ランプの点滅を停止するが設定します。
- **オープン時動作**：着信中に端末を開いたときの動作を設定します。

■ 着信拒否設定

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発信・通話設定]

▶ [着信設定] ▶ [着信拒否設定]

2 暗証番号を入力

3 項目を選ぶ

- **指定番号着信拒否**：指定した相手からの着信だけ受けないように設定します。
 - 指定電話番号の編集： ▶ 電話番号を編集
- **登録外着信拒否**：電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
- **非通知着信拒否**：電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
- **公衆電話着信拒否**：公衆電話からの着信を受けないように設定します。
- **通知不可能着信拒否**：電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。

[指定番号着信拒否] について

- [迷惑電話ストップサービス]（ P.37 「ネットワークサービス」）からも電話番号を指定して着信拒否ができます。
- 着信履歴からサブメニューの [着信拒否番号登録] で登録した電話番号は、[指定番号着信拒否] には登録されず、[迷惑電話ストップサービス]（ P.37 「ネットワークサービス」）に登録されます。着信拒否の解除は [迷惑電話ストップサービス] から行ってください。

[登録外着信拒否] について

- 登録外着信拒否を設定している場合でも、シークレット属性を設定した連絡先からは着信します。電話帳に登録した名前は表示されず、電話番号のみが表示されます。

発信設定

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発信・通話設定]

▶ [発信設定]

2 項目を選ぶ

- **サブアドレス設定**：電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切り子にするが設定します。
- **プレフィックス設定**：プレフィックス番号について設定します。

その他設定

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [その他設定]

2 項目を選ぶ

- **通話モード設定**：VoLTEを利用するか設定します。
- **通話時間**：通話時間については  P.38「通話時間」
- **ドコモへのお問合せ**：ドコモへのお問合せについては  P.38「ドコモへのお問合せ」
- **オープンソースライセンス**：オープンソースライセンスを表示します。
- **オフィスリンク設定**：オフィスリンク設定については  P.38「オフィスリンク設定」

■ 通話時間

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [その他設定] ▶ [通話時間]

2 項目を選ぶ

- **積算通話時間表示**：積算通話時間を表示します。
- **積算時間リセット**：積算通話時間をリセットします。
- **自動リセット設定**：毎月1日に積算通話時間を自動的にリセットするか設定します。

■ ドコモへのお問合せ

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [その他設定] ▶ [ドコモへのお問合せ]

2 項目を選ぶ

- **ドコモ故障問合せ**：故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。
- **ドコモ総合案内・受付**：総合案内・受付へ電話をかけることができます。
- **海外紛失・盗難等**：海外から紛失、盗難などの問い合わせ先へ電話をかけることができます。
- **海外故障**：海外から故障問い合わせ先へ電話をかけることができます。

■ オフィスリンク設定

オフィスリンクの保留転送を利用するための設定を行います。

※ オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスであり、ご利用には別途ご契約が必要です。

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [その他設定] ▶ [オフィスリンク設定]

2 項目を選ぶ

- **保留転送機能**：保留転送機能のON/OFFを設定します。
- **保留特番設定**：保留特番を設定します。
- **ダイヤル確定特番設定**：ダイヤル確定特番を設定します。

電話帳

連絡先の管理を行うことができます。

- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する] / [利用しない] を選択してください。

電話帳の登録

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳登録]

2 [新規連絡先として登録] / [既存の連絡先に追加]

- [既存の連絡先に追加] を選択した場合は連絡先を選択します。

3 各項目を設定

- **姓**：姓を入力します。
- **名**：名を入力します。
- **姓のふりがな**：姓のふりがなを入力します。
- **名のふりがな**：名のふりがなを入力します。
- **電話**：電話番号の種別と電話番号を登録します。
- **メール**：メールアドレスの種別とメールアドレスを登録します。
- **お気に入り**：お気に入りに登録するか設定します。
- **グループ**：グループに分けて登録します。
 - グループ登録している場合のみ設定できます。
- **イルミネーション**：着信ランプのパターンと色を設定します。
- **着信音**：着信音を設定します。
 - [メロディ選択] を選択した場合は [プリセット] / [本体/SD] から着信音を選択できます。
 - [SHSHOWからダウンロード] を選択した場合は着信音をダウンロードすることができます。
- **イベント**：誕生日や記念日などを登録します。
- **住所**：郵便番号と住所を登録します。
- **メモ**：メモを登録します。
- **ニックネーム**：ニックネームを登録します。
- **所属**：所属を登録します。
- **ウェブサイト**：URLを登録します。
- **設定**：画像を登録します。
 - 連絡先確認時やSMS利用時に表示する画像を設定します。

4

電話帳検索

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索]

■ 表示方法の切替

電話帳の表示方法を、全件表示（50音） / グループ一覧の表示に切り替えます。

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳] ▶ [電話帳検索]

- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。

2 ▶ [確認 / 設定] ▶ [表示方法の切替]

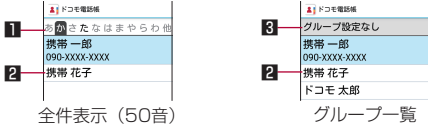
3 表示方法にカーソルを合わせる ▶

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で☎▶[電話機能]▶[電話帳]▶[電話帳検索]

- 電話帳リスト画面が表示されます。
- グループ一覧表示の場合は、グループを選択する操作が必要です。
- 待受画面で🔍を押しても表示されます。



1 インデックスタブ

- 📄でタブを切り替えます。

2 連絡先

3 グループ名

2 名前を選ぶ

3 登録情報を確認／利用する



電話帳内容表示画面

■ 電話をかける

1 電話帳内容表示画面で電話番号を選ぶ

■ SMSの作成・送信

1 電話帳内容表示画面で電話番号にカーソルを合わせる▶[📧]▶メッセージを入力▶[📧]

■ メールの作成・送信

1 電話帳内容表示画面でメールアドレスを選ぶ▶メールを作成▶[📧]

■ 電話帳の編集

1 電話帳内容表示画面で☞▶[連絡先編集]▶各項目を設定▶[📄]

- 設定できる各項目についてはP.38「電話帳の登録」

電話帳の削除

1 電話帳リスト画面で名前にカーソルを合わせる▶☞▶[連絡先削除]▶[1件削除]▶[はい]

- 選択削除：電話帳リスト画面で☞▶[連絡先削除]▶[選択削除]▶名前を選ぶ▶[📄]▶[はい]
- 全件削除：電話帳リスト画面で☞▶[連絡先削除]▶[全件削除]▶[はい]

電話帳のバックアップ／復元

1 電話帳リスト画面で☞▶[SD／SIMカード／共有]

2 項目を選ぶ

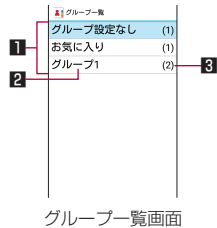
- SDカードへバックアップ／復元：SDカードへバックアップ／復元についてはP.59「SDカードバックアップ」
- SIMカードから復元：SIMカードから連絡先をインポートします。
- 全件データ送信（共有）：連絡先をメールやBluetooth通信で送信します。

グループの利用

1 待受画面で☞▶[電話機能]▶[電話帳]▶[グループ一覧]

- グループ一覧表示の場合は、待受画面で🔍を押しても表示されます。

2 グループを利用する



グループ一覧画面

1 グループ

2 グループ名

3 登録されている連絡先の数

■ グループの編集

1 グループ一覧画面で☞▶[グループ追加]▶グループ名を入力▶[OK]

- グループ名変更：グループ一覧画面でグループにカーソルを合わせる▶☞▶[グループ名変更]▶グループ名を入力▶[OK]
- グループ削除：グループ一覧画面でグループにカーソルを合わせる▶☞▶[グループ削除]▶[OK]
- グループの並べ替え：グループ一覧画面でグループにカーソルを合わせる▶☞▶[表示位置を上に移動] / [表示位置を下に移動]

■ グループへの登録／解除

1 グループ一覧画面でグループにカーソルを合わせる

2 ☞▶[グループメンバー変更]▶名前を選ぶ▶[📄]

- [グループ設定なし]や[お気に入り]は、グループ名の変更、グループの削除などの操作はできません。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメールやSMSなどを利用して、メッセージを送受信したり、ウェブブラウザを利用してサイトを表示したりできます。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

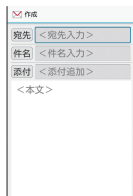
- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/
- ようこそドコモメールへ画面が表示されたらを押してください。

ドコモメールの作成・送信

1 待受画面で

2 [新規メール作成]

- を押してもメール作成画面を表示できます。



メール作成画面

3 宛先入力欄を選ぶ

4 宛先の追加方法を選ぶ▶宛先を入力▶▶

- 宛先追加： ▶宛先の追加方法を選ぶ▶宛先を入力▶▶
- 宛先の1件削除：宛先にカーソルを合わせる▶▶[1件削除]▶[はい]▶
- 宛先の選択削除：▶[選択削除]▶宛先を選ぶ▶▶[はい]▶
- 宛先の全件削除：▶[全件削除]▶[はい]▶

5 件名入力欄を選ぶ▶件名を入力

6 本文欄を選ぶ▶本文を入力

7

- 下書き保存： 

■ 添付ファイル

ドコモメールに静止画や動画などを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

1 メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

2 添付ファイルを選ぶ

- **写真・画像**：撮影した静止画やダウンロードした画像を添付できます。
- **動画**：動画を添付できます。
- **電話帳**：電話帳に登録されている連絡先を添付できます。
- **カメラ起動**：カメラを起動し、静止画を撮影して添付できます。

- **その他のファイル**：本体やmicroSDカード内のさまざまなファイルを添付できます。

3

添付ファイルの追加

1 メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

2 ▶添付ファイルを選ぶ▶

添付ファイルの削除

1 メール作成画面で添付追加欄を選ぶ

2 添付ファイルにカーソルを合わせる▶▶[1件削除]▶[はい]▶

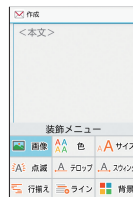
- 選択削除：▶[選択削除]▶添付ファイルを選ぶ▶▶[はい]▶
- 全件削除：▶[全件削除]▶[はい]▶

■ 本文の装飾（デコメール®）

メール本文に画像を挿入したり、文字色や文字サイズを変更、背景の色を付けるなどの装飾をすることができます。

1 メール作成画面で本文欄を選ぶ

2 ▶[装飾]▶装飾方法を選ぶ▶装飾する



装飾メニュー

- 入力済みの文字の装飾：▶装飾開始位置を選ぶ▶装飾終了位置を選ぶ▶[装飾]▶装飾方法を選ぶ▶装飾する

■ メール作成画面のサブメニュー操作

1 メール作成画面で

2 項目を選ぶ

- **閲覧に切り替え**：ドコモメールのメニュー画面に切り替えます。
- **プレビュー**：作成中のドコモメールをプレビュー表示します。
- **下書き保存**：作成中のドコモメールを送信せずに「未送信BOX」に保存します。
- **テンプレート**：装飾されたデコメール®のテンプレート（ひな形）を使用してデコメール®を作成したり、作成中のドコモメールをテンプレート保存します。
- **保存せずに終了**：作成中のドコモメールを保存せずに、ドコモメールを終了します。

ドコモメールの受信

ドコモメールは自動的に受信します。

1 ドコモメールを自動的に受信

- 待受画面に通知アイコン [📧]、ステータスバーに [📶] が表示されます。
- 自動で受信しない：待受画面で [📧] ▶ [メール設定] ▶ [通信設定] ▶ [自動通信設定] ▶ [毎回確認する] / [OFF]

2 待受画面で📧▶通知アイコン[📧]を選ぶ

- 待受画面で [📧] ▶ [受信BOX] でも確認できます。

3 フォルダを選ぶ▶未読のドコモメールを選ぶ

■ メール問い合わせ

圏外や電源が入っていないときなどに送られてきたドコモメールをセンターに問い合わせで受信できます。

1 待受画面で📧(1秒以上)

- 待受画面で [📧] ▶ [新着メール確認/更新] でも問い合わせできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス (SMS)」をご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/sms/>

- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で📶▶[メール]▶[SMS]

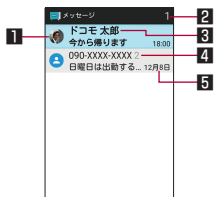
2 📧▶宛先、メッセージを入力▶📧

- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まるときは先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」 / 「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 待受画面で📶▶[メール]▶[SMS]

- 宛先/送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



1 画像

- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。

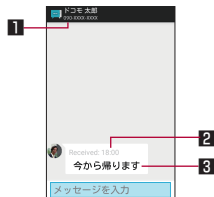
2 未読メッセージのあるスレッド数

3 宛先/送信元

4 スレッド内のメッセージ件数

5 受信日時

2 スレッドを選ぶ



1 宛先/送信元

2 受信日時

3 メッセージ

3 メッセージを確認する

- 差出人に電話発信：📞▶[発信]▶📞
- 差出人を電話帳に登録：📞▶[電話帳登録]▶登録先を選ぶ▶各項目を設定▶📞

メッセージの返信

1 待受画面で📶▶[メール]▶[SMS]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージを入力▶📧

メッセージの転送

1 待受画面で📶▶[メール]▶[SMS]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージにカーソルを合わせる▶📶▶[転送]

4 宛先、メッセージを入力▶📧

メッセージの削除

1 待受画面で📶▶[メール]▶[SMS]

2 スレッドを選ぶ

3 メッセージにカーソルを合わせる▶📶▶[メッセージを削除]▶[はい]

スレッドの削除

1 待受画面で📶▶[メール]▶[SMS]

2 📶▶[選択削除]▶スレッドを選ぶ▶📧▶[はい]

- スレッドの全件削除：📶▶[全削除]▶[はい]

メッセージの設定

1 待受画面で📶▶[メール]▶[SMS]

2 📶▶[設定]

3 項目を選ぶ

- **SMSアプリの変更**：SMSを送受信するアプリを確認できます。
- **古いメッセージを削除**：保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除します。
- **テキストメッセージの制限件数**：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
- **受取確認通知**：送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。

- **SIMカードのメッセージ**：ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージを管理します。
- **通知**：メッセージ受信時にステータスバーで通知します。
- **着信音**：メッセージ受信時の着信音を設定します。
- **バイブレーション**：メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。

【受取確認通知】について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

PCメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください（P.30「メールのアカウントの設定」）。

1 待受画面で[メール] ▶ [メール] ▶ [PCメール]

2 [新規作成]

PCメール作成画面

3 宛先入力欄を選ぶ

4 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力 ▶ [OK]

- 宛先追加：[新規登録] ▶ 宛先の追加方法を選ぶ ▶ 宛先を入力
- 宛先の1件削除：宛先にカーソルを合わせる ▶ [削除] ▶ [1件] ▶ [はい]
- 宛先の選択削除：[削除] ▶ [複数選択] ▶ 宛先を選ぶ ▶ [はい]
- 宛先の種類を変更：宛先にカーソルを合わせる ▶ [宛先切替] ▶ [Toへ変更] / [Ccへ変更] / [Bccへ変更]

5 件名入力欄を選ぶ ▶ 件名を入力

6 本文入力欄を選ぶ ▶ 本文を入力

7 [OK]

- 下書き保存：[下書きを保存]
- 作成中のメールを削除：[破棄] ▶ [はい]

■ 添付ファイル

PCメールに静止画や動画などを添付して送信できます。

- ファイルによっては添付できないものがあります。

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

2 [データフォルダ] / [その他] ▶ 添付ファイルを選ぶ

3 [OK]

添付ファイルの追加

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

2 [ファイルを追加] ▶ [データフォルダ] / [その他] ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶ [OK]

添付ファイルの削除

1 メール作成画面で添付欄を選ぶ

2 添付ファイルにカーソルを合わせる ▶ [削除] ▶ [1件] ▶ [はい] ▶ [OK]

- 選択削除：[削除] ▶ [複数選択] ▶ 添付ファイルを選ぶ ▶ [はい] ▶ [OK]

メールの表示

1 待受画面で[メール] ▶ [メール] ▶ [PCメール]

2 トレイ / フォルダを選ぶ ▶ メールを選ぶ



1 表示中のトレイ名 / フォルダ名

2 メール

- 未読メールは、送信元や件名が青い太字の表示になります。

3 サブメニュー

- PCメールの新規作成やスターの付与 / 解除、アカウント切替、設定ができます。

4 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、★付きフォルダで確認することができます。

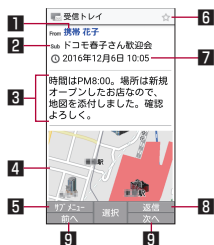
5 新着受信

- 新着メールを問い合わせで受信できます。

6 ▲ / ▼

- ページをスクロールすることができます。

3 メールを確認する



1 送信元 / 宛先

- 選択するとアドレスの詳細情報が表示されます。アドレスを選んで、メールの作成や電話帳への登録ができます。

2 件名

3 本文

4 添付ファイル

5 サブメニュー

- PCメールの返信 / 転送やスターの付与 / 解除、アカウント切替、設定ができます。

6 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 受信日時

8 返信

9 前へ／次へ

- 前のメール／次のメールを表示できます。

メールの返信／転送

1 待受画面で [メール] ▶ [PCメール]

2 トレイ／フォルダを選ぶ ▶ メールを選ぶ

3 [返信]

- 全員に返信: [全員に返信]
- 本文を引用して返信: [引用返信] ▶ [送信者に返信] / [全員に返信]
- 転送: [転送]

4 メールを作成

5 [返信]

メールの削除

1 待受画面で [メール] ▶ [PCメール]

2 トレイ／フォルダを選ぶ

- 1件削除: メールにカーソルを合わせる ▶ [削除] ▶ [1件] ▶ [はい]
- メールの選択削除: [複数選択] ▶ メールを選ぶ ▶ [削除] ▶ [はい]

3 メールを選ぶ

4 [削除] ▶ [はい]

メールの設定

1 待受画面で [メール] ▶ [PCメール]

2 [設定]

- **全般設定**: メール全般について設定します。
- **アカウントを追加**: アカウントの追加ができます。
- **プライバシーポリシー**: プライバシーポリシーを確認できます。
- アカウントを選ぶと、署名やメール着信通知など、各アカウントの詳細について設定できます。

Exchangeについて

- 連絡先、カレンダーの同期には非対応です。
- 会議出席依頼への返答後は、受信した会議出席依頼メールは削除されますが、送信済みフォルダに格納されたメールから返答内容を確認することが可能です。

ウェブブラウザ

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

- サイトを表示すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作についてはP.19「タッチクルーザーEXの利用」
- ウェブブラウザを利用中に [動作] が動作しなくなったときは、タッチクルーザーEXを有効にするとカーソルの操作が可能になる場合があります (P.19「タッチクルーザーEXの利用」)。
- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめのサイトやお客様サポートなどに簡単にアクセスすることができます。

1 待受画面で [dメニュー・検索]

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。
- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、「利用する」を選択してください。

- dメニューのご利用には、パケット通信 (LTE/3G/GPRS) もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続には、別途パケット通信料がかかります。
- dメニューで紹介しているサイトには、一部有料のコンテンツが含まれる場合があります。

■ サイト画面の操作

- ページの再読み込み/停止: [再読み込み] / [停止]
- 音量変更: [音量変更] ▶ [音量] ▶ [再生中に7/9を押しても調節できます。]
- 拡大/縮小: [拡大縮小] ▶ [3/1を押しても調節できます。]
- 文字サイズ変更: [文字サイズ変更] ▶ [4/6を押しても調節できます。]
- ページの情報を表示: [ページ情報]
- ヘルプの表示: [ヘルプ]

■ サイトの検索

1 検索欄を選ぶ



2 キーワードを入力 ▶ [検索]

■ 新しいタブを開く

1 サイト画面で [新規タブ作成]

- 複数のタブを表示中は、サイト画面で [タブ一覧] ▶ [新規タブ作成] を選択します。

■ タブの切替

1 サイト画面で [タブ一覧]

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

- ### 1 サイト画面で [タブ一覧] ▶ タブにカーソルを合わせる ▶ [閉じる]

■ 検索／URL入力

URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。

1 サイト画面で ▶ [検索／URL入力]

2 キーワード／URLを入力

- キーワードを入力して検索するときは、ブラウザ設定の [高度な設定] の [検索エンジンの設定] で指定の検索エンジンを使用します。

■ 画像の保存

1 サイト画面で ▶ [画像保存モード]

- 画像保存モードに切り替わります。

2 ポインタで画像を選ぶ

- タッチクルーザーEXのポインタとは異なります。✕で操作してください。

■ 文字のコピー

1 サイト画面で ▶ [テキストコピー]

2 ポインタで始点を選ぶ

- タッチクルーザーEXのポインタとは異なります。✕で操作してください。

3 コピーする範囲を指定

4 ▶ [コピー]

■ リンクの利用

選択したリンクを新しいタブで開いたり、リンク先を保存できます。

1 サイト画面でリンクにカーソルを合わせる ▶ ▶ [このリンク]

2 [新しいタブで開く]／[リンク先を保存]／[URLをコピー]

■ ページ内の文字の検索

1 サイト画面で ▶ [ページ検索]

2 検索する



1 検索終了

2 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

3 前へ

4 次へ

ブックマークの利用

■ ブックマークの登録

1 サイト画面で ▶ [ブックマークへ登録] ▶

■ ブックマークからサイト表示

1 待受画面で ▶ [ブックマーク]

- サイト画面で  ▶ [ブックマーク一覧] でも表示できます。

2 ブックマークを選ぶ

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

サイト閲覧履歴の利用

1 待受画面で ▶ [サイト閲覧履歴]

- サイト画面で  ▶ [履歴] でも表示できます。

2 閲覧時期を選ぶ／[よく使用] ▶ 履歴を選ぶ

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

Google検索

GoogleでURLやキーワードを入力してサイトを検索できます。

1 待受画面で ▶ [Google検索]

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。

2 検索ボックスを選ぶ ▶ キーワード／URLを入力 ▶



ブラウザ起動

ブラウザ設定の [ホームページを設定] に設定したページに接続できます。

1 待受画面で ▶ [ブラウザ起動]

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]を選択してください。
- サイト画面で  ▶ [ホーム] でも接続できます。

ブラウザ設定

ブラウザの設定ができます。

1 待受画面で▶[ブラウザ設定]

- サイト画面で▶ [設定] でも設定できます。

2 項目を選ぶ

- **ホームページを設定**：ホームページを設定します。
- **画像の読み込み**：ウェブページに画像を表示するか設定します。
- **ファイル保存先**：ファイルの保存先を設定します。
- **プライバシーとセキュリティ**：利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- **ユーザー補助**：テキストの倍率や最小フォントサイズなど画面表示について設定します。
- **高度な設定**：サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定をします。

ダウンロード履歴の表示

ダウンロードした画像などの履歴を確認できます。

1 待受画面で▶[ダウンロード]

- サイト画面で▶ [ダウンロード] でも表示できます。

2 履歴を選ぶ

カメラ

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- 電池残量が少ないときは、撮影できません。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようすると、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- [フォーカス設定] を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なることがあります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪、ストラップなどがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できることがあります。
- 撮影した静止画は、DCF1.0準拠（ExifVer.2.3、JPEG準拠）の形式で保存されます。
- テレビ動作中はカメラをご利用になれません。

著作権・肖像権について

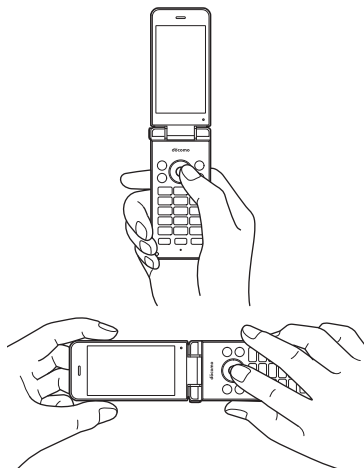
お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。

お客様が端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

本端末の持ちかた

端末は、図のようにしっかりと持って撮影してください。



カメラを使用中の動作について

- 各カメラモード起動中に約3分間何も操作しないと、カメラモードが自動的に終了します。バーコードリーダーで読み取りを行っている場合、読み取り結果は削除されます。
- シャッター音の音量は変更できません。

カメラの撮影サイズ

■ 静止画撮影

画面比率	撮影サイズ
16 : 9	6M : 3264×1836
	FullHD : 1920×1080
4 : 3	8M : 3264×2448
	2M : 1600×1200
	VGA : 640×480

■ 動画撮影

画面比率	撮影サイズ
16 : 9	HD : 1280×720
4 : 3	VGA : 640×480
	QVGA : 320×240

静止画の撮影

1 待受画面で $\odot$

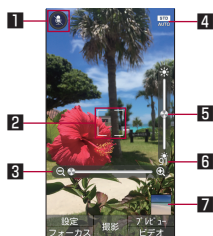
2 本端末のカメラを被写体に向ける

- 明るさの調整： $\odot$ ※
 - ズーム： $\odot$ ※
 - 最大倍率（ズームの段階）は約8.0倍（90段階）です。
 - カメラの設定メニューを表示： $\odot$
 - 撮影した静止画を表示： $\odot$
 - フォーカスをロック： $\odot$
 - フォーカス設定が「AF OFF」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。
 - 動画撮影に切替： $\odot$
 - 画面アイコンの表示／非表示切替： $\odot$
- ※ 横画面で撮影時は $\odot$ と $\odot$ の操作が入れ替わります。

3 $\odot$

- シャッター音が鳴り、撮影した静止画を保存します。

静止画撮影画面の見かた



1 音声認識

- 音声認識で撮影します。音声操作設定を「ON」に設定している場合は、「しゃったー」／「はいちーす」／「はいぼーす」のいずれかを送話口／マイクに向かって話すと撮影できます。

2 フォーカスマーク

- 「顔優先AF」を設定している場合は、人の顔を検出してフォーカス動作を行います。タッチクルーザーEXのポインタで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。

3 ズーム

4 撮影モード

- 撮影モードを切り替えます（ $\odot$ P.47「静止画撮影の設定」）。

5 明るさ調整

6 撮影可能枚数

- 残り撮影枚数が99枚以下になると表示されます。

7 ミニプレビュー

- 直前に撮影した静止画のサムネイルを表示します。

- タッチクルーザーEXのポインタで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した静止画を表示します。

- 静止画撮影で横画面にしても、タッチクルーザーEXのポインタの向きは変わりません。

静止画撮影の設定

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 待受画面で $\odot$ ▶ $\odot$

2 項目を選ぶ

- **ビデオへ切替**：動画撮影に切り替えます。
- **モード切替**：撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えます。
 - 静止画撮影画面で $\odot$ を押しても設定できます。
 - **カメラ**：「モード切替」で「連写撮影」、「魚眼レンズ」、「ミニチュア効果」、「パノラマ」のとき通常のカメラに切り替えます。
 - **おまかせ**：被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
 - **標準**：標準的なモードです。
 - **人物**：人物撮影に適したモードです。
 - **夜景人物**：夜景での人物撮影に適したモードです。
 - **風景**：風景撮影に適したモードです。
 - **夜景**：夜景撮影に適したモードです。
 - **料理**：料理を撮影するのに適したモードです。
 - **テキスト**：文字を撮影するのに適したモードです。
 - **セピア**：セピア効果で撮影するモードです。
 - **モノクロ**：モノクロ撮影するモードです。
 - **銀銭し**：暗部を暗くし、明暗を強調した写真を撮影するモードです。
 - **連写撮影**：1回の撮影で、12～50枚の写真を撮影するモードです。
 - **魚眼レンズ**：魚眼レンズを利用したような歪んだ写真を撮影するモードです。
 - **ミニチュア効果**：ミニチュアで再現したような風景写真を撮影するモードです。
 - **パノラマ**：パノラマサイズで写真を撮影するモードです。
 - **バーコードリーダー**：バーコードリーダーについては $\odot$ P.49「バーコードリーダー」
- **自動位置情報付加**：位置情報を自動的に付加するか設定します。
 - 静止画撮影画面で $\odot$ を押しても設定できます。
- **撮影サイズ**：撮影サイズを設定します。撮影サイズについては $\odot$ P.46「カメラの撮影サイズ」
 - 静止画撮影画面で $\odot$ を押しても設定できます。
- **連写種類**：「モード切替」で「連写撮影」を設定しているときに、連写の種類を設定します。
- **HDR**：逆光などコントラストが強いシーンで、白とびを軽減して撮影するか設定します。
 - 静止画撮影画面で $\odot$ を押しても設定できます。
- **音声操作設定**：音声認識での操作を使用するか設定します。
 - 静止画撮影画面で $\odot$ を押しても設定できます。
- **詳細設定**：詳細設定については $\odot$ P.48「詳細設定」
- **ヘルプ**：キー操作のヘルプやHDRのヘルプを表示します。
 - 静止画撮影画面で $\odot$ を押してもキー操作のヘルプを表示できます。

- 他のモードへ切り替える場合、撮影モードや撮影カメラによってはカメラを終了したあと、再度カメラを起動する必要があります。

■ 詳細設定

1 待受画面で [設定] ▶ [詳細設定]

2 項目を選ぶ

- **ISO感度**：撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
- **ホワイトバランス**：撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定します。
- **シャッターモード**：被写体が笑ったときや、振り向いたときに自動で撮影するか設定します。
- **セルフタイマー**：タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
 - 静止画撮影画面で [3] を押しても設定できます。
- **フォーカス設定**：被写体に合わせてフォーカスを設定します。
 - 静止画撮影画面で [7] を押しても設定できます。
- **手ぶれ軽減**：手ぶれ軽減を利用するか設定します。
 - 静止画撮影画面で [7] を押しても設定できます。
- **ちらつき防止**：蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にすじ状の濃淡を出にくくするように設定します。
- **保存先設定**：保存先を設定します。

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

[ISO感度] について

- 「ISO感度」を高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画像は粗くなります。

動画の撮影

1 待受画面で [設定] ▶ [動画]

2 本端末のカメラを被写体に向ける

- 明るさの調整： [6]
- ズーム： [5]
 - 最大倍率（ズームの段階）は約8.0倍（90段階）です。
- カメラの設定メニューを表示： [4]
- 撮影した動画を表示： [3]
- 静止画撮影に切替： [2]
- 画面アイコンの表示／非表示切替： [X]

3 [動画]

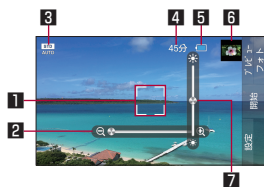
- 撮影開始音が鳴り、撮影を開始します。
- 静止画撮影： [2]

4 [設定]

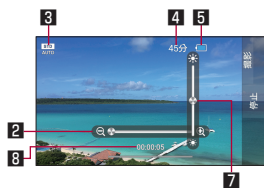
- 撮影停止音が鳴り、撮影した動画を保存します。

動画撮影画面の見かた

- 動画撮影画面は横画面での撮影に適した画面表示となります。横画面で撮影することをおすすめします。



動画撮影前画面



動画撮影中画面

1 フォーカスマーク

- 「標準AF」を設定している場合は、タッチクルーザーEXのポイントで被写体の位置をタップすると、フォーカス位置を指定できます。

2 ズーム

3 撮影モード

- 撮影モードを切り替えます（※P.49「動画撮影の設定」）。

4 撮影残時間

5 電池残量

6 ミニプレビュー

- 直前に撮影した動画のサムネイルを表示します。

7 明るさ調整

8 撮影時間

- タッチクルーザーEXのポイントで各アイコンやミニプレビューを選択すると、各アイコンに対応した機能を起動したり撮影した動画を再生します。

動画撮影の設定

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 待受画面で [設定] ▶ [動画] ▶ [メニュー]

2 項目を選ぶ

- **カメラへ切替**：静止画撮影に切り替えます。
 - **モード切替**：撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えます。
 - **動画撮影画面で [2] を押しても設定できます。**
 - **おまかせ**：被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
 - **標準**：標準的なモードです。
 - **人物**：人物撮影に適したモードです。
 - **風景（自然）**：風景撮影に適したモードです。
 - 「連写撮影」、「魚眼レンズ」、「ミニチュア効果」、「パノラマ」については P.47 「静止画撮影の設定」
 - 各項目を選択すると、カメラに切り替わります。
 - **バーコードリーダー**：バーコードリーダーについては P.49 「バーコードリーダー」
 - 選択すると、カメラに切り替わります。
 - **自動位置情報付加**：位置情報を自動的に付加するか設定します。
 - **動画撮影画面で [4] を押しても設定できます。**
 - **撮影サイズ**：撮影サイズを設定します。撮影サイズについては P.46 「カメラの撮影サイズ」
 - **動画撮影画面で [1] を押しても設定できます。**
 - **詳細設定**：詳細設定については P.49 「詳細設定」
 - **キー操作ヘルプ**：キー操作のヘルプを表示します。
 - **動画撮影画面で [0] を押しても表示できます。**
- 他のモードへ切り替える場合、撮影モードや撮影カメラによってカメラを終了したあと、再度カメラを起動する必要があります。

■ 詳細設定

1 待受画面で [設定] ▶ [動画] ▶ [メニュー] ▶ [詳細設定]

2 項目を選ぶ

- **ホワイトバランス**：撮影場所の光源に合わせた色調補正を設定します。
- **マイク**：マイクを利用するか設定します。
- **セルフタイマー**：タイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
 - **動画撮影画面で [3] を押しても設定できます。**
- **フォーカス設定**：被写体に合わせてフォーカスを設定します。
- **ちらつき防止**：蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にすじ状の濃淡を出にくくするように設定します。
- **保存先設定**：保存先を設定します。
- **微速度撮影間隔**：撮影間隔について設定します。

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

バーコードリーダー

カメラをかざしてバーコード（JANコード、QRコード）の情報を読み取ることができます。

JANコードとは

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- JAN8、JAN13を読み取ることができます。

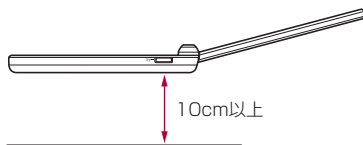
QRコードとは

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。

1 待受画面で [設定] ▶ [カメラ/TV/音楽] ▶ [バーコードリーダー]

- 明るさの調整： [0]

2 読み取るバーコードをメインディスプレイに表示



- メインディスプレイの中央に読み取るバーコードを表示させてください。
 - バーコードの真正面からカメラまでを約10cm離して、バーコードや端末をできるだけ固定すると認識されやすくなります。
 - 読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
 - [0]を押すと、読み取りを一時的に中断します。[0]を押すと読み取りを再開します。
 - **バーコードリーダーの設定**： [設定] ▶ 各項目を設定
- 分割されたデータについて**
- QRコードには、分割されたデータ（最大16個）を読み取って1つのデータとなるものがあります。操作を繰り返し、すべての分割されたデータを読み取ると読み取り結果が表示されます。

3 読み取り結果を利用する

- 電話番号やURL、メールアドレスを読み取ったときは読み取り結果を選ぶと利用できます。
- 読み取り結果の登録： [設定] ▶ [読取データ登録]
- 読み取り結果のコピー： [設定] ▶ [全コピー]

- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- メインディスプレイ内に複数のバーコードが表示されている場合は、読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないときがあります。

テレビ（ワンセグ）

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経路の詳細な情報もご利用いただけます。「ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会：
http://www.apab.or.jp/

■ ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

■ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビル影の陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなる場合があります。

チャンネルリストの作成

テレビを利用するには、あらかじめチャンネルリストを作成し、チャンネルリストを1つ選択しておく必要があります。

- チャンネルリストは3件まで登録できます。また、1つのチャンネルリストには放送局を12件まで登録できます。
- チャンネルリスト作成は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。

1 待受画面で [ワンセグ] ▶ [カメラ／TV／音楽] ▶ [テレビ（ワンセグ）]

- 使用許諾についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する]を選択してください。
- チャンネルが設定されていない場合のみ、チャンネルリスト作成画面が表示されます。
- チャンネルリストを追加するとき：テレビ視聴画面で [ワンセグ設定] ▶ [チャンネルリスト編集] ▶ [作成]

2 項目を選ぶ

- **地域を選んで作成**：地域ごとに割り当てられている放送局を検索します。
- **チャンネルを探して作成**：現在地で受信できるチャンネルを検索します。

3 [ワンセグ]

- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるためテレビを利用できません。

テレビ（ワンセグ）の視聴

テレビを視聴します。

1 待受画面で [ワンセグ] ▶ [カメラ／TV／音楽] ▶ [テレビ（ワンセグ）]

2 テレビを視聴する



1 番組情報

- 番組名や放送局名が表示されます。

2 映像

3 字幕

4 情報表示エリア

5 音量

- テレビ視聴時には、通常時に比べて画面の色が変わることがあります。
- 視聴中に着信があった場合は、通話終了後に視聴を再開します。

■ テレビ視聴中の操作

操作モードの切り替えや画面の切り替え、テレビを終了できます。

- データ操作モード／テレビ操作モードの切替：縦画面で [ワンセグ]
- 視聴画面の縦画面／横画面の切替： [横画面]
- テレビの終了： [終了] ▶ [はい]

■ テレビ操作モードでのキー操作

音量調節やチャンネルの切り替えができます。

- 音量調節： [音量]
 - チャンネルの切替： [チャンネル] / [0]～[9]、[X]、[H]
 - チャンネルサーチ： [S]（1秒以上）
- ※ 横画面で視聴中は [チャンネル] と [音量] の操作が入れ替わります。

■ データ操作モードでのキー操作

情報表示エリアのデータ放送を利用できます。

- カーソル移動、スクロール： [カーソル]
- コンテンツで割り当てられた項目を選択： [0]～[9]、[X]、[H]
- 項目を選択： [決定]
- データ放送の1つ前のページに戻る： [戻る]

■ テレビ視聴画面のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 テレビ視聴画面で

2 項目を選ぶ

- **テレビ終了**：テレビを終了します。
- **画面回転**：画面の縦横を切り替えます。
- **チャンネル一覧**：チャンネル一覧を表示します。
- **番組表**：番組表についてはP.51「番組表の利用」
- **音声／字幕設定**：音声／字幕設定についてはP.51「音声／字幕の設定」
- **チャンネル設定**：次の設定を行うことができます。
 - **チャンネルサーチ**：チャンネルを検索します。
 - **サービス選局**：受信中のチャンネルが複数サービス中の場合、視聴するサービスを選択できます。
 - **チャンネルリスト切替**：お使いの地域に合わせて、作成済みのチャンネルリストを切り替えます。
 - **チャンネルリスト編集**：チャンネルの割り当てを変更したり、チャンネルリストを作成、削除、再スキャン、名称を変更します。
 - **チャンネル個別登録**：視聴中のチャンネルを選択したりモコン番号に登録できます。
- **データ放送再読み込み**：データ放送を再読み込みします。
- **設定**：設定についてはP.51「テレビ（ワンセグ）の設定」
- **TVリンク**：TVリンクについてはP.51「TVリンク」
- **操作ガイド**：視聴画面での操作方法を表示します。

番組表の利用

1 テレビ視聴画面で ▶ [番組表]

- 視聴中のチャンネルの番組表画面が表示されます。

2 番組を選ぶ

- 番組詳細画面が表示されます。

音声／字幕の設定

テレビ視聴中に音声言語を変更したり、字幕を表示させたりすることができます。

- 番組によって、各機能の有無は異なります。

1 テレビ視聴画面で ▶ [音声／字幕設定]

2 項目を選ぶ

- **音声切替**：音声言語を設定します。
- **音声多重切替**：主音声／副音声について設定します。
- **字幕切替**：表示する字幕について設定します。

テレビ（ワンセグ）の設定

データ放送やテレビの自動終了時間などについて設定できます。

1 テレビ視聴画面で ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **データ放送設定**：データ放送について設定します。
- **オフタイマー設定**：テレビを自動的に終了するまでの時間を設定します。
- **クロース動作設定**：テレビ視聴時に端末を閉じたときの動作を設定します。
- **製品情報**：アプリのバージョンを確認できます。

【データ放送設定】について

- [通信接続時の確認] を無効にすると、データ放送の確認画面が表示されなくなり、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

TVリンク

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをTVリンクとして登録できます。TVリンクに登録すると、TVリンク画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- TVリンクは50件まで登録できます。
- TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 テレビ視聴画面で ▶ [TVリンク]

- 登録したTVリンクを表示します。

2 TVリンクを選ぶ

- 接続確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

■ TVリンクの削除

1 テレビ視聴画面で ▶ [TVリンク]

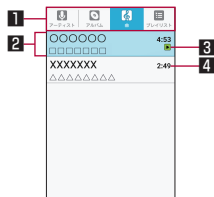
2 TVリンクを選ぶ ▶ [削除] ▶ [OK]

ミュージック

本体メモリまたはmicroSDカードに保存された音楽データやプレイリストを再生できます。

- 再生できる音楽データの主なファイル形式は次のとおりです。
AAC-LC、HE-AACv1、HE-AACv2、AAC-ELD、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、Vorbis、PCM/WAVE

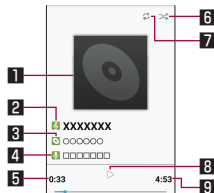
1 待受画面で ▶ [カメラ／TV／音楽] ▶ [ミュージック]



1 カテゴリ

-  でカテゴリのタブを切り替えます。
- 2 タイトル／アーティスト名／アルバム名
- 3 再生中／一時停止中の音楽データ
- 4 総再生時間

2 音楽データを選ぶ



1 ジャケット画像

2 タイトル

3 アルバム名

4 アーティスト名

5 再生時間

6 シャッフル

：シャッフルOFF / ：シャッフルON

7 リピート

：リピートOFF / ：1曲リピート / ：全曲リピート

8 再生中 / ：一時停止中

9 総再生時間

■ 音楽データ再生中の操作

再生音量の調節や前後の音楽データの再生、バックグラウンドで再生できます。

- 再生音量調節：🔊
- 前の音楽データを再生* / 頭出し：⏮
- 次の音楽データを再生：⏭
- 巻戻し：⏮（1秒以上）
- 早送り：⏭（1秒以上）
- バックグラウンドで再生：再生中に⏮ ▶ [はい]

※ 再生時間が約0秒のときに前の音楽データを再生します。

■ 音楽データ一覧画面のサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 音楽データ一覧画面で⏮

2 項目を選ぶ

- **すべて再生**：表示中の音楽データをすべて再生します。
- **すべてシャッフル**：表示中の音楽データをすべてシャッフルして再生します。
- **プレイリスト保存**：表示中の音楽データを新しいプレイリストに保存します。
- **再生**：カーソル位置の音楽データを再生します。
- **プレイリストに追加**：プレイリストに追加については🔗 P.52「プレイリストの作成」
- **プレイリスト内削除**：カーソル位置の音楽データをプレイリスト内から削除します。
- **着信音に設定**：カーソル位置の音楽データを着信音に設定します。
- **削除**：カーソル位置の音楽データを削除します。
- **検索**：カーソル位置の音楽データをウェブブラウザで検索したり、端末の「ミュージック」内を検索したりします。

プレイリストの管理

■ プレイリストの作成

1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせる ▶ ⏮ ▶ [プレイリストに追加]

2 [新規] ▶ プレイリスト名を入力 ▶ [保存]

■ プレイリスト名の変更

1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる

2 プレイリストにカーソルを合わせる ▶ ⏮ ▶ [名前を変更]

3 プレイリスト名を入力 ▶ [保存]

■ 音楽データの並べ替え

1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる

2 プレイリストを選ぶ ▶ 音楽データにカーソルを合わせる

3 📷 ▶ 変更先を選ぶ ▶ 📷

■ プレイリストの削除

1 音楽データ一覧画面で「プレイリスト」タブにカーソルを合わせる

2 プレイリストにカーソルを合わせる ▶ ⏮ ▶ [削除] ▶ [はい]

LINE

LINEはいつでも、どこでも、メッセージのやりとりや通話を楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEを利用するには事前にアカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細については、LINEのサイトや、LINEのその他画面で [設定] ▶ [ヘルプ] を選択してヘルプをご参照ください。
- LINEを起動すると、タッチクルーザーEXが有効になります。タッチクルーザーEXの操作については🔗 P.19「タッチクルーザーEXの利用」

1 待受画面で⏮ ▶ [ツール] ▶ [LINE]

- LINEのトップページが表示されます。
- はじめて利用される際には、利用規約やログイン画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

- ゲームなど一部の機能は本端末では利用できません。

電卓

1 待受画面で⏮ ▶ [ツール] ▶ [電卓]

2 計算する

■ 計算結果のコピー

1 計算結果画面で⏮ ▶ [コピー]

- 電卓がバックグラウンドで動作している場合、計算結果や履歴情報が削除されることがあります。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [アラーム]
- 2 登録先にカーソルを合わせる ▶
- 登録先の追加: [追加]
- 3 時刻を設定 ▶
- 4 各項目を設定



1 名称

- 名称を入力します。

2 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

3 アラーム音

- アラーム音を設定します。

4 バイブ設定

- バイブレータを利用するか設定します。

5 スヌーズ設定

- スヌーズを利用するか設定します。

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- アラーム鳴動中に別のアラーム設定時刻となったときは、1つ目のアラーム鳴動が停止し、2つ目のアラーム鳴動が開始します。
- アラーム音量を「サイレント」にしているときや、マナーモード設定中にマナーモード中の鳴動を無効に設定しているときはアラーム音は鳴りません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 いずれかのキーを押す

- スヌーズが設定されているときは を選択してスヌーズを停止します。それ以外のキーを押すとアラームは停止しますが、スヌーズは解除されません。

■ マナーモード中の鳴動設定

- 1 アラーム画面で ▶ [設定]
- 2 [マナーモード中の鳴動]

■ アラーム消音までの時間の設定

- 1 アラーム画面で ▶ [設定]
- 2 [消音までの時間] ▶ 時間を選ぶ

■ スヌーズ間隔の設定

- 1 アラーム画面で ▶ [設定]
- 2 [スヌーズの間隔] ▶ ▶

■ アラーム音量の設定

- 1 アラーム画面で ▶ [設定]
- 2 [アラーム音量] ▶ ▶

■ 登録先の削除

- 1 アラーム画面で ▶ [選択削除]
 - 1件削除: アラーム画面で登録先にカーソルを合わせる ▶ ▶ [1件削除] ▶ [はい]
- 2 登録先を選ぶ ▶ ▶ [はい]

■ 登録内容の初期化

- 1 アラーム画面で登録先にカーソルを合わせる
- 2 ▶ [リセット] ▶ [はい]

■ アラームの設定／解除

- 1 アラーム画面で登録先を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [タイマー]
- 2 時間を入力
- 3

- カウントダウンの停止:
- カウントダウンのリセット:
- 設定した時間が経過すると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。停止するには を押してください。

■ アラーム音の変更

- 1 タイマー画面で ▶ [アラーム音]
- 2 アラーム音を選ぶ ▶

■ バイブレータの設定

- 1 タイマー画面で ▶ [バイブ設定]

■ 名称の変更

- 1 タイマー画面で ▶ [名称]
- 2 名称を入力

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して、経過時間（ラップタイム）／合計経過時間（スプリットタイム）を計測できます。

1 待受画面で [ツール] ▶ [ストップウォッチ]

2

- ラップタイム、スプリットタイムの計測：[🕒]

3

- 計測結果のリセット：[🔄]

- ラップタイム、スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。99件を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。

世界時計

世界各地の時刻を表示できます。

1 待受画面で [ツール] ▶ [世界時計]

2 [追加]

3 都市を選ぶ

■ サマータイムの切替

1 世界時計画面で都市にカーソルを合わせる ▶ [サマータイム切り替え]

- サマータイムに切り替えた都市には、[※] が表示されます。
- 都市によってはサマータイムに切り替えられない場合もあります。

■ 都市の削除

1 世界時計画面で [選択削除]

- 1 件削除：世界時計画面で都市にカーソルを合わせる ▶ [削除] ▶ [はい]

2 都市を選ぶ ▶ [はい]

■ 都市の並べ替え

1 世界時計画面で [並べ替え]

2 並べ替える都市を選ぶ ▶ [変更先を選ぶ] ▶ [🔄]

スケジュール

スケジュールを作成・管理できます。

1 待受画面で [ツール] ▶ [スケジュール]

2 スケジュールを確認する



- 1 表示している年月
- 2 登録されている予定

■ スケジュール画面の操作

- 登録されている予定の表示：登録されている日付を選ぶ
- 前月／翌月に移動：[🔍] / [📅]

■ スケジュール画面のサブメニュー操作

1 スケジュール画面で [🔍]

2 項目を選ぶ

- **新規作成**：新規作成については P.54 「スケジュールの作成」
- **前月**：前月を表示します。
- **翌月**：翌月を表示します。
- **日付移動**：選択した日付に移動します。
- **表示条件**：予定を検索して表示できます。
- **メモ一覧へ**：メモ一覧を表示します。
- **i スケジュール一覧へ**：i スケジュールを利用します。
- **i コンシェルへ**：i コンシェルを利用します。
- **全件削除**：予定をすべて削除します。
- **設定**：設定については P.54 「スケジュールの設定」

■ スケジュールの作成

1 スケジュール画面で [🔍] ▶ [新規作成]

2 各項目を設定 ▶ [📅]

■ スケジュールの削除

1 スケジュール画面で日付を選ぶ

- 1 件削除：スケジュールにカーソルを合わせる ▶ [🔍] ▶ [削除] ▶ [1 件削除] ▶ [削除する]

2 [🔍] ▶ [削除] ▶ [選択削除]

- 全件削除：[🔍] ▶ [削除] ▶ [全件削除] ▶ [削除する]

3 スケジュールを選ぶ ▶ [📅] ▶ [削除する]

■ スケジュールの設定

1 スケジュール画面で [🔍] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **「今日の予定」お知らせ設定**：指定した時間に当日のスケジュールを知らせるよう設定します。
- **アラーム**：アラームについて設定します。
- **誕生日データ更新**：電話帳に登録されている誕生日を反映します。
- **クラウドと同期**：クラウドと登録内容を同期します。
- **クラウド設定**：クラウドを利用するか設定します。
- **ヘルプ**：ヘルプを表示します。
- **アプリ情報**：アプリケーション情報を表示します。

メモ

メモやスケジュールを作成・管理できます。

メモの登録

- 1 待受画面で [ツール] ▶ [メモ] ▶ [📄]
- 2 各項目を設定 ▶ [📄]
 - 開始/終了日時を登録すると、スケジュール (P.54「スケジュール」) に表示されます。

メモの確認

- 1 待受画面で [ツール] ▶ [メモ]
- 2 メモを選ぶ
 - **メモの編集**
 - 1 メモ詳細画面で [📄]
 - 2 内容を編集 ▶ [📄]
 - **メモの削除**
 - 1 メモ一覧画面で [🗑️] ▶ [削除] ▶ [選択削除]
 - 2 メモを選ぶ [📄] ▶ [削除する]
 - 1件削除: メモ一覧画面で [🗑️] ▶ [削除] ▶ [1件削除] ▶ [削除する]
 - 全件削除: メモ一覧画面で [🗑️] ▶ [削除] ▶ [全件削除] ▶ [削除する]

地図

地図を利用できます。

- 1 待受画面で [ツール] ▶ [地図]
 - 使用許諾についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する] を選択してください。
 - 現在地付近の地図が表示されます。
- **目的地の検索**
- 1 地図表示画面で [📍] ▶ 表示したい場所の情報を入力 ▶ [📍]
 - 表示されたカテゴリを選択しても検索できます。

■ 地図表示画面のサブメニュー操作

- 1 地図表示画面で [🗑️]
- 2 項目を選ぶ
 - **ナビゲーション**: 目的地までのルートを検索します。
 - **渋滞表示 (VICS)**: 渋滞表示を設定します。
 - **スポット検索**: 条件を設定して目的地を検索します。
 - **交通情報**: 交通情報表示を設定します。
 - **マイデータ**: 自分の情報を設定します。
 - **設定**: 設定メニューを表示します。
 - **お知らせ・ヘルプ**: お知らせ・ヘルプメニューを表示します。

歩数計

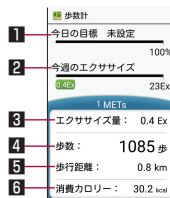
歩数や歩行距離、消費カロリーなどを記録することができます。歩数の履歴をグラフで表示して、時間別などで比較することもできます。

- 1 待受画面で [ツール] ▶ [歩数計]
- 2 [📄] ▶ [歩数計設定]
- 3 ユーザー情報の各項目を設定 ▶ [👤]
 - お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
 - 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
 - 歩数計の表示は、1日に一度リセットされます。

歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
 - 端末が不規則に動く場合
 - ・ 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - ・ 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
 - 不規則な歩行をした場合
 - ・ すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - ・ 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
 - 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - ・ 立ったり座ったりしたとき
 - ・ スポーツを行ったとき
 - ・ 階段や急斜面を上ったり下ったりしたとき
 - ・ 乗り物 (自転車、自動車、電車、バスなど) に乗って、上下振動や揺れしているとき
 - ・ 受話口/スピーカーから音が出ているとき
 - ・ バイブレータが振動しているとき
 - 極端にゆっくり歩いた場合
- キャリングケース 02 (別売) に入れるときは、キャリングケース 02を腰のベルトなどに装着してください。
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ 歩数計画面の見かた



- 1 今日の目標達成率 (目標設定時のみ有効)
- 2 今日のエクササイズ (身体活動) 量
- 3 今日のエクササイズ (身体活動) 量
- 4 今日のエクササイズ (身体活動) 量
- 5 今日のエクササイズ (身体活動) 量
- 6 今日のエクササイズ (身体活動) 量

■ 歩数計の停止

1 歩数計画面で ▶ [歩数計設定]

2 [歩数計ON]

- 歩数計がOFFになります。

■ ユーザー情報の変更

1 歩数計画面で ▶ [歩数計設定]

2 ユーザー情報の各項目を設定

■ 目標設定

1 歩数計画面で ▶ [目標設定]

2 各項目を設定

■ データリセット

1 歩数計画面で ▶ [データリセット] ▶ [はい]

■ 累積データの確認

1 歩数計画面で ▶ [累積データ]

■ ヘルプの表示

1 歩数計画面で ▶ [ヘルプ]

PASSNOW (タブレット連携)

タブレットとペア設定することで、本端末で撮影した静止画をタブレットの大画面に表示して保存したり、本端末で見ているサイトをタブレットで表示できます。また、本端末やタブレットに届いた通知や着信をお互いにお知らせしたり、近くにペア設定した本端末やタブレットがあるかを鳴動させて探すことができます。本機能では、Bluetooth機能、Wi-Fi機能を利用してタブレットと連携します。あらかじめ本端末とタブレットのいずれもBluetooth機能、Wi-Fi機能を有効にしておいてください。

- PASSNOW以外でBluetooth接続を行っている場合は、PASSNOWの連携機能を利用できないことがあります。
- PASSNOWの連携機能が動作しない場合は、本端末とタブレットのBluetooth機能、Wi-Fi機能を一度無効にして、有効にしてください。
- PASSNOWの情報は、シャープ株式会社のホームページ (<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>) をご参照ください。

ペア設定

本端末とタブレットが通信できるように、ペア設定をします。

■ iPadをペア設定

1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)] ▶ ▶ [iPad]

2 iPadで[設定] ▶ [Bluetooth] ▶ [SH-01J]

3 [ペア設定リクエスト] ▶ iPadに表示されたコードを入力 ▶ [OK] ▶ [OK]

■ Android™タブレットをペア設定

ペア設定したいタブレットに、あらかじめPASSNOWをインストールしてください。

1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)] ▶ ▶ [Android]

- カメラが起動します。

2 タブレットでPASSNOWを起動

- ディスプレイにQRコードが表示されます。

3 タブレットに表示されたQRコードに本端末のカメラをかざす

- メインディスプレイに表示された枠にQRコードを合わせると、自動的に情報を読み取ります。
- QRコードにカメラのフォーカスが合わず、自動で読み取れない場合は、を押すとフォーカスを調整します。

4 画面の指示に従って本端末とタブレットを操作してペアに設定

- リクエスト画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

- ペア設定後、待受画面で ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW (タブレット連携)] を選択すると、ペア設定しているタブレットの端末名が表示されます。[ペア解除] ▶ [はい] を選択すると、ペア設定を解除できます。

データBOXからデータの送信

本端末に保存している静止画やテキストデータなどをペア設定したタブレットに送信して、表示・保存できます。

1 待受画面で ▶ [データ]

2 データを選ぶ ▶ [送信] ▶ [PASSNOW]

- 静止画一覧画面で静止画にカーソルを合わせて ▶ [送信] ▶ [PASSNOW] を選択して送信することもできます。
- 静止画を表示中／静止画一覧画面で静止画にカーソルを合わせて を押して送信することもできます。

表示中のサイトやブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示

本端末で見ているサイトやブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示できます。

■ 表示中のサイトをペア設定したタブレットに表示

1 サイト画面で

- サイト画面で ▶ [ページ情報] ▶ [ページを共有] ▶ [PASSNOW] でも操作できます。

■ ブックマークしたサイトをペア設定したタブレットに表示

1 待受画面で ▶ [ブックマーク]

- サイト画面で ▶ [ブックマーク一覧] でも操作できます。

2 ブックマークにカーソルを合わせる ▶ [プロパティ] ▶ [ブックマーク送信]

3 [PASSNOW]

ペア設定したタブレットから受信した電話番号へ発信

ペア設定したタブレットが音声電話に対応していない場合のみ、電話番号を本端末に送信できます。例えば、タブレットでレストランのサイトを閲覧しているときに、そのお店に電話で予約をしたい場合、タブレットに表示された電話番号にタッチすることで、本端末で番号入力することなく電話をかけることができます。

- 1 ペア設定したタブレットから電話番号を送信
 - 2 本端末のメインディスプレイに電話番号が表示されたら 
- ペア設定したタブレットから受信した電話番号に発信します。

● ご利用になるタブレット／ブラウザアプリ／サイトによっては、電話番号のリンクが設定されていないことがあります。

本端末の着信・通知をペア設定したタブレットに表示

本端末に着信やメール受信などの通知があったときに、ペア設定したタブレットでも着信・通知を表示できます。

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)]
- 2 [通知連携] ▶ [OK] ▶ [通知連携(PASSNOW)]
- 3 [通知連携(PASSNOW)] ▶ [はい]
 - 「通知連携 (PASSNOW)」が [ON] に切り替わります。
 - 本端末に着信やメール受信の通知があると、自動的にペア設定したタブレットに通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度、[通知連携] ▶ [OK] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [はい] を選択してください。

ペア設定したiPadの通知を本端末に表示

ペア設定したiPadにメール受信などの通知があったときに、本端末でも表示できます。

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)]
 - 2 [通知連携] を有効にする
 - ペア設定したiPadにメール受信などの通知があると、自動的に本端末に通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度、[通知連携] を無効にしてください。
 - 未接続の場合や接続が切れた場合は、 を押して再接続してください。
- 通知を連携したiPadから通知を受けるとステータスバーに表示されます。ステータスパネルを開き、通知を選択すると通知の詳細を一覧画面で確認できます。
 - iPadで [設定] ▶ [通知] を選択すると、通知を行うアプリを設定できます。

ペア設定したタブレットの着信・通知を本端末に表示

ペア設定したタブレットの着信やメール受信などの通知があったときに、本端末でも表示できます。通知ごとに通知／非通知を設定することもできます。

- 1 ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動
- 2 通知を連携する「設定」を起動
- 3 アプリごとに[通知]／[非通知]
- 4 ON/OFFスイッチをONに設定 ▶ [OK]
- 5 [通知連携(PASSNOW)] ▶ 「通知連携(PASSNOW)」をONに設定 ▶ [OK]
 - 「通知連携 (PASSNOW)」が [ON] に切り替わります。
 - ペア設定したタブレットに着信やメール受信の通知があるとき、自動的に本端末に通知されるようになります。
 - 通知の連携を解除するには、再度、通知を連携する「設定」を起動 ▶ ON/OFFスイッチをOFFに設定 ▶ [OK] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] ▶ [通知連携 (PASSNOW)] を OFFに設定 ▶ [OK] を選択してください。

● 通知を連携したタブレットから通知を受けるとステータスバーに表示されます。ステータスパネルを開き、通知を選択すると通知の詳細を一覧画面で確認できます。

● 通知を行うアプリによっては、通知が連携できない場合があります。

● ペア設定したタブレットがサイレントマナー設定中は、通知が連携できない場合があります。

ペア設定したタブレットからSMSを送信

本端末に着信があった際、電話に出られないときにペア設定したタブレットからSMS (定型文) を送信することができます。

- 1 本端末に電話がかかってくる
- 2 ペア設定したタブレットで[クイック返信] ▶ メッセージを選ぶ
 - 電話をかけてきた相手にSMSが送信されます。

ペア設定した本端末やタブレットを鳴動させて探す

ペア設定した本端末やタブレットが周囲にあるか、お互いを鳴動させて探すことができます。

- 1 待受画面で  ▶ [ツール] ▶ [PASSNOW(タブレット連携)]
 - タブレットから本端末を呼び出す：ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動
- 2 [ペア端末呼び出し] ▶ [呼び出す]
 - 呼び出された本端末やタブレットが鳴動します。[停止] を選択すると呼び出し音が停止します。
 - 呼び出しできないと失敗画面が表示されます。

● 呼び出し音の音量は変更できません。

ペア設定したタブレットで本端末の写真／動画を取り込む

本端末で撮影した写真／動画をペア設定したタブレットから閲覧したり、タブレットに保存することができます。

1 ペア設定したタブレットでPASSNOWを起動▶ [コンテンツ選択]

- 本端末で撮影した写真／動画が一覧表示されます。写真／動画を選択後、[保存]を選択するとタブレットにデータが保存されます。
- この機能は、ペア設定したタブレットがWi-Fiデザリング中の場合には利用できません。
- ご利用のタブレットのデバイス名もしくはWi-Fi Directのデバイス名に、長い日本語が設定されている場合は、この機能を利用できないことがあります。日本語を短くするか、半角英数字に変更してご利用ください。
- ご利用のタブレットが5GHz帯のWi-Fiに接続している場合、タブレットの機種によっては本機能がご利用できないことがあります。その際は、タブレット側でWi-Fiのアクセスポイントとの接続を一時的に切断してご利用ください。

データ引継

microSDカードを利用して、これまでお使いの携帯電話／スマートフォンのバックアップデータを本端末の本体メモリに取り込んだり、本端末のデータをバックアップ／復元することができます。また、携帯電話のデータを赤外線通信機能を利用して取り込んだり、スマートフォンの電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

- microSDカードにバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - SMS
 - ブックマーク
 - カレンダー
 - ユーザー辞書／学習辞書（SH文字入力）
- microSDカードにバックアップ中は[機内モード]が有効になります。
- 本体メモリの空き容量が11MB/バイト未満のときは、microSDカードにバックアップできません。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 待受画面で[☰]▶[ツール]▶[データ引継]

2 項目を選ぶ

- **開始**: microSDカードにデータを保存したり、microSDカード、赤外線通信、Bluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
 - **従来の携帯電話から**: 赤外線通信、microSDカード、ドコモバックアップを利用します。
 - **スマートフォンから**: microSDカード、Bluetooth機能を利用します。
 - **データ保存**: microSDカードにデータを保存します。
- **取り込み前の準備方法**: データ引継を使用する前の準備方法を表示します。

■ microSDカードにバックアップファイルを保存

- 1 待受画面で[☰]▶[ツール]▶[データ引継]
- 2 [開始]▶[データ保存]▶暗証番号を入力
- 3 保存するデータカテゴリを選ぶ
- 4 [📷]▶[はい]
- 5 ●

- 電池残量が少ないときは保存できません。

■ バックアップファイルの設定・管理

- 1 待受画面で[☰]▶[ツール]▶[データ引継]▶[📷]
- 2 項目を選ぶ

- **保存ファイルの整理**: 保存されているバックアップデータを削除できます。
- **電話帳画像保存**: 電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- **結果画面閲覧**: 最新のバックアップファイルの保存／取り込みの結果を表示します。

■ microSDカードに保存したバックアップファイルの取り込み

- 1 待受画面で[☰]▶[ツール]▶[データ引継]
- 2 [開始]
- 3 [従来の携帯電話から]／[スマートフォンから]▶[microSD]／[microSD経由]
- 4 ●▶暗証番号を入力
- 5 取り込むバックアップファイルを選ぶ
- 6 [📷]

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ユーザー辞書／学習辞書（SH文字入力）を取り込む場合、本体メモリに保存されているユーザー辞書／学習辞書（SH文字入力）のデータが削除されますので、ご注意ください。

■ 携帯電話から赤外線通信機能を利用してデータを取り込む

- 赤外線通信についてはP.75「赤外線通信」

- 1 待受画面で[☰]▶[ツール]▶[データ引継]
- 2 [開始]▶[従来の携帯電話から]▶[赤外線]
- 3 ●▶[1件受信]／[全件受信]
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

【ドコモバックアップ】について

- SDカードバックアップ画面が表示されます。SDカードバックアップについてはP.59「SDカードバックアップ」

■ スマートフォンからBluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [データ引継]
- 2 [開始] ▶ [スマートフォンから] ▶ [Bluetooth経由]
- 3
- 4 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする
▶
- 5 取り込み元の端末を選ぶ ▶
 - ペア設定の確認画面が表示された場合は [ペア設定する] を選択してください。
 - 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。
- 6
- 7 [追加登録] / [削除して登録]
 - 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[はい] を選択してください。
- 8 [OK]

SDカードバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメールなどのデータの移行やバックアップができます。

- microSDカードへバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。
 - 電話帳
 - ドコモメール
 - 画像
 - 動画
 - 音楽データ
 - ブックマーク
 - 通話履歴
 - ユーザー辞書
 - トルカ
 - スケジュール／メモ
- microSDカードが未挿入の場合、画像、動画、音楽データなどは本体メモリに保存されます。microSDカードへ保存・復元では、本体メモリに保存されているデータのみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [SDカードバックアップ]

- バックアップまたは復元中に端末の電池パックを取り外さないでください。端末内のデータが破損する場合があります。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。

データをmicroSDカードにバックアップ

- あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

- 1 SDカードバックアップ画面で [バックアップ]
- 2 保存するデータカテゴリを選ぶ
- 3 ▶ [開始する]
- 4 ドコモアプリパスワードを入力 ▶
- 5

- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は、名前が登録されていない電話帳はコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。

データを端末に復元

- あらかじめmicroSDカードへ保存・復元で作成したバックアップファイルが保存されたmicroSDカードを挿入しておいてください。
- 電話帳を復元する場合は、電話帳コピーツールや i モード端末のmicroSDカードへバックアップする機能で作成したファイルも復元できます。

- 1 SDカードバックアップ画面で [復元]
- 2 復元するデータカテゴリの [選択]
- 3 バックアップファイルを選ぶ ▶
- 4 [追加] / [上書き]
- 5 ▶ [開始する]
- 6 ドコモアプリパスワードを入力 ▶
- 7

ケータイデータお預かりサービス

大切なスケジュール・メモ・トルカなどを自動更新でかんたんにバックアップできます。

- ケータイデータお預かりサービスの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で [ケータイデータお預かりサービス]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

取扱説明書

端末の操作方法がわからないときに利用してください。

取扱説明書が表示され、それぞれの機能の説明や操作方法などを確認することができます。機能を直接起動することもできます。

1 待受画面で [ツール] ▶ [取扱説明書]

2 取扱説明書を確認する

- 索引検索： [索引検索]
- ワードで検索： [検索] ▶ [検索] ▶ 検索ワードを入力 ▶ [検索]
- お気に入り登録： [お気に入り登録] ▶ [はい]
- お気に入りの確認： [お気に入り確認] ▶ お気に入りを選ぶ
- 目次検索： [目次検索]
- 前ページに戻る： [戻る]
- 次ページに進む： [進む]

ウィジェットシート

ウィジェットを貼り付けて利用できます。

1 待受画面で [ツール] ▶ [ウィジェットシート]

2 [貼る] ▶ ウィジェットを選ぶ

■ ウィジェットの移動

1 ウィジェットシート画面で [移動する]

2 ウィジェットを選ぶ ▶ 移動先を選ぶ

■ ウィジェットをはがす

1 ウィジェットシート画面で [はがす]

2 ウィジェットを選ぶ

■ ウィジェットの大きさを変更

1 ウィジェットシート画面で [大きさを変更する]

2 ウィジェットを選ぶ ▶ 大きさを調整 ▶ 完了

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末の IC カード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、IC カード内データ*が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができます。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
 - 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、IC カード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
 - おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
 - 本端末の電源を切っても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- * おサイフケータイ対応端末に搭載された IC カードに保存されたデータ

■ 「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、利用したいおサイフケータイ対応サービスの設定をしてください。

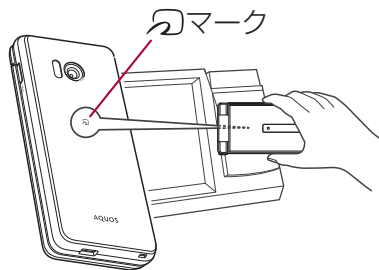
1 待受画面で [おサイフケータイ]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

- 利用したいサービスを選択し、設定してください。

3 端末のマークを読み取り機にかざす



■ 「かざしてリンク対応サービス」の利用

- あらかじめ [Reader/Writer, P2P] を有効にしておいてください（※ P.61 「NFC設定」）。

1 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに端末のマークをかざす

■ 対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
 - 〇マークを対向機にかざす際には、強くぶついたりせず、ゆっくりと近づけてください。
 - 〇マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
 - 〇マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

■ おサイフケータイ ロック

おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- おサイフケータイ ロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロック設定とは異なります。

1 待受画面で▶【おサイフケータイ】▶▶【次へ】

2 画面の指示に従って、おサイフケータイ ロック設定の暗証番号を入力

- おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーにが表示されます。
- おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後におサイフケータイ ロックを解除してください。
- おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、おサイフケータイ ロックを解除してください。
- おサイフケータイ ロック設定の暗証番号は、本端末を初期化しても削除されません。

■ NFC設定

1 待受画面で▶【設定】▶【その他】▶【NFC設定】

2 項目を選ぶ

- **Reader／Writer, P2P**：Reader／Writer, P2P機能を利用するか設定します。
- **Androidビーム**：Androidビームを利用したデータ通信ができます。
 - AndroidビームについてはP.78「Androidビーム」

■ トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、サイトからダウンロード、Bluetooth機能、I Cタグなどさまざまな方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で▶【ツール】▶【トルカ】

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、[Bluetoothでトルカを増やす]をONに設定する必要があります。
- I Cタグからトルカを取得する際には、[Reader／Writer, P2P]を有効にする必要があります(P.61「NFC設定」)。
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用にならない場合があります。
 - 更新
 - トルカの共有
 - 地図表示

■ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのサイトをご覧ください。
<http://id-credit.com/>

本体設定

設定メニュー

待受画面で ▶ [設定] を選択して表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- **壁紙・ディスプレイ**：画面表示などについて設定します。
- **音・バイブ**：マナーモードや着信音、バイブレーションなどについて設定します。
- **セキュリティ**：セキュリティロックについて設定します。
- **省エネ・電池**：長エネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。
- **Wi-Fi**：Wi-Fi機能について設定します。
- **Bluetooth**：端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。
- **ネットワーク**：機内モードやVPNなどネットワークについて設定します。
- **ドコモサービス**：ドコモサービスの設定を行います。
- **位置情報**：位置情報の測位について設定します。
- **クイック起動キー**：クイック起動キーについては P.31「クイック起動キーの利用」
- **その他**：日付と時刻、セルフチェックなどについて設定します。

壁紙・ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **待受画面・壁紙**：待受画面・壁紙については P.62「待受画面・壁紙」
- **画面の明るさ**：画面の明るさについては P.62「画面の明るさ」
- **バックライト点灯時間**：バックライトの点灯時間を設定します。
- **文字サイズ・フォント**：文字サイズやフォントについて設定します。
- **のぞき見防止**：のぞき見防止については P.62「のぞき見防止」
- **リラックス画質**：目に優しい画質にするか設定します。
- **サブディスプレイ**：サブディスプレイについては P.62「サブディスプレイ」

【バックライト点灯時間】について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

【文字サイズ・フォント】について

- ダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。
- [デカ文字] を選択した場合は、[デカ文字] に対応している機能を利用時に [最大] よりも大きな文字サイズで表示されます。

待受画面・壁紙

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [待受画面・壁紙]

2 項目を選ぶ

- **壁紙**：待受画面の画像を設定します。
 - 端末を開くたびに壁紙を変更：[ライブ壁紙] ▶ [お気に入り] / [ネクサス] / [フェーズビーム] / [水] / [草原] ▶ 画面の指示に従って操作
- **時計表示**：時計の種類や表示について設定します。
- **歩数計**：歩数計を表示するか設定します。
- **カレンダー表示**：カレンダーの表示について設定します。
- **クイック起動キー**：i チャネルが非表示のときにクイック起動キーを表示するか設定します。
- **i チャネル表示**：i チャネルを表示するか設定します。
- **マチキャラ設定**：マチキャラについて設定します。

画面の明るさ

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [画面の明るさ]

2

- 画面の明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

のぞき見防止

周りの人からメインディスプレイを見えにくくします。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [のぞき見防止]

2 項目を選ぶ

- **のぞき見防止**：のぞき見防止を有効にするか設定します。
- **表示パターン**：表示パターンを設定します。
- **見栄え補正**：正面からの見栄えを調整します。

【のぞき見防止】について

- 電源を切ると [のぞき見防止] が無効になります。

【表示パターン】について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

サブディスプレイ

サブディスプレイの表示を設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [壁紙・ディスプレイ] ▶ [サブディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **表示時間設定**：サブディスプレイの表示時間を設定します。
- **着信相手表示**：着信相手を表示するか設定します。
- **点灯設定**：端末を閉じたときにサブディスプレイを点灯させるか設定します。

音・バイブ

マナーモードや着信音、バイブレーションなどについて設定します。

1 待受画面で▶[設定]▶[音・バイブ]

2 項目を選ぶ

- **マナーモード設定**：マナーモード設定についてはP.63「マナーモード設定」
- **音量**：着信音やアラーム音、音楽や動画再生時などの音量を設定します。
- **着信音・お知らせ音**：着信時やお知らせ受信時などの動作について設定します。
 - 着信時の点滅パターンと点滅カラーの設定：[電話着信] ▶ [点滅パターン] / [点滅カラー] ▶ パターン/カラーを選ぶ▶
 - 着信ランプの点滅設定：[お知らせ] ▶ [点滅させて通知]
- **全般**：全般についてはP.63「全般」
- **通知**：通知についてはP.63「通知」

マナーモード設定

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 待受画面で▶[設定]▶[音・バイブ]▶[マナーモード設定]

2 マナーモードの種類を選ぶ

- **通常マナー**：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。
- **ドライブマナー**：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。伝言メモが有効になり、応答メッセージ設定が[ドライブ]で動作します。
- **サイレントマナー**：着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されているときは、伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します。
- **OFF**：マナーモードを解除します。

■ ワンタッチでマナーモードの設定／解除

1 待受画面で (1秒以上)▶種類を選ぶ

- 端末を閉じているとき： (1秒以上)
 - ・ 設定する場合は、直前に設定していたマナーモードに切り替えます。
-  (1秒以上) ▶  /  /  /  でもマナーモードを設定／解除できます。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 静止画撮影時のフォーカスロック音
 - 動画撮影時の開始音／停止音
 - PASSNOWの呼び出し音
- マナーモード設定中は、メディア再生音（音楽や動画、テレビなど）は消音になりますが、各画面でを押して音量を上げることができます。
- マナーモード設定中は、を押しても着信音量を変更できません。

全般

1 待受画面で▶[設定]▶[音・バイブ]▶[全般]

2 項目を選ぶ

- **画面ロックの音**：画面ロック時に音を鳴らすか設定します。
- **充電開始音**：充電開始時に音を鳴らすか設定します。
- **キー操作音**：キーを押したときに操作音を鳴らすか設定します。
- **操作時バイブ**：キーを1秒以上押したときに機能が実行される場合などにバイブレータを動作させるか設定します。
- **キーバックライト**：キーバックライトを点灯するか設定します。
- **サイドマナーキー長押し**：端末を閉じているとき、サイドキーを1秒以上押してマナーモードを設定／解除させるか設定します。

通知

1 待受画面で▶[設定]▶[音・バイブ]▶[通知]

2 項目を選ぶ

- **端末ロック中の表示**：ロック画面に表示する通知について設定します。
- **アプリの通知**：通知の表示／非表示や優先度を、アプリごとに設定します。
- **通知へのアクセス**：通知にアクセスできるアプリを確認できます。

【端末ロック中の表示】について

- 設定項目は次のとおりです。
 - すべての通知：ロック画面に通知を表示します。
 - プライベートな通知以外：ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - ・ 画面のロックを [ロックNo.] / [パスワード] に設定しているときに利用できます。
 - 表示しない：ロック画面に通知を表示しないようにします。

セキュリティ

セキュリティロックについて設定します。

1 待受画面で▶[設定]▶[セキュリティ]

2 項目を選ぶ

- **セキュリティキー設定**：セキュリティキー設定についてはP.65「セキュリティキー設定」
- **画面のロック**：電源を入れたときやメインディスプレイを表示させたときのロック解除方法について設定します。
- **音声発信制限**：音声発信制限についてはP.64「音声発信制限」
- **シークレット設定**：シークレット設定についてはP.64「シークレット設定」
- **SIMカードロック設定**：SIMカードロック設定についてはP.65「SIMカードロック設定」
- **提供元不明のアプリ**：提供元不明のアプリのインストールを許可します。
- **高度な設定**：高度な設定についてはP.65「高度な設定」

【画面のロック】について

- 入力を5回連続して間違えると、30秒間入力ができません。
 - 設定項目は次のとおりです。
 - なし：ロック画面を表示しません。
 - ロックNo.：4～16桁の数字を設定します。
 - パスワード：英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号*を設定します。
※一部の半角記号は利用できません。
- ロックNo./パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

【提供元不明のアプリ】について

- ダウンロードするアプリは情報源が不明な場合もあります。端末と個人データを保護するため、信頼できる情報源からのアプリのみダウンロードしてください。

音声発信制限

電話発信できないようにします。

1 待受画面で【設定】▶【セキュリティ】▶【音声発信制限】

2 暗証番号を入力▶【音声発信制限】

- 音声発信制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。
- 音声発信制限を設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）へは発信できます。

シークレット設定

電話帳の連絡先にシークレット属性を設定し、電話帳に表示させないようにすることができます。

- 通常時、本端末はシークレットモードの状態です。
- シークレットモードを一時解除すると、通常の連絡先とシークレット属性設定した連絡先の両方が表示されます。
- シークレットモードの一時解除中に、メインディスプレイの表示が消えたり、端末を閉じたりすると、シークレットモードになります。

1 待受画面で【設定】▶【セキュリティ】▶【シークレット設定】

2 暗証番号を入力

- シークレットモードが一時解除されます。

3 [OK]

4 項目を選ぶ

- **連絡先シークレット設定**：電話帳の連絡先にシークレット属性を設定します。
- **一時解除の設定**：シークレットモードを一時解除するときのセキュリティキーを変更します。
- **使い方ガイド**：シークレットモード一時解除の方法やシークレット設定した電話帳の連絡先についての説明を表示します。

シークレットモード中の動作について

- 次の場合は、電話帳に登録した名前は表示されず、電話番号のみが表示されます。
 - 電話の発着信画面
 - リダイヤル／着信履歴一覧画面
- 次の場合は、電話帳に登録した名前は表示されず、メールアドレスまたは電話番号のみが表示されます。
 - ドコモメールの宛先／送信元
 - SMSの宛先／送信元

バックアップ／データ送信について

- 次の場合は、シークレットモード一時解除中にシークレット属性設定した連絡先を含めたすべての連絡先が、バックアップ／データ送信の対象となります。
 - SDカードバックアップでバックアップしたとき*
 - 電話帳から連絡先を全件送信したとき
 - 赤外線通信で連絡先を送信したとき※シークレットモード中も可能です。
- バックアップ／データ送信した連絡先にはシークレット属性は引き継がれません。
- シークレットモード中は電話帳のクラウドにシークレット属性設定した連絡先は同期されません。電話帳のクラウドにシークレット属性設定した連絡先を同期させるには、シークレットモードを一時解除し、電話帳からクラウドの同期の停止を行います。再度電話帳からクラウドの利用を開始し、【端末の電話帳データを利用】を選択して同期させてください。

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでも使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・] で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号は避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ dアカウントのパスワード

- dアカウントは、ドコモアプリで利用するアカウントです。dアカウントのパスワードは、初期設定時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます（※P.67「ドコモサービス」）。
- dアカウントの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ ドコモアプリパスワード

ドコモが提供するアプリで利用するパスワードです。ドコモアプリパスワードは、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（※P.67「ドコモサービス」）。

■ セキュリティキー（各種機能用の暗証番号）

各制限を設定している場合、一時解除するにはセキュリティキーの入力が必要になります。お買い上げ時のセキュリティキーは「暗証番号」〔0000〕に設定されていますが、お客様ご自身で変更できます（※P.65「セキュリティキー設定」）。

- セキュリティキーの入力を、5回連続して間違えると30秒間入力ができません。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時に「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（※P.65「SIMカードロック設定」）。

PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付け、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモnanoUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

セキュリティキー設定

1 待受画面で▶[設定]▶[セキュリティ]▶[セキュリティキー設定]

2 暗証番号を入力

- お知らせ画面が表示されたら「OK」を選択してください。

3 項目を選ぶ

- **暗証番号**：4～16桁の数字を設定します。
- **パスワード**：英字1文字以上を含んだ、4～16桁の英数字と半角記号*を設定します。
※一部の半角記号は利用できません。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 待受画面で▶[設定]▶[セキュリティ]▶[SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

- **SIMカードをロック**：電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- **SIM PINの変更**：PINコードを変更します。

- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- 設定はドコモnanoUIMカードに保存されます。

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力

高度な設定

1 待受画面で▶[設定]▶[セキュリティ]▶[高度な設定]

2 項目を選ぶ

- **端末の暗号化**：端末の暗号化については※P.65「端末の暗号化」
- **デバイス管理機能**：アプリのデバイス管理機能を設定します。
- **ストレージのタイプ**：ストレージのタイプを表示します。
- **安全な認証情報の使用**：安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。
- **証明書をインストール**：暗号化された証明書をインストールします。
- **認証ストレージの消去**：すべての認証情報を削除します。
- **画面の固定**：選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法については※P.30「アプリ使用履歴の利用」
- **使用履歴へのアクセス**：使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

■ 端末の暗号化

端末内のデータを暗号化します。

- 端末の暗号化を解除するには、オールリセットを行う必要があります（※P.70「オールリセット」）。
- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。

1 待受画面で▶[設定]▶[セキュリティ]▶[高度な設定]

2 [端末の暗号化]

- 画面のロックを「[ロックNo.] / [パスワード]」に設定している場合、ロックを解除してください。

3 [携帯端末を暗号化]

- 画面のロックを「[ロックNo.] / [パスワード]」に設定している場合、端末を起動するときに、ロックを解除してください。
 - ・ 端末の暗号化を行った場合、端末を起動する際にロック解除を行うようにするか、画面のロックを設定するときに選択できます（※P.63「セキュリティ」）。

- 端末の暗号化が中断された場合、端末内のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- 端末起動時のロック解除の際、ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えると、電源を入れ直すまで入力ができません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、ご注意ください。

省エネ・電池

長エネスイッチ設定や電池残量の確認を行います。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [省エネ・電池]

2 項目を選ぶ

- **長エネスイッチ**: 長エネスイッチについては  P.80 「長エネスイッチ」
- **電池**: 電池残量や電池消費量の変化などを、視覚的に確認できます。

ネットワーク

機内モードやVPNなどネットワークについて設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **機内モード**: 電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **データ通信設定**: データ通信設定については  P.66 「データ通信設定」
- **ネットワーク設定**: 次の設定を行うことができます。
 - **テザリング**: テザリングについては  P.30 「テザリング」
 - **VPN設定**: VPN設定については  P.66 「VPN（仮想プライベートネットワーク）」
 - **モバイルネットワーク**: モバイルネットワークについては  P.67 「モバイルネットワーク」
 - **デフォルトのSMS**: SMSを送受信するアプリを確認できます。
 - **プロキシ設定**: プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。

【機内モード】について

- [SIMカードをロック] が有効の場合は、緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。[SIMカードをロック] が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード] がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード] がONの場合でも、[Wi-Fi] や [Bluetooth] をONにすることができます。

データ通信設定

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [データ通信設定]

2 項目を選ぶ

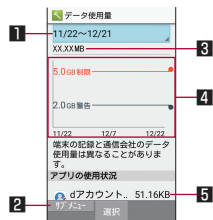
- **データ使用量**: データ使用量については  P.66 「データ使用量」
- **データ通信制限**: アプリごとにモバイルネットワークでの通信を制限します。

■ データ使用量

モバイルネットワーク経由やWi-Fi経由のデータ通信量を測定し、グラフで表示します。また、設定した通信量に達したときに警告を表示したり、それ以上データ通信を行わないように設定したりすることができます。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [データ通信設定] ▶ [データ使用量]

2 データ通信量を確認する



1 データ使用サイクル

- データ通信量の表示をリセットする日を設定します。

2 サブメニュー

- データ通信量に制限を設け、制限値に達した場合にデータ通信を停止したり、バックグラウンドで動作しているアプリのデータ通信を制限したりできます。Wi-Fi経由のデータ通信量の表示もできます。

3 指定期間内のデータ通信量

4 グラフ

- データ通信量を表示します。

5 アプリの使用状況

- データ通信を使用したアプリを表示します。

- データ通信量が [制限サイズ] に達し、データ通信が利用できなくなった場合は、データ使用量の画面で  ▶ [モバイルデータの制限] を無効にしたり、[制限サイズ] を変更したりすると、データ通信を再開できます。また、「モバイルデータが無効になりました。」と表示された場合は、[データ接続を有効にする] を選択すると、データ通信を再開できます。
- データ使用量で表示される通信量は携帯端末で記録した日安の数値となります。実際のモバイルネットワーク経由でのデータ通信量はMy docomoで確認できます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）

■ VPNの追加

VPN（Virtual Private Network）とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面のロックをロックNo.またはパスワードに設定しておいてください（ P.63 「セキュリティ」）。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [VPN設定]

2 ▶ [VPNプロフィールの追加]

3 各項目を設定 ▶

■ VPNの接続

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [VPN設定]

2 接続するVPNを選ぶ

3 VPNの接続情報を入力 ▶

■ VPNの切断

1 待受画面で ▶ ステータスバーを選ぶ

2 VPN有効化の通知を選ぶ ▶ [切断]

モバイルネットワーク

データ通信やデータローミング、アクセスポイントなどの設定をします。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [モバイルネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **データ通信を有効にする**：データ通信を利用するか設定します。
- **データローミング**：データローミングについては  P.81 「データローミング」
- **優先ネットワークモード**：優先ネットワークモードについては  P.81 「優先ネットワークモード」
- **アクセスポイント名**：アクセスポイント名については  P.67 「アクセスポイントの設定」
- **通信事業者**：通信事業者については  P.82 「通信事業者」

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用の際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

利用中のアクセスポイントを確認

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

アクセスポイントを追加で設定<新しいAPN>

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

2  ▶ [新しいAPN]

3 [名前] ▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶ 

4 [APN] ▶ アクセスポイント名を入力 ▶ 

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 ▶  ▶ [保存]

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

2  ▶ [初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

ドコモサービス

ドコモサービスの設定を行います。

1 待受画面で  ▶ [設定] ▶ [ドコモサービス]

2 項目を選ぶ

- **dアカウント設定**：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。
- **ドコモアプリ管理**：アプリのアップデートの確認などについて設定します。
- **ドコモアプリパスワード**：ドコモが提供するアプリで利用するパスワードを設定します。
- **オートGPS**：オートGPSについて設定します。
- **ドコモ位置情報**：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
- **端末エラー情報送信**：エラー情報をサーバーへ送信するか設定します。
- **遠隔初期化**：遠隔操作による端末内データなどを初期化するサービスを利用するための設定を行います。
- **USBデバッグ切替**：USBデバッグを有効にするか設定します。
- **あんしんマネージャー**：あんしんマネージャーの設定を行います。
- **オープンソースライセンス**：オープンソースライセンスを表示します。

- ドコモサービスに表示されるアプリの中には無効にすることができものがあり、無効にされたアプリは、起動できなくなる場合があります。

[ドコモアプリパスワード] について

- ドコモアプリパスワードは、お買い上げ時は [0000] に設定されています。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 待受画面で ▶[設定]▶[位置情報]

2 項目を選ぶ

- **位置情報**：位置情報を利用するか設定します。
 - 確認画面が表示された場合は、[同意する] / [同意しない] を選択してください。
 - 最近の位置情報リクエストがある場合は、選択するとアプリの情報を確認できます。

- 現在地を測位するためには、位置情報を [ON] に設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

■ GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、位置情報を [ON] に設定する必要があります (P.68「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい状態になります。誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内
 - 大雨や雪などの悪天候
 - かばんや箱の中
 - 端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
 - GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく内容が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得することがあります。

その他

日付と時刻、セルフチェックなどについて設定します。

1 待受画面で ▶[設定]▶[その他]

2 項目を選ぶ

- **NFC設定**：NFC設定についてはP.61「NFC設定」
- **アプリケーション**：アプリケーションについてはP.68「アプリケーション」
- **日付と時刻**：日付と時刻についてはP.69「日付と時刻」
- **セルフチェック**：セルフチェックについてはP.69「セルフチェック」
- **ストレージ**：ストレージについてはP.69「ストレージ」
- **言語 (Language)** を選択：日本語表示 / 英語表示を選択します。
- **アカウント**：利用するアカウントを確認できます。
- **端末情報**：端末情報についてはP.70「端末情報」
- **スクリーンセーバー**：スクリーンセーバーを利用するか設定します。
- **ソフトキーボード**：ソフトキーボードについてはP.70「ソフトキーボード」
- **ユーザー補助**：ユーザー補助についてはP.70「ユーザー補助」
- **オールリセット**：オールリセットについてはP.70「オールリセット」

[言語 (Language) を選択] について

- 言語変更をしたときに時間がかかる場合があります。

アプリケーション

アプリの名前やバージョン、メモリの使用状況などの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。

1 待受画面で ▶[設定]▶[その他]▶[アプリケーション]

2 アプリを選ぶ

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずに起動させないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 待受画面で ▶[設定]▶[その他]▶[アプリケーション]

2 アプリを選ぶ▶[無効にする]▶[はい]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

1 待受画面で ▶[設定]▶[その他]▶[アプリケーション]

2 アプリを選ぶ▶[有効にする]

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日時の自動設定**：日時を自動的に補正するか設定します。
- **タイムゾーンの自動設定**：ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **日付設定**：日付を手動で設定します。
- **時刻設定**：時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーンの選択**：タイムゾーンを手動で設定します。
- **24時間表示**：12時間制／24時間制を切り替えます。

【日時の自動設定】を有効にしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

セルフチェック

端末のセルフチェックを行います。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [セルフチェック]

2 ▶ 項目を選ぶ ▶

- セーフモードで再起動：  ▶ [OK]

3

- 表示項目の診断開始： 
- 診断の中止：  ▶ [はい] / [次の項目]
- 診断履歴を選択すると、結果を確認することができます。

ストレージ

microSDカードや端末などの空き容量の確認、情報更新などができます。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [ストレージ]

2 項目を選ぶ

- **microSDをマウント／microSDのマウント解除**：microSDカードをマウント／マウント解除します。
- **microSD内データを消去**：microSDカードを初期化します。
- **microSDの暗号化／microSDの暗号化解除**：microSDカードの暗号化／暗号化解除をします。
- **情報更新**：コンテンツの情報を更新します。
- **USB接続**：USB接続についてはP.69「USB接続」

【microSDをマウント】、【microSDのマウント解除】について

- microSDカードの取り付け／取り外しは、microSDカードをマウント解除し、電源を切ってから行ってください。

【microSD内データを消去】について

- 初期化を行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

【microSDの暗号化】、【microSDの暗号化解除】について

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態でオールリセットを行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。オールリセットを行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

■ USB接続

端末をmicroUSB接続ケーブル 01（別売）でパソコンに接続して利用するときの設定を変更します。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [ストレージ] ▶ [USB接続]

2 項目を選ぶ

- **MTPモード**：MTP対応のパソコンで本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送するときのモードです。
- **PTPモード**：PTP対応のパソコンで本体メモリに画像を転送するときのモードです。
- **カードリーダーモード**：端末に挿入したmicroSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用するときのモードです。

- 大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 待受画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報]

2 項目を選ぶ

- **ビルド番号**：ビルド番号を確認できます。
- **端末の状態**：電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- **ソフトウェア更新**：ソフトウェア更新についてはP.90「ソフトウェア更新」
- **法的情報**：著作権情報、オープンソースライセンスを確認できます。
- **認証**：技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **モデル番号**：モデル番号を確認できます。
- **OSバージョン**：OSバージョンを確認できます。
- **OSセキュリティパッチ**：OSセキュリティパッチのバージョンを確認できます。
- **ベースバンドバージョン**：ベースバンドバージョンを確認できます。
- **カーネルバージョン**：カーネルバージョンを確認できます。

ソフトキーボード

S-Shoin、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 待受画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [ソフトキーボード]

2 項目を選ぶ

- **S-Shoin**：S-Shoinを利用するか設定します。設定できる各項目についてはP.26「文字入力の設定」
- **テキスト読み上げの出力**：端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
※日本語には対応していません。
- **ポインタの速度**：ポインタの速度を設定します。
- **送信時文字コード設定**：アプリからデータ送信するときの文字コードを設定します。
- **現在のキーボード**：文字入力時に使用する入力ソフトを設定します。

キーボードについて

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

1 待受画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **通知連携 (PASSNOW)**：通知連携 (PASSNOW) を利用するか設定します。
- **KeyTranslator**：KeyTranslatorを利用するか設定します。
- **字幕**：字幕の表示について設定します。
- **大きい文字サイズ**：端末に表示される文字のサイズを大きくするか設定します。
- **パスワードの音声出力**：パスワードの音声出力を利用するか設定します。
- **テキスト読み上げの出力**：端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
※日本語には対応していません。

オールリセット

本体メモリ内のすべてのデータを消去します。

1 待受画面で [設定] ▶ [その他] ▶ [オールリセット]

2 [携帯端末をリセット] ▶ 暗証番号を入力 ▶ [すべて消去]

- [microSD内データも消去する] を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。

- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 設定メニューで設定した内容
 - ダウンロードしたアプリ

- 電池残量が19%以下の場合はオールリセットできません。

本体メモリ（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。

- **Alarms**：アラーム音などが保存されます。
- **Android**：インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
- **DCIM**：端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
- **Download**：ウェブブラウザでダウンロードしたファイルが保存されます。
- **Movies**：動画などが保存されます。
- **Music**：音楽データなどが保存されます。
- **Notifications**：お知らせ音などが保存されます。
- **Pictures**：静止画などが保存されます。
- **Podcasts**：ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
- **PRIVATE**：静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
- **Ringtones**：着信音などが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-01Jでは市販の2GBバイトまでのmicroSDカード、32GBバイトまでのmicroSDHCカード、256GBバイトまでのmicroSDXCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大Class10まで使用できます（2016年9月現在）。

※スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh01j/peripherals.html#!/microsd_support

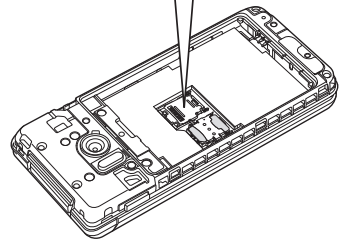
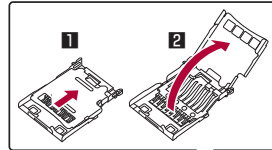
- 利用できるファイルのサイズは、1ファイル2GBバイトまでです。
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後（端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります（※P.69「ストレージ」）。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管して下さるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切って、背面を上向きにし、リアカバー（※P.11「リアカバーの取り外しかた」）、電池パック（※P.22「電池パックの取り外しかた」）を取り外してから行ってください。端末は閉じた状態で手でしっかり持ってください。取り付け／取り外しが終わったら、リアカバー（※P.11「リアカバーの取り付けかた」）、電池パック（※P.22「電池パックの取り付けかた」）を取り付けてください。

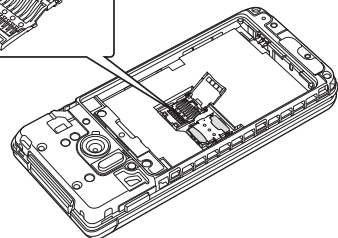
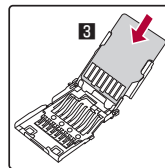
■ microSDカードの取り付けかた

1 microSDカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)

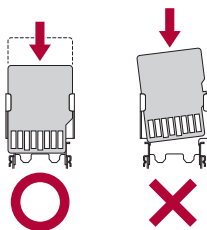
- 「カチッ」と音がするまで、microSDカードスロットカバーをスライドさせてください。



2 microSDカードの金属端子面を上に向けてゆっくりと挿入する(3)

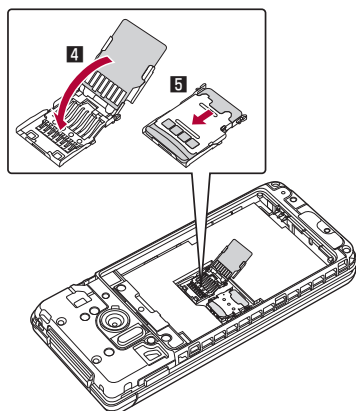


- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に押し込まないでください。microSDカードスロットカバーが破損することがあります。



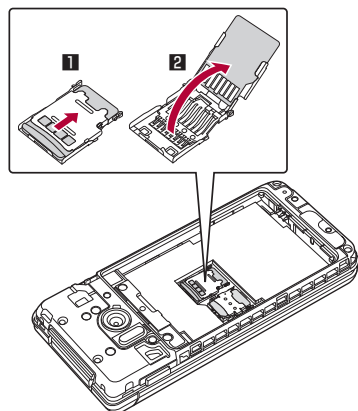
3 microSDカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)

- 「カチッ」と音がするまで、microSDカードスロットカバーをスライドさせてください。



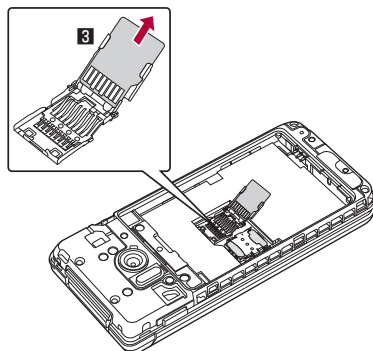
■ microSDカードの取り外しかた

1 microSDカードスロットカバーをスライドさせてロックを外し(1)、開く(2)

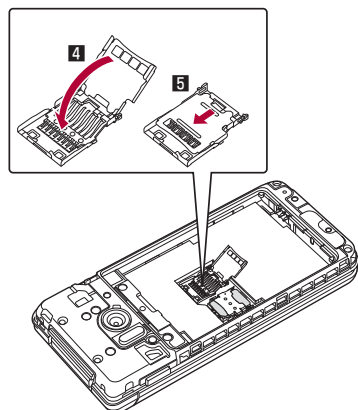


2 microSDカードを取り外す(3)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



3 microSDカードスロットカバーを閉じ(4)、スライドさせてロックする(5)



ファイル操作

本体メモリまたはmicroSDカードに保存されたデータを種類ごとに分類して、再生／表示、管理をすることができます。

1 待受画面で ▶[データ]

2 カテゴリを選ぶ

- **写真**：カメラで撮影した静止画を表示します。
- **画像**：ダウンロードした画像などを表示します。
- **音楽**：音楽などを表示します。
- **動画**：動画を表示します。
- **書類**：パソコンなどで作成されたMicrosoft Word／Excel／PowerPointやPDFのデータ、テキストデータを表示します。
- **その他**：その他のデータを表示します。
- **ユーザーフォルダ**：ユーザーフォルダを表示します。

3 データを選ぶ

- データの種類に応じたアプリが起動し、データを再生／表示します。

- データBOXで表示されるデータの中には、表示や再生ができないものもあります。
- データサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できなかったりすることがあります。

データ保存先の表示変更

1 待受画面で ▶[データ]

2 カテゴリを選ぶ

3 ▶[本体+microSD]／[本体]／[microSD]

- ユーザーフォルダでは利用できません。

データのサブメニュー操作

- メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

1 データー一覧画面で

2 項目を選ぶ

- **表示切替**：リスト／グリッド／プレビュー表示を切り替えます。
- **フォルダー一覧／コンテンツ一覧**：表示をフォルダー一覧／コンテンツ一覧に切り替えます。
- **画像編集**：画像編集についてはP.73「画像の編集」
- **送信**：選択したデータをメール添付や赤外線送信、Bluetooth送信、PASSNOWなどで送信できます。
 - PASSNOWでペア設定済みの場合は、を押してペア設定したタブレットに選択中の画像を送信できます。
- **移動・コピー**：移動／コピーについてはP.73「データの移動／コピー」
- **1件削除**：選択した1件のデータを削除します。
- **選択削除**：選択したデータを削除します。
- **ソート**：保存されているデータの並び順を変更します。
- **画像を登録**：壁紙や電話帳に画像を登録します。
- **登録**：音楽データを着信音などに登録します。
- **メモリ使用状況**：microSDカードと本体メモリの容量を表示します。
- **詳細情報**：選択したデータの詳細情報を表示します。

【画像を登録】について

- 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

データの移動／コピー

本体メモリまたはmicroSDカードに保存したデータの保存場所を移動したり、コピーしたりできます。

1 データー一覧画面で

2 [移動・コピー]

3 [microSDへ移動]／[microSDへコピー]／[本体へ移動]／[本体へコピー]／[ユーザーフォルダへ移動]／[ユーザーフォルダへコピー]

4 移動／コピーするデータを選ぶ

- すべてのデータを選択：
- すべてのデータを選択解除：

5

- ユーザーフォルダへ移動／コピーする場合は、移動／コピー先のフォルダを選択します。

ユーザーフォルダのサブメニュー操作

1 待受画面で ▶[データ]▶[ユーザーフォルダ]▶

2 項目を選ぶ

- **フォルダ名編集**：フォルダ名を編集します。
- **フォルダ作成**：新規フォルダを作成します。
- **フォルダ削除**：フォルダを削除します。フォルダ内のデータも削除されます。

画像の編集

1 データー一覧画面で静止画を選ぶ▶

2 [画像編集]▶

3 項目を選ぶ

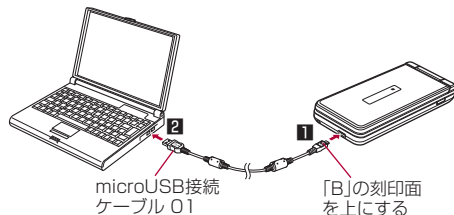
- **トリミング**：静止画を切り取ります。
- **リサイズ**：静止画のサイズを変更します。
- **回転**：静止画を回転させます。
- **鏡**：静止画を鏡に映したように上下左右に反転させます。
- **エフェクト**：静止画にモノクロや魚眼、ミニチュアなどの効果を与えます。
- **補正効果**：静止画の明るさやシャープネスなどを補正します。
- **日付スタンプ**：静止画に日付スタンプを追加します。
- **顔かくし**：顔と認識された静止画に処理を施してかくします。

パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、microSDカードをパソコンの外部メモリとして利用したり、データ転送をしたりできます。

端末とパソコンの接続方法

- 1 microUSB接続ケーブル 01 (別売)のmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む(1)
- 2 microUSB接続ケーブル 01のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む(2)
 - USB接続のモードについてはP.69「USB接続」
 - デザリング設定についてはP.30「デザリング」



- USBケーブルはmicroUSB接続ケーブル 01をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはプラグ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、microUSB接続ケーブル 01を取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows Vista、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 (いずれも日本語版) です。

microSDリーダーライター

microSDカードを、パソコンの外部メモリとして使用できます。

- あらかじめmicroSDカードを挿入し、USB接続のモードを[カードリーダーモード] に設定しておいてください (P.69「USB接続」)。

- 1 端末をmicroUSB接続ケーブル 01でパソコンに接続する
 - USBマストレージ画面が表示されます。表示されない場合は、待受画面で②▶ステータスバーを選ぶ▶[USB接続]を選択してください。
- 2 [USBストレージをONにする]
 - 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK] を選択してください。
- 3 microSDリーダーライターとして利用する
- 4 利用が終わったら、パソコンでハードウェアの安全な取り外しを行う
- 5 [USBストレージをOFFにする]
- 6 microUSB接続ケーブル 01を端末とパソコンから取り外す

- microSDリーダーライターとして利用中は、アプリでmicroSDカードを利用できません。また、アプリでmicroSDカードを利用中は、microSDリーダーライターとして利用できない場合があります。

データ転送

パソコンから本体メモリまたはmicroSDカードにデータを転送することができます。

- あらかじめUSB接続のモードを[MTPモード]または[PTPモード] に設定しておいてください (P.69「USB接続」)。

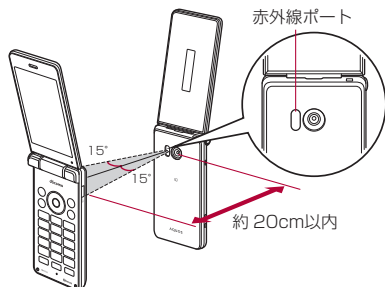
- 1 端末をmicroUSB接続ケーブル 01でパソコンに接続する
- 2 データを転送する
- 3 利用が終わったら、microUSB接続ケーブル 01を端末とパソコンから取り外す

赤外線通信

赤外線を利用して、携帯電話など他の機器とデータをやりとりできます。

赤外線送受信のご利用にあたって

- 本端末と相手側の機器を近づけ、双方の赤外線ポートが約20cm以内にまっすぐ向き合うようにしてください。



- 赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- 機内モード中は赤外線通信できません。
- 全件データの送受信には、認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな4桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかな布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。また、本端末を閉じないでください。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。

赤外線送受信

■ データを1件受信

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [赤外線]
- 2 [1件受信]
- 3 相手機器でデータ送信の操作を行う
- 4 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ [はい] ▶ [はい]

■ データを全件受信

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [赤外線]
- 2 [全件受信]
- 3 認証パスワードを入力 ▶ [決定]
- 4 相手機器でデータ送信の操作を行う
- 5 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ [はい] ▶ [はい]

- 受信操作が終わると、受信待ち状態になります。約60秒以内に送信側の端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。
- 全件受信時に受信完了後の確認画面で [はい] を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

■ データを選んで送信

例：静止画のとき

- 1 待受画面で ▶ [データ]
- 2 静止画を選ぶ
- 3 ▶ [送信] ▶ [赤外線送信]
- 4 相手機器でデータ受信の操作を行う
- 5 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ [はい]

■ データを全件送信

例：電話帳のとき

- 1 待受画面で ▶ [ツール] ▶ [赤外線]
- 2 [全件送信] ▶ [電話帳]
- 3 認証パスワードを入力 ▶ [決定]
- 4 相手機器でデータ受信の操作を行う
- 5 本端末と相手機器の赤外線ポートを合わせる ▶ [はい]

Bluetooth®通信

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

■ 仕様

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.4.1※1

■ 出力

Bluetooth標準規格 Power Class 1

■ 対応プロファイル※2（対応サービス）

HSP: Headset Profile（ヘッドセットプロファイル）※3

HFP: Hands Free Profile（ハンズフリープロファイル）※4

A2DP: Advanced Audio Distribution Profile（アドバンス

ドオーディオディストリビューションプロファイル）※5

AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile（オーディ

オ/ビデオリモートコントロールプロファイル）※5

HID: Human Interface Device Profile（ヒューマンインター

フェイスデバイスプロファイル）※6

OPP: Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロフ

ァイル）※7

SPP: Serial Port Profile（シリアルポートプロファイ

ル）※8

PBAP: Phone Book Access Profile（フォンプブックアク

セスプロファイル）※9

PAN: Personal Area Networking Profile（パーソナルエ

リアネットワークプロファイル）※10

HOGP: HID Over GATT Profile（エイチアイディーオーバ

ガットプロファイル）※11

- ※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やテレビの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※7 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※8 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※9 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※10 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetoothテザリングを行うこともできます。

- ※11 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、テレビなどの音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できない場合があります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

- 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。

- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [Bluetooth]

2 [Bluetooth]

3 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- 他のBluetooth機器に表示／非表示：[SH-01J]
 - ・表示のタイムアウトで設定した時間が経過すると、自動的に非表示になります。
- Bluetooth機器を検索：  ▶ [更新]
- ペア設定済みのBluetooth機器にカーソルを合わせて  を押すと、相手のBluetooth機器の名前や使用目的を変更できます。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- Bluetooth機能を [ON] にすると、他のBluetooth機器からの登録要求／接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索できるようにするには、あらかじめ他のBluetooth機器に表示されるよう設定しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください（取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています）。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 待受画面で ▶ 通知アイコン を選ぶ ▶ [ペア設定リクエスト] ▶ [ペア設定する]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は [ペア設定する] を選択してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器にカーソルを合わせる ▶ ▶

■ Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ ▶ [OK]

■ Bluetooth画面のサブメニュー操作

- Bluetooth機能を [ON] にしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で

2 項目を選ぶ

- **更新**：Bluetooth機器を検索します。
- **この端末の名前を変更**：本端末の名称を変更します。
- **Qualcomm® aptX™**：Qualcomm aptX audioを利用するが設定します。
- **受信済みファイルを表示**：Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例：静止画のとき

1 待受画面で ▶ [データ]

2 静止画を選ぶ

3 ▶ [送信] ▶ [Bluetooth送信]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 待受画面で ▶ ステータスバーを選ぶ ▶ 着信通知を選ぶ ▶ [承諾]

3 待受画面で ▶ ステータスバーを選ぶ ▶ 受信通知を選ぶ ▶ 受信したデータを選ぶ

- 全件受信時に [削除して登録] を選択すると、登録していた該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

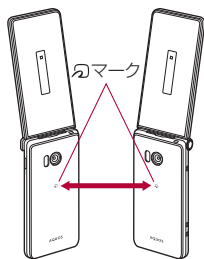
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

Androidビーム

Reader／Writer、P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ[Reader／Writer、P2P]を有効にし、[Androidビーム]をONにしておいてください（[P.61「NFC設定」](#)）。
- 機内モードやおサイフケータイロックを設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- 次の場合はAndroidビームによるデータの送信ができないことがあります。
 - 充電中
 - イヤホンマイク接続中
 - microUSB接続ケーブル01（別売）でパソコンに接続中
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- すべてのReader／Writer、P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■ Androidビームのご利用にあたって



- 図のように受信側と送信側の端末のNマークを重ね合わせてご利用ください。
データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。
そのときは、Nマークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- その他の注意事項は対向機にかざす際の注意事項と同様です（[P.61「対向機にかざす際の注意事項」](#)）。

■ データを送信

例：電話帳のとき

- 1 ホーム画面で ▶ [電話機能] ▶ [電話帳]
- 2 名前を選ぶ
- 3 相手の端末とNマークを重ね合わせる
 - [決定キーでビーム]が表示されます。
- 4

■ データを受信

- 1 相手の端末とNマークを重ね合わせる

災害用伝言板

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生したときに、安否情報の登録と確認ができるサービスです。

本端末から文字でお客様の安否情報を登録し、家族などの携帯電話、パソコンなどから安否情報の確認ができます。

災害用伝言板の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で ▶ [あんしん] ▶ [災害用伝言板]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

災害用音声お届けサービス

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生したときに、安否情報を音声メッセージでお届けできるサービスです。

本端末で音声を録音し、音声メッセージとしてお客様の安否情報を家族などにお届けできます。

災害用音声お届けサービスの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

メッセージの送信

1 待受画面で ▶ [あんしん] ▶ [災害用音声お届けサービス]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、を押してください。

2 [音声メッセージの送信] ▶ 送信先選択方法を選ぶ ▶ 電話番号を入力 ▶

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージの確認

1 待受画面で ▶ [あんしん] ▶ [災害用音声お届けサービス]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、を押してください。

2 [新着音声メッセージの確認]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」は、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールが送られてきたときは自動的に受信し、メインディスプレイの表示状態や画面のロック設定中にかかわらず内容を表示します。

- 端末の状態によっては、受信できないことや自動表示しないことがあります。

- 次の場合は、受信できません。

- 電源が切れているとき
- 圏外時
- 国際ローミング中
- 機内モード中
- 通話中※

※VoLTEを利用した音声通話中は受信できます。

- 次の場合は、受信しないことがあります。

- パケット通信中
- Wi-Fiテザリング中
- USBテザリング中

- ソフトウェア更新中

- 次の場合は、受信しても専用ブザー音、専用着信音、バイブレータは鳴動しません。

- 通話中

- 次の場合は、受信しても自動表示しないことがあります。

- パケット通信中

- ソフトウェア更新中

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。

1 エリアメールを自動的に受信

2 専用ブザー音または専用着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示される

■ 受信したエリアメールをあとで確認する

1 待受画面で を選ぶ

- 待受画面で  ▶ [あんしん] ▶ [緊急速報「エリアメール」] でも確認できます。

2 受信したエリアメールを選ぶ

- spモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。
エリアメール（津波警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。
- エリアメールは50件まで保存できます。
- 本体メモリに保存したエリアメールが最大保存件数を超えた場合は、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。

緊急速報「エリアメール」の設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 待受画面で ▶ [あんしん] ▶ [緊急速報「エリアメール」]

2 ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- 受信設定**：エリアメールを受信するか設定します。
- 着信音**：鳴動時間、マナーモード中の動作について設定します。
- 受信画面および着信音確認**：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面および着信音を確認できます。
- やさしい日本語表示**：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するか設定します。

- 緊急地震速報のブザー音や津波警報、災害・避難情報の専用着信音、着信音量、バイブレータの設定は変更できません。

緊急速報「エリアメール」の削除

1 待受画面で ▶ [あんしん] ▶ [緊急速報「エリアメール」]

2 エリアメールにカーソルを合わせる ▶

- すべてのエリアメールを選択：

3 ▶ [OK]

あんしんモード

お子様に安心して本端末をご利用いただけるように、各機能を制限することができます。

1 待受画面で[あんしん] ▶ [あんしんモード]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[同意する]を選択してください。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 あんしんモードのパスワードを入力 ▶ [このアプリを起動]

- あんしんモードのパスワードがお買い上げ時の「0000」の場合や秘密の質問が未設定の場合は、確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

3 項目を選ぶ

- **あんしんモード**：あんしんモードを利用するか設定します。
- **ルール設定**：お子様の年代にあわせ小学生／中学生／高校生の利用レベルでのルールを設定します。
- **アプリ起動制限**：アプリの起動を制限するか設定します。
- **アプリインストール制限**：アプリのインストールを許可するか設定します。
- **Wi-Fi接続制限**：Wi-Fi接続を制限するか設定します。
- **端末設定変更の制限**：本体設定の変更を許可するか設定します。
- **パスワードと秘密の質問**：あんしんモードのパスワードとパスワードを忘れたときにリセットを行うための秘密の質問を設定します。
- **あんしんモードの初期化**：あんしんモードの設定を初期化します。

家族あんしん通知

設定時刻になると、登録した送信先にSMSで情報を送信します。本端末をご利用になっている方のご様子を、本端末のご利用状況を通じて、離れたところからでもご確認くださいことができます。

- 送信先は3件まで、送信時刻は3回まで登録できます。

1 待受画面で[あんしん] ▶ [家族あんしん通知]

2 項目を選ぶ

- **家族あんしん通知**：家族あんしん通知を利用するか設定します。
- **送信先**：SMSの送信先を設定します。
- **送信時刻**：SMSの送信時刻を設定します。
- **歩数**：当日の送信時刻までの歩数を送信するか設定します。
- **端末開いた回数**：当日の送信時刻までの端末を開いた回数を送信するか設定します。
- **電池残量**：電池残量を送信するか設定します。
- **電話発着信回数**：当日の送信時刻までの電話の発着信回数を送信するか設定します。
- **通話時間**：当日の送信時刻までの通話時間を送信するか設定します。

長エネスイッチ

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 待受画面で[あんしん] ▶ [長エネスイッチ]

2 項目を選ぶ

- **長エネスイッチ**：長エネスイッチを利用するか設定します。
- **長エネスイッチの概要**：機能の説明を表示します。
- **詳細設定**：制限する機能を個別に設定します。
- **電池残量で切替**：設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動で[ON]にするか設定します。
- **切替条件設定**：[電池残量で切替]で長エネスイッチを[ON]にする電池残量を設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチは[OFF]になります。
- [電池残量で切替]によって長エネスイッチが[ON]になっているとき、[電池残量で切替]を無効にしても長エネスイッチは[OFF]になりません。

あんしんスキャン

ドコモあんしんスキャンとは、詐欺や危険サイトアクセス時の注意喚起により、本端末を安心してご利用いただくためのアプリです。

1 待受画面で[あんしん] ▶ [あんしんスキャン]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

- ドコモあんしんスキャンは、あんしんネットセキュリティのお申し込みが必要な有料サービスです。
- ドコモあんしんスキャンの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

あんしんナンバーチェック

しつこいセールスなどの迷惑な電話や、詐欺・架空請求などの危険な電話の可能性が高い電話番号からの着信を事前にお知らせするアプリです。

1 待受画面で[あんしん] ▶ [あんしんナンバーチェック]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

- あんしんナンバーチェックは、あんしんネットセキュリティのお申し込みが必要な有料サービスです。
- あんしんナンバーチェックの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

海外利用

海外滞在中に本端末で電話をかけたり、国際ローミング時やネットワークサービスなどについて設定することができます。

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。ご利用可能エリアをご確認ください。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)	LTE
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
メール*	○	○	○	○
ウェブブラウザ*	○	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングを [ON] にしてください (※P.81「データローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます (※P.18「ステータスパネルの利用」)。

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

料金について

- 海外でのご利用料金 (通話料、パケット通信料) は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

■ 事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を「開始」にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます (※P.83「ローミング中のネットワークサービス」)。日本国内での遠隔操作設定については※P.37「ネットワークサービス」
- 設定/解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

■ 滞在国内の確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

通信事業者 (※P.82「通信事業者」) を [自動的に選択] に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

データローミング

ローミング時にデータ通信を利用するか設定します。

- 海外でパケット通信を行うためには、データローミングを [ON] にする必要があります。

- 1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [データローミング]
- 2 [ON] / [OFF]
 - 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK] を選択してください。

優先ネットワークモード

使用するネットワークを確認できます。

- 1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [優先ネットワークモード]
- 2 項目を選ぶ
 - 4G/3G/GSM (自動) : 利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
 - 3G/GSM : 3G/GSM/GPRSネットワークを利用します。
 - GSM : GSM/GPRSネットワークを利用します。

通信事業者

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 待受画面で ▶ [設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [通信事業者]

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK] を選択してください。
- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、データ通信を有効にするを [OFF] にし (※P.67「モバイルネットワーク」)、再度操作してください。

2 通信事業者を選ぶ

- 通信事業者の再検索: [ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択: [自動的に選択]

日付と時刻

日付と時刻の [日時の自動設定]、[タイムゾーンの自動設定] を有効にしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については※P.69「日付と時刻」

お問い合わせ

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様ののご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 待受画面で「+」()を1秒以上)、国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。
- 電話番号を入力▶▶[発信オプション]▶[国際電話発信]▶[ON]▶[国番号]でも国番号を入力できます。
 - 地域番号(市外局番)の最初の「0」は削除されます。

- 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては [通知不可] や [非通知設定] など正しく番号表示されないことがあります。

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国外から他の国へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストを設定しておいてください。
- 電話番号の先頭の「0」が国番号で設定している国番号に自動的に変換されます。

1 待受画面で電話番号を入力▶

2 [変換後の番号で発信]

■ 国際ダイヤルアシストの設定

1 待受画面で ▶ [電話機能] ▶ [発信・通話設定] ▶ [海外設定] ▶ [国際ダイヤルアシスト]

2 項目を選ぶ

- 自動変換機能**: 国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
- 国番号**: 自動変換機能で使用する国番号を選択します。
- 国際プレフィックス**: 自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。

滞在国内に電話をかける

滞在国内で国内電話をかけるときは、日本国内にいたときと同様の操作で電話をかけることができます。

- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

海外でWORLD WING利用中の相手に電話をかけるときは、滞在国内外にかかわらず、日本への国際電話として電話をかけます。

1 待受画面で「+」()を1秒以上)、日本の国番号「81」、先頭の「0」を除いた相手先携帯電話番号を入力▶

海外で電話を受ける

海外でも、日本国内にいたときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 国際ローミング中に電話がかかってきたときは、日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 相手からの電話のかけかた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいたときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。

日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90 (または80、70)-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

海外設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定]
▶ [海外設定]

2 項目を選ぶ

- **ローミング時着信規制**：国際ローミング中に着信を規制することができます。
- **ローミング着信通知**：渡航中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイドンス**：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドンスを流すことができます。
- **国際ダイヤルアシスト**：国際ダイヤルアシストについては  P.82 「国際ダイヤルアシストの設定」
- **ネットワークサービス**：ネットワークサービスについては  P.83 「ローミング中のネットワークサービス」

ローミング中のネットワークサービス

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」を「開始」にする必要があります ( P.37 「ネットワークサービス」)。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 待受画面で  ▶ [電話機能] ▶ [発着信・通話設定]
▶ [海外設定] ▶ [ネットワークサービス]

2 項目を選ぶ

- **遠隔操作 (有料)**：遠隔操作を開始するか設定します。
- **番号通知お願いサービス (有料)**：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイドンスを流します。
- **ローミング着信通知 (有料)**：渡航中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイドンス (有料)**：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドンスを流すことができます。
- **留守番電話サービス (有料)**：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。(お申込み必要)
- **転送でんわサービス (有料)**：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。(お申込み必要)

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。

接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 優先ネットワークモードを [4G/3G/GSM (自動)] に設定してください ( P.81 「優先ネットワークモード」)。
- 通信事業者を [自動的に選択] に設定してください ( P.82 「通信事業者」)。

メニュー一覧

ノーマルメニュー一覧

- メニューに項目番号が表示されている場合、同じ番号のダイヤルキーを押すと、メニューを選択することができます。

■ メール

機能メニュー	ページ
メール	P.40
SMS	P.41
PCメール	P.42

■ Web

機能メニュー	ページ
dメニュー・検索	P.43
ブックマーク	P.44
サイト閲覧履歴	P.44
Google検索	P.44
ブラウザ起動	P.44
ブラウザ設定	P.45
ダウンロード	P.45

■ あんしん

機能メニュー	ページ
災害用伝言板	P.79
災害用音声お届けサービス	P.79
緊急速報「エリアメール」	P.79
あんしんモード	P.80
家族あんしん通知	P.80
長エネスイッチ	P.80
あんしんスキャン	P.80
あんしんナンバーチェック	P.80

■ カメラ／TV／音楽

機能メニュー	ページ
カメラ	P.47
ビデオカメラ	P.48
バーコードリーダー	P.49
テレビ（ワンセグ）	P.50
ミュージック	P.51

■ データ

- データについてはP.73「ファイル操作」

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイについてはP.60「おサイフケータイ」

■ 電話機能

■ 設定

機能メニュー		ページ
その他	NFC設定	P.61
	アプリケーション	P.68
	日付と時刻	P.69
	セルフチェック	P.69
	ストレージ	P.69
	言語 (Language) を選択	P.68
	アカウント	P.68
	端末情報	P.70
	スクリーンセーバー	P.68
	ソフトキーボード	P.70
	ユーザー補助	P.70
	オールリセット	P.70

■ ツール

機能メニュー		ページ
LINE		P.52
電卓		P.52
アラーム		P.53
タイマー		P.53
ストップウォッチ		P.54
世界時計		P.54
スケジュール		P.54
メモ		P.55
地図		P.55
歩数計		P.55
PASSNOW (タブレット連携)		P.56
赤外線		P.75
データ引継		P.58
SDカードバックアップ		P.59
ケータイデータお預かりサービス		P.60
トルカ		P.61
取扱説明書		P.60
タッチクルーザーEX操作ガイド		P.19
ウィジェットシート		P.60

■ i コンシェル

- i コンシェルの設定ができます。

■ プロフィール

- プロフィールについてはP.19「プロフィール」

■ SHSHOW

- コンテンツのダウンロードや閲覧などができます。

シンプルメニュー一覧

■ 電話

機能メニュー		ページ
電話帳の表示		P.38
電話帳に登録		P.38
リダイヤル		P.36
着信履歴		P.36
音声・伝言メモ		P.36
自分の電話番号		P.19
発着信・通話設定		P.37

■ メール

機能メニュー		ページ
メールの作成		P.40
受信メール		P.41
送信メール		P.40
メール問い合わせ		P.41
SMSの作成		P.41
SMS一覧		P.41

■ Web

機能メニュー		ページ
dメニュー・検索		P.43
ブックマーク		P.44
サイト閲覧履歴		P.44

■ カメラ

機能メニュー		ページ
写真を撮る		P.47
写真を見る		P.73
バーコードリーダー		P.49

■ 便利ツール

機能メニュー		ページ
LINE		P.52
電卓		P.52
アラーム		P.53
赤外線		P.75
スケジュール		P.54
メモ		P.55
地図		P.55
歩数計		P.55
取扱説明書		P.60

■ 設定

機能メニュー		ページ
音・バイブ	マナーモード設定	P.63
	音量	P.63
	着信音・お知らせ音	P.63
	全般	P.63
	通知	P.63
壁紙・ディスプレイ	待受画面・壁紙	P.62
	画面の明るさ	P.62
	バックライト点灯時間	P.62
	文字サイズ・フォント	P.62
	のぞき見防止	P.62
	リラックス画質	P.62
	サブディスプレイ	P.62
セキュリティ	セキュリティキー設定	P.65
	画面のロック	P.63
	音声発信制限	P.64
	シークレット設定	P.64
	SIMカードロック設定	P.65
	提供元不明のアプリ	P.63
	高度な設定	P.65

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（※P.90「ソフトウェア更新」）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
 - ・ 電池パックが正しく取り付けられていますか。〔※P.22「電池パック」〕
 - ・ 電池切れになっていませんか。〔※P.23「充電」〕
- 画面が動かない、電源が切れない
 - ・  を8秒以上押し、強制的に電源を切ることができます。
※強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
 - 充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - ・ 電池パックが正しく取り付けられていますか。〔※P.22「電池パック」〕
 - ・ アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。〔※P.24「ACアダプタ／DCアダプタで充電」〕
 - ・ アダプタと本端末が正しくセットされていますか。〔※P.24「ACアダプタ／DCアダプタで充電」〕
 - ・ ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末または付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。〔※P.23「卓上ホルダで充電」、P.24「ACアダプタ／DCアダプタで充電」〕
 - ・ 卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
 - ・ 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。〔※P.23「充電時のご注意」〕
 - ・ NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

- アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）
 - ・ 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。〔※P.68「アプリの有効」〕
- 操作中・充電中に熱くなる
 - ・ 操作中や充電中、また、充電しながらテレビ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。〔※P.23「充電時のご注意」〕

- 電池の使用時間が短い
 - ・ 圏外の状態が長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
 - ・ 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.92「主な仕様」
 - ・ 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すことに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。☞P.23「電池パックの寿命」
 - 電源断・再起動が起きる
 - ・ 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
 - ・ ドコモnanoUIMカードのIC部分が汚れていませんか。☞P.21「ドコモnanoUIMカード」
 - キーを押しても動作しない
 - ・ 端末の電源が切れていませんか。☞P.25「電源を入れる」
 - キーを押したときの画面の反応が遅い
 - ・ 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞P.69「ストレージ」
 - ドコモnanoUIMカードが認識しない
 - ・ ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。☞P.21「ドコモnanoUIMカード」
 - 時計がずれる
 - ・ 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日時の自動設定]が有効になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞P.69「日付と時刻」
 - 端末動作が不安定
 - ・ ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - ・ セーフモードの起動方法
電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面で待受画面が表示されるまで[]を押し続けてください。
※電源を入れた状態で[]（1秒以上）▶[電源を切る]にカーソルを合わせる▶[]（1秒以上）▶[OK]でも、セーフモードで再起動ができます。
また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。☞P.69「セルフチェック」
※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。
※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - ・ 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
 - ・ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
 - ・ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
- ## ■ 通話
- キーを押しても発信できない
 - ・ [音声発信制限]を有効にしていますか。☞P.64「音声発信制限」
 - ・ 機内モードを設定していませんか。☞P.66「ネットワーク」
 - 着信音が鳴らない
 - ・ 音量の電話着信を[サイレント]にしていますか。☞P.63「音・バイブ」
 - ・ 公共モード（電源OFF）、マナーモード、機内モードを設定していませんか。☞P.37「ネットワークサービス」、P.63「マナーモード設定」、P.66「ネットワーク」
 - ・ 呼出動作開始時間設定、着信拒否設定を設定していませんか。☞P.37「着信設定」、P.37「着信拒否設定」
 - ・ 応答時間設定を「0秒」にしていますか。☞P.36「音声・伝言メモ」
 - ・ 留守番電話サービスの呼出時間設定または転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていますか。☞P.37「ネットワークサービス」
 - 通話ができない（場所を移動しても[]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
 - ・ 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモnanoUIMカードを入れ直してください。☞P.21「ドコモnanoUIMカード」、P.22「電池パック」、P.25「電源を入れる／切る」
 - ・ 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
 - ・ 着信拒否なども着信制限を設定していませんか。☞P.37「着信拒否設定」
 - ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
- ## ■ 画面
- メインディスプレイが暗い
 - ・ バックライト点灯時間を短く設定していませんか。☞P.62「壁紙・ディスプレイ」
 - ・ 画面の明るさを変更していませんか。☞P.62「画面の明るさ」
 - ・ [のぞき見防止]を有効にしていますか。☞P.62「のぞき見防止」
- ## ■ 音声
- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - ・ 音量の受話音量を変更していませんか。☞P.63「音・バイブ」
- ## ■ メール
- メールを自動で受信しない
 - ・ 自動通信設定を[毎回確認する]または[OFF]に設定していませんか。☞P.41「ドコモメールの受信」
- ## ■ カメラ
- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
 - ・ 近くの被写体を撮影するときは、詳細設定のフォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。☞P.48「詳細設定」、☞P.49「詳細設定」
 - ・ カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.46「カメラをご利用になる前に」
 - ・ 静止画撮影時に人物を撮影するときは詳細設定のフォーカス設定を[顔優先AF]に切り替えてください。☞P.48「詳細設定」
 - ・ 静止画撮影時には詳細設定の手ぶれ軽減を[ON]に設定してください。☞P.48「詳細設定」

■ テレビ

- テレビの視聴ができない
 - ・ 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にはいませんか。[P.50「放送波について」]
 - ・ チャンネルリストを作成していますか。[P.50「チャンネルリストの作成」]

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイが使えない
 - ・ 端末の電源が切れていませんか。[P.25「電源を入れる」]
 - ・ 電池パックを外したり、おまかせロックを設定したりすると、おサイフケータイ ロック設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
 - ・ おサイフケータイ ロックを設定していませんか。[P.61「おサイフケータイ ロック」]
 - ・ 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。[P.61「対向機にかざす際の注意事項」]

■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない（電波マークが表示されている場合）
 - ・ 「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のお申し込み状況をご確認ください。[P.81「国際ローミング（WORLD WING）」の概要」]
- 海外で本端末が使えない（[電池マーク] が表示されている場合）
 - ・ 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にはいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。[P.81「国際ローミング（WORLD WING）」の概要」]
 - ・ 海外通信事業者の設定を変更してみてください。通信事業者を「自動的に選択」に設定してください。[P.82「通信事業者」]
 - ・ 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。[P.25「電源を入れる／切る」]
- 海外でデータ通信ができない
 - ・ データローミングを [ON] にしてください。[P.81「データローミング」]
- 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった
 - ・ 利用停止目安額を超えていますか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
- 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
 - ・ 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

- データ転送が行われない
 - ・ USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。[P.74「端末とパソコンの接続方法」]
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - ・ microSDカードを取り付け直してください。[P.71「microSDカード（外部ストレージ）」]
- 画像が正しく表示されない
 - ・ 画像データが壊れている場合は [壊れた] が表示されます。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
 - ・ Bluetooth通信対応機器（市販品）側を登録待ち状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。[P.77「Bluetooth機能の利用」]
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - ・ 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。[P.25「電源を入れる／切る」]

エラーメッセージ

- [SIMカードを挿入／再確認してください]
 - ・ ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられているかご確認ください。[P.21「ドコモnanoUIMカード」]
- [xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした]
 - ・ 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に表示されます。
- [空き容量低下]
 - ・ 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。
- [暗証番号を入力してください]
 - ・ 端末のロック中に、制限されている機能の操作をしようとした場合に表示されます。暗証番号を入力すると、端末のロックが一時的に解除され、操作できます。
 - ・ 暗証番号の入力が必要な機能を利用しようとした場合に表示されます。
- [応答が無いため接続が中断されました]
[サーバーエラー 送信できませんでした]
[接続エラー 送信できませんでした]
[送信先サーバーが対応しておりません]
[通信エラー しばらくたってから送り直してください]
 - ・ メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。
- [しばらくお待ちください（音声サービス）]
 - ・ 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
- [しばらくお待ちください（データサービス）]
 - ・ パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
- [製造番号情報を利用します。よろしいですか？]
 - ・ テレビ視聴中に表示されることがあります。[OK] を選択すると、端末とドコモnanoUIMカードの製造番号が送信されます。
- [接続できません。]
 - ・ 何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。
- [送信できませんでした]
 - ・ SMSが正しく送信できなかった場合に表示されます。
 - ・ メールを正常に送信できなかった場合に表示されます。電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
 - ・ 有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。[P.81「優先ネットワークモード」]

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。
- 必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。
- 無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- ※ 電池パック SH44、リアカバー SH76、卓上ホルダ SH49 は無料修理保証の対象外となります。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合）においても修理ができない可能性があります。
 - ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
- 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承いただいた上で受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
- ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の以下の箇所に、磁気が発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 使用箇所：受話口／スピーカー部、カメラ部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

■ お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについては当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

SH-01Jのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

- ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
- 更新方法は、以下の3種類があります。
自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
即時更新：今すぐ更新を行います。
予約更新：予約した時刻に自動的に更新をします。

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておください。更新時は充電ケーブルを接続することをおすすめします。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
 - 通話中
 - Wi-Fiに接続されていない状態で、[更新]が表示されているとき
 - 親機としてテザリングをしているとき
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - 日付と時刻を正しく設定していないとき
 - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
 - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い場所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、[更新の必要はありません。このままお使いください]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はダウンロードを開始できません]と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のSH-01J固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、[ソフトウェア更新に失敗しました。]と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

■ ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新の設定が「自動で更新を行う」に設定されています。

1 待受画面で[設定]▶[その他]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[自動更新設定の変更]

2 [自動で更新を行う]／[自動で更新を行わない]

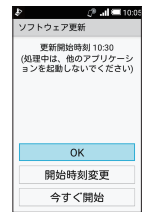
■ ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに[更新]（ソフトウェア更新有）が表示されます。

- [更新]（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、[更新]（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 待受画面で[ステータスバーを選ぶ]▶[通知を選ぶ]

- 書き換え予告画面が表示され、書き換え時刻が確認できます。



2 書き換え方法を選ぶ

- **OK**：設定時刻になると更新を開始します。
- **開始時刻変更**：開始時刻変更についてはP.91「ソフトウェアの予約更新」
- **今すぐ開始**：今すぐ開始についてはP.91「ソフトウェアの即時更新」

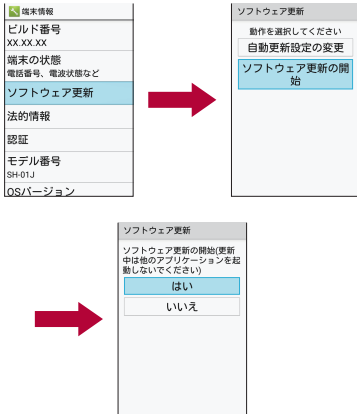
- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに[更新]（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、[自動で更新を行わない]の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え 予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

- 1 待受画面で **メニュー** ▶ **【設定】** ▶ **【その他】** ▶ **【端末情報】** ▶ **【ソフトウェア更新】** ▶ **【ソフトウェア更新の開始】** ▶ **【はい】**



- 書き換え 予告画面からの起動：書き換え 予告画面を表示 ▶ **【今すぐ開始】**

2 ソフトウェア更新画面の表示後、約10秒後に自動的に書き換え開始

- **【OK】** を選択すると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかり、待受画面が表示されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、**「更新の必要はありません。このままお使いください」** と表示されます。

■ ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。待受画面で **Q** ▶ ステータスバーを選ぶ ▶ 通知を選ぶと完了画面が表示されます。

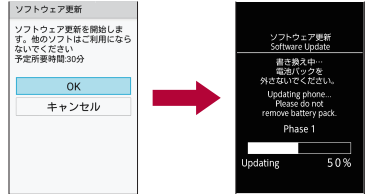
ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

- 1 書き換え 予告画面を表示 ▶ **【開始時刻変更】**
- 2 時刻を入力 ▶ **【設定】**

■ 予約した時刻になると

開始時刻になるとソフトウェア更新画面が表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。



- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にSH-01Jの電源が切れている場合、電源を入れたあと、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実行時に待受画面に「ソフトウェア更新を中断しました。(本体/外部)メモリの空き領域をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合には、本体メモリの空き容量を確認したうえで、再度ソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新実行時に待受画面に「ソフトウェア更新を中断しました。端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合は、以下の状態でない事をご確認のうえ、再度更新を行ってください。
 - 圏外
 - 電池バック外れ
 - 他機能との競合
 - その他（端末実装上何か要因がある場合）

主な仕様

■ 本体

品名	SH-01J
サイズ	高さ約113mm×幅約51mm×厚さ約16.7mm
質量	約132g（電池パック装着時）
メモリ	ROM：8G/バイト RAM：1G/バイト
連続通話時間 ※1※2※3	FOMA／3G 約620分 GSM 約550分 VoLTE（音声通話） 約440分
連続待受時間 ※2※3	FOMA／3G 静止時：約700時間（優先ネットワークモード：4G／3G／GSM（自動））※4 GSM 静止時：約560時間（優先ネットワークモード：4G／3G／GSM（自動））※4 LTE 静止時：約610時間（優先ネットワークモード：4G／3G／GSM（自動））※4
テレビ視聴時間※3※5	約430分
充電時間	ACアダプタ 05：約125分（卓上ホルダ SH49使用時：約140分） DCアダプタ 04：約120分
ディスプレイ	方式 メインディスプレイ：TFT 16,777,216色 サブディスプレイ：有機EL 1色 サイズ メインディスプレイ：約3.4inch サブディスプレイ：約0.9inch 画素数 メインディスプレイ：518,400画素（QHD：横540ピクセル×縦960ピクセル） サブディスプレイ：4,608画素（横36ピクセル×縦128ピクセル）
撮像素子	種類：裏面照射型CMOS※6 サイズ：1/4.0inch
カメラ部	有効画素数：約800万画素 記録画素数（最大時）：約800万画素 ズーム（デジタル）：最大約8.0倍（静止画）／最大約8.0倍（動画）
記録部	ファイル形式 静止画：JPEG 動画：MP4 動画録画時間 1件あたり最大約45分（本体保存時）※7
保存容量	約4.57G/バイト※8
表示できるファイルの種類（拡張子）	Microsoft Word（.doc）、Microsoft Excel（.xls）、Microsoft PowerPoint（.ppt）、Plain Text（.txt）
無線LAN	IEEE802.11b/g/n（2.4GHz）準拠

Bluetooth	対応バージョン Bluetooth標準規格 Ver.4.1 出力 Bluetooth標準規格 Power Class 1 対応プロファイル（対応サービス／バージョン） HSP（1.2）、HFP（1.6）、A2DP（1.2）、AVRCP（1.3）、HID（1.0）、OPP（1.1）、SPP（1.1）、PBAP（1.1）、PAN（PAN-NAP）（1.0）、PAN（PANU）（1.0）、HOGP（1.0）
	言語 表示言語：日本語、英語 入力言語（文字入力）：日本語、英語

- ※1 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ※2 データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、テレビ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話（通信）と待受の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- ※3 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話（通信）・待受時間が半分程度になったり、テレビ視聴時間が短くなったりする場合があります。
- ※4 端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※5 テレビ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
- ※6 CMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※7 撮影サイズ：HD（1280×720）／ファイルサイズ制限：2G/バイト／種別：画像＋音声
- ※8 メモリを共有するアプリの使用状況によって、各種データの保存容量は少なくなります。

■ 電池パック

品名	電池パック SH44
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.85 V
公称容量	1800 mAh

■ 卓上ホルダ

品名	卓上ホルダ SH49
入力	DC 5.0 V、1.8 A
出力	DC 5.0 V、1.8 A

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SH-01Jの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.819W/kg（※2）、身体に装着した場合のSARの最大値は0.555W/kg（※3）です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属（部分）が含まないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

シャープ株式会社ホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the head is 0.736 W/kg* and when worn on the body is 1.52 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity



Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-01J is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

Sharp Corporation, Communication Systems Division
2-13-1 Iida Hachihonmatsu
Higashihiroshima-City
Hiroshima,
739-0192
Japan

● Description of accessories

Battery Pack	3.85V 1800mAh
Micro USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD / microSDHC / microSDXC
nano UIM card	DOCOMO SIM card / non-DOCOMO SIM cards non-DOCOMO SIM cards can be used after SIM-unlocking the handset.

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8MHz	Rx 925.2 to 959.8MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8MHz	Rx 1805.2 to 1879.8MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6MHz	Rx 2112.4 to 2167.6MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5MHz	Rx 2112.5 to 2167.5MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480MHz	Rx 2402 to 2480MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (Bandwidth: 20MHz only)	
NFC	Tx/Rx 13.56MHz	
GPS	Rx L1 (1575.42 MHz)	

● Maximum transmit power

GSM 900	+33dBm(Power Class4)
DCS 1800	+30dBm(Power Class1)
WCDMA FDD I	+24dBm(Power Class3)
LTE Band 1	+23dBm(Power Class3)
Bluetooth	+4dBm(Power Class1)
WLAN 2.4GHz	+13.5dBm
NFC	-10dBμA/m at 10m

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the head is 0.67 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.98 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID APYHRO00240.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.

CAUTION

Use only optional parts specified by NTT DOCOMO for use with the handset.

May cause fires, burns, bodily injury or electric shock.

Do not throw the battery pack into a fire or heat it.

The battery pack may catch fire, explode, overheat or leak.

Do not dispose of used battery packs in ordinary garbage.

May cause fires or damage to the environment. Place tape over the terminals to insulate unnecessary battery packs, and take them to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used batteries.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 121.0 mV.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C .

 : This symbol means the stand-by on/off.

Bluetooth function

- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by NTT DOCOMO, INC. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General inquiries

<docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

 **0120-005-250 (toll free)**

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 **(No prefix) 151 (toll free)**

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 **0120-800-000 (toll free)**

※ Unavailable from part of IP phones.

● Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 **(No prefix) 113 (toll free)**

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 **0120-800-000 (toll free)**

※ Unavailable from part of IP phones.

● Please confirm the phone number before you dial.

- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.
NTT DOCOMO website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/>

Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

Display "+" on the screen	-81-3-6832-6600 (toll free)
---------------------------	--------------------------------

(to enter "+", press and hold "0".)

※ You can call using international call access code instead of "+".

From land-line phones

International call access code for the country you stay	-81-3-6832-6600 (charges apply)
---	------------------------------------

※ You are charged a call fee to Japan.

※ For international call access codes, refer to DOCOMO website.

- Please confirm the phone number before you dial.
- If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
- If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますので控えてください。

商標について

- 「FOMA」、「dメニュー」、「おサイフケータイ」、「トルカ」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「デコメ®」、「デコメール®」、「デコメ絵文字®」、「iアプリ」、「iモード」、「iD」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「かざしてリンク」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「iコンシェル」、「iスケジュール」、「spモード」、「iチャネル」、「あんしんマネージャー」、「あんしんスキャン」、「あんしんナンバーチェック」、「dmenu」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「iチャネル」ロゴ、「iコンシェル」ロゴ、「ドコメール」ロゴ、「ドコメ電話帳」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- LINEは、LINE株式会社の商標または登録商標です。
- 内蔵音声認識エンジンは、株式会社アドバンスト・メディアの **AmiVoice®** を使用しています。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- 文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。



- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFontおよび®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi Direct™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptosoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品にはIntel Corporationのソフトウェアを一部利用しております。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2016 All Rights Reserved.
- Google、Google ロゴ、Android、Google 検索、Google 検索 ロゴは、Google Inc. の商標です。
- TM and © 2016 Apple Inc. All rights reserved. iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 「AQUOS/アクオス」、「AQUOS」ロゴ、「SHSHOW」ロゴ、「PASSNOW」、「タッチクルーザーEX」、「エスジョイン/S-Shoin」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されています。これ以外の使用については、ライセンス許諾されていません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを複製すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。その他の用途で使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザーに配信すること。追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または (ii) VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り）を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro、Enterprise、Education) の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate) の略です。
 - Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で  ▶ [設定] ▶ [その他] ▶ [端末情報] ▶ [法的情報] ▶ [オープンソースライセンス] をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

SIMロック解除

- 本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1 他社のSIMカードを取り付ける
- 2 電源を入れる
- 3 SIMロック解除コードを入力
- 4 [ロック解除] ▶ 

あ

アカウント	68
アカウントを追加	43
空き容量確認	36
アクセスポイントの初期化	67
アクセスポイントの設定	67
アプリインストール制限	80
アプリ起動制限	80
アプリケーション	68
アプリ情報	54
アプリ使用履歴の利用	30
アプリの通知	63
アラーム	
アラーム	53
スケジュール	54
暗証番号	65
あんしんスキャン	80
あんしんナンバーチェック	80
あんしんマネージャー	67
あんしんモード	80
あんしんモードの初期化	80
安全上のご注意（必ずお守りください）	3
安全な認証情報の使用	65
一時解除の設定	64
位置情報	
位置情報	68
引用・連携	27
引用・連携	27
ウィジェットシート	60
ウェブブラウザ	43
受取確認通知	41
英語ガイダンス	37
閲覧に切り替え	40
エフェクト	73
遠隔初期化	67
遠隔操作設定	37
遠隔操作（有料）	83
応答拒否SMS	37
応答時間設定	36
応答メッセージ設定	36
大きい文字サイズ	70
オートGPS	67
オープン時動作	37
オープンソースライセンス	
その他設定	38
ドコモサービス	67
オールリセット	70
お気に入りの利用	31
お知らせアイコン	17
お問い合わせ	82
音・バイブ	63
オフィスリンク設定	38
オフタイムー設定	51
おまかせ	
静止画撮影の設定	47
動画撮影の設定	49
主な仕様	92
音楽	73
音声切替	51
音声／字幕設定	51
音声多重切替	51
音声・伝言メモ	36
音声認識の使い方	33
音声発信制限	64
音声メモリスト	36

音量	63
----	----

か

カーソルの合わせかた	15
カードリーダーモード	69
カーネルバージョン	70
海外故障	38
海外設定	83
海外でご利用になる前に	81
海外で電話を受ける	82
海外で利用可能なサービス	81
海外で利用するための設定	81
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける	82
海外紛失・盗難等	38
海外利用	81
開始	58
回転	73
顔かくし	73
顔文字リセット	26
鏡	73
学習辞書リセット	26
各種リセット	26
各部の名称と機能	14
画像	73
画像の読み込み	45
画像編集	73
画像を登録	73
家族あんしん通知	80
壁紙	62
壁紙・ディスプレイ	62
カメラ	
カメラ	46
静止画撮影の設定	47
カメラ起動	40
カメラの撮影サイズ	46
カメラへ切替	49
カメラをご使用になる前に	46
カメラを使用中の動作について	46
画面回転	51
画面の明るさ	62
画面の固定	65
画面のロック	63
画面ロックの音	63
カレンダー表示	62
かんたん発信（音声認識）で電話をかける	33
かんたん発信設定	33
キー操作音	63
キー操作ヘルプ	49
キーバックライト	63
帰国後の確認	83
機内モード	66
基本操作	15
キャッチホン	37
「今日の予定」お知らせ設定	54
魚眼レンズ	47
切替条件設定	80
緊急速報「エリアメール」	79
緊急速報「エリアメール」の削除	79
緊急速報「エリアメール」の設定	79
緊急通報	33
銀残し	47
クイックオープンボタン	15
クイック起動キー	
クイック起動キーの利用	31
待受・壁紙	62

クイックサイレント	37	静止画撮影の設定	48
区点コード	27	長エネスイッチ	80
国番号	82	動画撮影の設定	49
クラウド設定	54	情報更新	69
クラウドと同期	54	証明書のインストール	29
グループの利用	39	証明書をインストール	65
クローズ動作設定	51	使用履歴へのアクセス	65
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について	93	初期設定	28
結果画面閲覧	58	書類	73
言語 (Language) を選択	68	新規作成	54
現在のキーボード	70	人物	
検索	52	静止画撮影の設定	47
公共モード (電源OFF) 設定	37	動画撮影の設定	49
公衆電話着信拒否	37	シンプルメニュー	16
更新	77	シンプルメニュー一覧	85
高度な設定		スキャンを常に実行する	29
セキュリティ	63	スクリーンショットの撮影	19
ブラウザ	45	スクリーンセーバー	68
項目の選択	15	スケジュール	54
国際ダイヤルアシスト	82	ステータスアイコン	17
国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける	82	ステータスバー	17
国際電話 (WORLD CALL)	33	ステータスパネルの利用	18
国際プレフィックス	82	ストップウォッチ	54
国際ローミング (WORLD WING) の概要	81	ストレージ	69
この端末の名前を変更	77	ストレージのタイプ	65
コピー他 (範囲選択)	25	スピードダイヤルで電話をかける	32
コピー履歴	27	すべて再生	52
コンテンツ一覧	73	すべてシャッフル	52
		スマートフォンから	58
さ		スレッドの削除	41
		静止画撮影画面の見かた	47
サービス選局	51	静止画撮影の設定	47
災害用音声お届けサービス	79	静止画の撮影	47
災害用伝言板	79	製品情報	51
再生	52	世界時計	54
サイト閲覧履歴の利用	44	赤外線送受信	75
サイドマナーキー長押し	63	赤外線送受信のご利用にあたって	75
サイレントマナー	63	赤外線通信	75
削除	52	積算時間リセット	38
サブアドレス設定	37	積算通話時間表示	38
サブディスプレイ	62	セキュリティ	63
サブディスプレイの見かた	18	セキュリティキー設定	65
シークレット設定	64	接続不良のとき無効にする	29
時刻設定	69	設定	54
辞書	26	設定の切替	18
下書き保存	40	設定メニュー	62
指定番号着信拒否	37	設定リセット	26
自動位置情報付加		セビア	47
静止画撮影の設定	47	セルフタイマー	
動画撮影の設定	49	静止画撮影の設定	48
自動大文字変換	26	動画撮影の設定	49
自動カーソル移動	26	セルフチェック	69
自動スペース入力	26	前月	54
自動変換機能	82	全件削除	54
自動リセット設定	38	全件データ送信 (共有)	39
字幕	70	全般	63
字幕切替	51	全般設定	43
写真	73	操作ガイダンス	16
写真・画像	40	操作ガイド	51
シャッターモード	48	操作時バイブ	63
充電	23	装飾	26
充電開始音	63	送信	73
従来の携帯電話から	58	送信先	80
受信画面および着信音確認	79	送信時刻	80
受信済みファイルを表示	77	送信時文字コード設定	70
受信設定	79	挿入	26
省エネ・電池	66	ソート	73
詳細情報	73	その他	68
詳細設定		その他設定	38

その他のファイル	40	提供元不明のアプリ	63
ソフトウェア更新	90	定型文入力	
ソフトキーボード	68	引用・連携	27
た		定型文入力	27
滞在国外（日本を含む）に電話をかける	82	データBOXからデータの送信	56
滞在国内に電話をかける	82	データ使用量	66
タイマー	53	データ通信制限	66
タイムゾーンの自動設定	69	データ通信設定	66
タイムゾーンの選択	69	データ通信を有効にする	67
代理応答	34	データ転送	74
ダウンロード辞書	26	データの移動／コピー	73
ダウンロード履歴の表示	45	データのサブメニュー操作	73
卓上ホルダで充電	23	データ引継	58
タッチエリア	19	データ放送再読み込み	51
タッチクルーザーEXの利用	19	データ放送設定	51
誕生日データ更新	54	データ保存	58
端末エラー情報送信	67	データ保存先の表示変更	73
端末情報	70	データローミング	81
端末設定変更の制限	80	データをmicroSDカードにバックアップ	59
端末とパソコンの接続方法	74	データを端末に復元	59
端末の暗号化	65	テキスト	47
端末の状態	70	テキストメッセージの制限件数	41
端末開いた回数	80	テキスト読み上げの出力	
端末ロック中の表示	63	文字入力	70
地域を選んで作成	50	ユーザー補助	70
チェックボックス	18	デコメ	26
知的財産権について	96	デコメール®	40
着信相手表示	62	テザリング	30
着信音		デバイス管理機能	65
緊急速報「エリアメール」の設定	79	デフォルトのSMS	66
メッセージの設定	42	手ぶれ軽減	48
着信音・お知らせ音	63	テレビ終了	51
着信音に設定	52	テレビ（ワンセグ）	50
着信拒否設定	37	テレビ（ワンセグ）の視聴	50
着信／充電ランプ	19	テレビ（ワンセグ）の設定	51
着信設定	37	電源を入れる	25
着信通知	37	電源を切る	25
着信履歴	36	伝言メモ設定	36
着信履歴の削除	36	伝言メモリスト	36
チャンネル一覧	51	転送でんわサービス	37
チャンネル個別登録	51	転送でんわサービス（有料）	83
チャンネルサーチ	51	電卓	52
チャンネル設定	51	電池	66
チャンネルリスト切替	51	電池残量	80
チャンネルリストの作成	50	電池残量で切替	80
チャンネルリスト編集	51	電池バック	22
チャンネルを探して作成	50	点灯設定	62
長エネスイッチ	80	テンプレート	40
長エネスイッチの概要	80	電話	32
ちらつき防止		電話帳	
静止画撮影の設定	48	電話帳	38
動画撮影の設定	49	ドコモメール	40
通常マナー	63	電話帳画像保存	58
通信事業者	82	電話帳検索	38
通知	42	電話帳名前データと連携	26
通知アイコン	17	電話帳の確認／利用	39
通知不可能着信拒否	37	電話帳の削除	39
通知へのアクセス	63	電話帳の登録	38
通知連携（PASSNOW）	70	電話帳のバックアップ／復元	39
通話時間		電話発信回数	80
家族あんしん通知	80	電話を受ける	34
その他設定	38	電話をかける	32
通話中着信設定	37	動画	40
通話中の操作	35	動画撮影画面の見かた	48
通話モード設定	38	動画撮影の設定	49
使い方ガイド	64	動画の撮影	48
つながり予測	26	登録	73
		登録外着信拒否	37
		時計表示	62

ドコモnanoUIMカード	21	表示中のサイトやブックマークしたサイトをペア設定した	
ドコモアプリ管理	67	タブレットに表示	56
ドコモアプリパスワード	67	表示パターン	62
ドコモ位置情報	67	標準	
ドコモ故障問合せ	38	静止画撮影の設定	47
ドコモサービス	67	動画撮影の設定	49
ドコモ総合案内・受付	38	ビルド番号	70
ドコモへのお問合せ	38	ファイル操作	73
ドコモメール	40	ファイル保存先	45
ドコモメールの作成・送信	40	風景	47
ドコモメールの受信	41	風景（自然）	49
ドライブマナー	63	フォーカス設定	
トラブルシューティング（FAQ）	86	静止画撮影の設定	48
取り扱い上のご注意	8	動画撮影の設定	49
取扱説明書	60	フォーカスモードの利用	16
取り込み前の準備方法	58	フォルダー一覧	73
トリミング	73	フォルダ削除	73

な

日時の自動設定	69
入力設定	26
入力補助・変換	26
認識対象の登録（スピードダイヤル）	33
認証	70
認証ストレージの消去	65
ネット変換エンジン	26
ネットワーク	66
ネットワークサービス	
発信・通話設定	37
ローミング中のネットワークサービス	83
ネットワーク設定	66
ネットワークの通知	29
ノーマルメニュー	16
ノーマルメニュー一覧	84
のぞき見防止	62

は

バーコードリーダー		ペア設定したiPadの通知を本端末に表示	57
カメラ	49	ペア設定したタブレットからSMSを送信	57
文字入力	27	ペア設定したタブレットから受信した電話番号へ発信	57
バイプレーション	42	ペア設定したタブレットで本端末の写真・動画を取り込む	
パスワード	65	ペア設定したタブレットの着信・通知を本端末に表示	58
パスワードと秘密の質問	80	ペア設定した本端末やタブレットを鳴動させて探す	57
パスワードの音声出力	70	ページを共有	56
パソコンとの接続	74	ベースバンドバージョン	70
バックライト点灯時間	62	ヘルプ	
発信者番号通知	37	スケジュール設定	54
発信設定	37	静止画撮影の設定	47
発信信・通話設定	37	編集キャンセル	26
パノラマ	47	ポイントの速度	70
貼り付け	25	防水／防塵／耐衝撃性能	11
貼り付け（履歴）	25	法的情報	70
番組表の利用	51	ホームページを設定	45
番号通知お願いサービス	37	保証とアフターサービス	89
番号通知お願いサービス（有料）	83	歩数	80
微速度撮影間隔	49	歩数計	
非通知着信拒否	37	歩数計	55
日付移動	54	待受画面・壁紙	62
日付スタンプ	73	補正効果	73
日付設定	69	保存先設定	
日付と時刻		静止画撮影の設定	48
海外で利用するための設定	82	動画撮影の設定	49
その他	69	保存せずに終了	40
ビデオへ切替	47	保存ファイルの整理	58
表示切替	73	ホワイトバランス	
表示時間設定	62	静止画撮影の設定	48
表示条件	54	動画撮影の設定	49
		本体メモリ（内部ストレージ）	71
		本端末で利用する暗証番号	64

本端末のご利用について	2
本端末の着信・通知をペア設定したタブレットに表示	57
本端末の持ちかた	46

ま

マイク	49
待受画面・壁紙	62
待受画面の見かた	16
マチャキャラ設定	62
マナーモード設定	
OFF	63
音・バイブ	63
ミニチュア効果	47
見栄え補正	62
ミュージック	51
迷惑電話ストップサービス	37
メール	40
メールいきなり予測	26
メール作成画面	40
メール問い合わせ	41
メッセージ	41
メッセージの確認	79
メッセージの削除	41
メッセージの設定	41
メッセージの送信	79
メッセージの転送	41
メッセージの表示	41
メッセージの返信	41
メニュー一覧	84
メニューの操作	16
メモ	55
メモ一覧へ	54
メモの確認	55
メモの登録	55
メモリ使用状況	73
モード切替	
静止画撮影の設定	47
動画撮影の設定	49
目次	1
文字サイズ・フォント	62
文字種変更	25
文字入力	25
文字入力のサブメニュー操作	25
文字入力のしかた	26
文字入力のしくみ	25
文字入力の設定	26
モデル番号	70
モノクロ	47
モバイルネットワーク	67

や

夜景	47
夜景人物	47
やさしい日本語表示	79
ユーザー辞書	26
ユーザー辞書登録（白）	25
ユーザーフォルダ	73
ユーザー補助	
ウェブブラウザ	45
その他	70
優先ネットワークモード	81
輸出管理規制	96
翌月	54
予測変換	26
呼出動作開始時間設定	37

5

リサイズ	73
リダイヤル	36
リダイヤルの削除	36
料理	47
リラックス画質	62
ルール設定	80
留守番電話サービス	37
留守番電話サービス（有料）	83
連写撮影	47
連写種類	47
連絡先シークレット設定	64
□ーミングガイドランス	83
□ーミングガイドランス（有料）	83
□ーミング時着信規制	83
□ーミング着信通知	83
□ーミング着信通知（有料）	83

わ

ワイルドカード予測	
文字入力の設定	26
ワイルドカード予測での入力方法	27
ワンセグ	50

英数字

ACアダプタ／DCアダプタで充電	24
Androidビーム	61
Bluetooth機能の利用	77
Bluetooth通信	76
Bluetooth通信送受信	77
Bluetoothデザリング	30
dアカウント設定	67
dメニュー・検索	43
Google検索	
引用・連携	27
ウェブブラウザ	44
GPS機能の利用	68
GSM	81
HDR	47
IPアドレス	29
ISO感度	48
i コンシェルへ	54
i スケジュール一覧へ	54
i チャネル表示	62
JANコードとは	49
KeyTranslator	70
LINE	52
MACアドレス	29
microSDカード（外部ストレージ）	71
microSD内データを消去	69
microSDの暗号化	69
microSDの暗号化解除	69
microSDのマウント解除	69
microSDリーダーライター	74
microSDをマウント	69
microUSB接続ケーブル O1で充電	24
MTPモード	69
NFC設定	61
OSセキュリティパッチ	70
OSバージョン	70
PASSNOW（タブレット連携）	56
PINロックの解除	65
PTPモード	69
QRコードとは	49
Qualcomm® aptX™	77

Reader／Writer, P2P	61
SDカードバックアップ	59
SIM PINの変更	65
SIMカードから復元	39
SIMカードのメッセージ	42
SIMカードロック設定	65
SIMカードをロック	65
SIMロック解除	97
SMS	41
SMSアプリの変更	41
S-Shoin	70
TVリンク	51
USB接続	69
USBデザリング	30
USBデバッグ切替	67
VPN	66
Wi-Fi Direct	29
Wi-Fi接続制限	80
Wi-Fiデザリング	30
Wi-Fiデザリングを設定	30
Wi-Fiのスリープ設定	29
Wi-Fiの設定	29
WORLD CALL	33
WORLD WING	81
3G／GSM	81
4G／3G／GSM（自動）	81
24時間表示	69

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなど静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード（[P.63](#)「マナーモード設定」）

本端末から鳴る音を消します。

※ただし、カメラのシャッター音は消せません。

● 公共モード（電源OFF）（[P.37](#)「ネットワークサービス」）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ（[P.63](#)「音・バイブ」）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ（[P.36](#)「音声・伝言メモ」）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（[P.37](#)「ネットワークサービス」）、転送・転送サービス（[P.37](#)「ネットワークサービス」）などのオプションサービスが利用できます。



モバイル・リサイクル・フォートワーク

携帯電話やそのパーツの回収に協力

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでの各種手続き・ご契約内容の確認など

● 本端末から 待受画面で  dメニュー・検索 ▶ My docomo（お客様サポート）▶ ドコモオンライン手続き

● パソコンから My docomo（<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>）▶ 「ドコモオンライン手続き」内の項目を選択

※システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用にできない場合があります。

※「ドコモオンライン手続き」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「ID/パスワード」が必要です。

**総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>**

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151 (無料)**

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

**故障お問い合わせ・
修理お申込み先**

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113 (無料)**

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 **-81-3-6832-6600 (無料)**

(「+」は「0」キーを1秒以上押します。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600 (有料)**

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所では携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



**キケン！
水ぬれ充電**

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 シャープ株式会社